

第十七條 傷病手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

- 一 被保險者ノ記載及番號
- 二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因
- 三 疾病又ハ負傷ノ職業上ノ事由ニ因ルモナリヤ否ヤノ別
- 四 傷病手當金コト額ハサリシ期間
- 五 傷病手當金力健康保險法施行令第七十九條又ハ同令第八十七條ノ規定ニ依ルモナルトキハ主トシテ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ關係、收養セラレタル病院、病舎又ハ療養所ノ名稱及所在地並收養セラレタル事由、年月日及期間
- 六 傷病手當金力健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依ルモナルトキハ其ノ報明ノ額及期間
- 七 傷病手當金力健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ルモナルトキハ受ケルコト得ヘカリシ報明ノ額及期間、受ケルコト能ハサリシ報明ノ額及期間並健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル傷病手當金ノ額及報明ヲ受ケルコト能ハサリシ事由
- 八 前項ノ請求書ニハ左ニ掲ケル書類ヲ添付スヘシ
 - 一 前項第四條ノ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書及事業主ノ證明書
 - 二 疾病又ハ負傷ノ職業上ノ事由ニ因ルモナルトキハ之ニ關スル事業主ノ證明書
 - 三 療養ノ給付ヲ受ケルコト困難ナル爲メ療養費ノ支給ヲ受ケル場合ニ於テハ傷病手當金支給ノ請求書ニハ前項各款ノ書類ハ之ヲ添付スルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ
 - 四 疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付引續キ傷病手當金ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ請求書ニ第二項第二條ノ證明書ヲ添付スルコトヲ要セス
- 九 第五十八條 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ノ申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ
 - 一 被保險者ノ氏名並被保險者ノ記載及番號
 - 二 療養ノ給付ヲ受ケムトスル期間
 - 三 療養ニ要スル費用ノ見積額
 - 四 現ニ療養ヲ受ケル被保險者ノ氏名及住所
 - 五 健康保險法第四十八條第一項第一號ノ場合ニ於テハ事業主ニ於テ扶助ヲ爲スヘキ義務ノ基ケ法令ノ條項
 - 六 健康保險法第四十八條第一項第二號ノ場合ニ於テハ擔保ノ種類、數量及價格又ハ費用ノ償還ニ付定メタル方法
 - 七 第五十九條 埋葬料支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載ス市町村長ノ埋火葬許可證ヲ添付スヘシ
 - 一 死亡シタル被保險者ノ氏名並被保險者ノ記載及番號
 - 二 死亡ノ年月日及原因
 - 三 死亡カ第三者ノ行爲ニ因ルモナルトキハ其ノ事實並第三者ノ氏名及住所
 - 四 氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨
 - 五 被保險者ノ請求者トシテキハ其ノ旨
 - 六 死亡カ業務上ノ事由ニ因ルモナリヤ否ヤノ別
 - 八 第六十條 健康保險法第四十九條第二項又ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載ス市町村長ノ埋火葬許可證ノ寫及埋葬ニ要スル費用ノ額ニ關スル證明書類ヲ添付スヘシ
 - 一 前項第一號乃至第三號ニ掲ケル事項
 - 二 埋葬ヲ行ヒタル年月日
 - 三 埋葬ニ要スル費用ノ額
 - 四 死亡カ業務上ノ事由ニ因ルモナリヤ否ヤノ別
 - 五 第六十一條 分擔費支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載ス市町村長、醫師又ハ產婆ニ於テ出產又ハ死産ノ事實ヲ證明シタル書類ヲ添付スヘシ
 - 一 被保險者ノ記載及番號
 - 二 分娩ノ年月日
 - 三 死産ナルトキハ其ノ旨
 - 四 分娩費及健康保險法施行令第八十一條第一項ノ規定ニ依ルモナルトキハ收容セラレタル産院ノ名稱及所在地又ハ出產ノ手當金爲シタル醫師若ハ產婆ノ氏名及住所
 - 六 第六十二條 出產手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ
 - 一 被保險者ノ記載及番號
 - 二 分娩前ノ場合ニ於テハ分娩ノ豫定年月日、分娩後ノ場合ニ於テハ分娩アリタル年月日
 - 三 勞務ニ服セザリシ期間
 - 四 出產手當金力健康保險法施行令第八十一條第二項ノ規定ニ依ルモナルトキハ主トシテ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ關係、收養セラレタル産院ノ名稱及所在地並收養セラレタル年月日及期間
 - 五 出產手當金力健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依ルモナルトキハ其ノ報明ノ額及期間
 - 六 出產手當金力健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ルモナルトキハ受ケルコト得ヘカリシ報明ノ額及期間、受ケルコト能ハサリシ報明ノ額及期間並健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル出產手當金ノ額及報明ヲ受ケルコト能ハサリシ事由
 - 七 前項ノ請求書ニハ左ニ掲ケル書類ヲ添付スヘシ
 - 一 前項第三條ノ期間ニ關スル事業主ノ證明書
 - 二 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ產婆ノ意見書
 - 三 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ產婆ノ意見書ニ付テハ第五十七條條前項第二號ノ意見書ニ付テハ第五十七條條前項ノ規定ヲ準用ス
 - 四 第六十三條 傷病手當金、分擔費又ハ出產手當金ノ支給ヲ受ケムトスル者力健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ內務大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者ナルトキハ其ノ請求書ニ共済組合ヨリ受ケル給付ノ期間及額ヲ記載スヘシ埋葬料又ハ健康保險法第四十九條第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受ケムトスル場合ニ於テ死亡シタル者力健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ內務大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者ナリシトキ亦同シ
 - 五 第六十四條 第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六條第二項、第五十七條第二項、第六十一條及第六十二條第二項ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師若ハ產婆ノ意見書若ハ證明書又ハ事業主若ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スヘキ場合ニ於テ被保險者ノ請求書ニ相當ノ記載ヲ受ケムトキハ意見書又ハ證明書ノ添付ヲ省略スルコトヲ得
 - 六 第六十五條 保險給付ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
 - 七 前項ノ場合ニ於テハ第五十三條第二項、第五十四條及第五項、第五十四條第二項、第五十五條第二項及第三項、第五十六條第二項、第五十七條第二項、第六十一條及第六十二條第二項ノ規定ニ依リ請求書ニ添付スヘキ書類ハ請求ノ際ニ之ヲ提出スヘシ但シ被保險者ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
 - 八 第六十六條 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ第四十七條第一項若ハ第五十一條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書、第五十六條第一項、第五十七條第二項若ハ第六十二條第二項ノ規定ニ依リ意見書又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ證明書ヲ求ムラレタルトキハ保險醫ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ合ニ於テ死亡シタル者力健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ內務大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者ナリシトキ亦同シ

拒ムコトヲ得第六十四條ノ規定ニ依リ意見書又ハ證明書ヲ求ムラレタルトキ亦同シ

第十六條ノ三 健康保險組合又ハ健康保險組合ハ保險醫及保險醫顧問ニ就キ療養ノ給付ニ關シ便宜手續ヲ檢閲シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徴スルコトヲ得

第六十七條 健康保險組合ハ其ノ管掌スル保險ノ給付ニ關スル手續ニ付第四十五條乃至第六十二條ノ規定ニ拘ラス別段ノ定メヲ爲スコトヲ得

第六十八條 罰則

第六十九條 罰則

第七十條 健康保險組合ニ於テ健康保險法施行令第八十八條第一項ノ規定ヲ爲シタルトキハ左ニ掲ケル事項ヲ選擇ナク社會局長官ニ報告スヘシ

- 一 保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ノ氏名
- 二 事實
- 三 決定ノ内容
- 四 決定ノ年月日及之ヲ本人ニ通知シタル年月日

第七十一條 本章ニ於テ被保險者トアルハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受ケル者ヲ含ムモノトス

第五章 健康保險法第八十條ノ審査手續

第七十二條 審査ノ請求ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ第一次健康保險審査ニ對シテハ審査ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 文書ヲ以テ審査ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ審査請求書ニ記名調印シ證據書類アルトキハ之ヲ添付シ當該健康保險審査會ニ提出スヘシ

第一次健康保險審査會ニ對シテ審査請求書

- 一 被保險者ノ氏名並被保險者ノ記載及番號
- 二 療養ノ給付ヲ受ケムトスル期間
- 三 療養ニ要スル費用ノ見積額
- 四 現ニ療養ヲ受ケル被保險者ノ氏名及住所
- 五 健康保險法第四十八條第一項第一號ノ場合ニ於テハ事業主ニ於テ扶助ヲ爲スヘキ義務ノ基ケ法令ノ條項
- 六 健康保險法第四十八條第一項第二號ノ場合ニ於テハ擔保ノ種類、數量及價格又ハ費用ノ償還ニ付定メタル方法
- 七 第五十九條 埋葬料支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載ス市町村長ノ埋火葬許可證ヲ添付スヘシ
 - 一 死亡シタル被保險者ノ氏名並被保險者ノ記載及番號
 - 二 死亡ノ年月日及原因
 - 三 死亡カ第三者ノ行爲ニ因ルモナルトキハ其ノ事實並第三者ノ氏名及住所
 - 四 氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨
 - 五 被保險者ノ請求者トシテキハ其ノ旨
 - 六 死亡カ業務上ノ事由ニ因ルモナリヤ否ヤノ別
- 八 第六十條 健康保險法第四十九條第二項又ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載ス市町村長ノ埋火葬許可證ノ寫及埋葬ニ要スル費用ノ額ニ關スル證明書類ヲ添付スヘシ
 - 一 前項第一號乃至第三號ニ掲ケル事項
 - 二 埋葬ヲ行ヒタル年月日
 - 三 埋葬ニ要スル費用ノ額
 - 四 死亡カ業務上ノ事由ニ因ルモナリヤ否ヤノ別
 - 五 第六十一條 分擔費支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載ス市町村長、醫師又ハ產婆ニ於テ出產又ハ死産ノ事實ヲ證明シタル書類ヲ添付スヘシ
 - 一 被保險者ノ記載及番號
 - 二 分娩ノ年月日
 - 三 死産ナルトキハ其ノ旨
 - 四 分娩費及健康保險法施行令第八十一條第一項ノ規定ニ依ルモナルトキハ收容セラレタル産院ノ名稱及所在地又ハ出產ノ手當金爲シタル醫師若ハ產婆ノ氏名及住所
 - 六 第六十二條 出產手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ
 - 一 被保險者ノ記載及番號
 - 二 分娩前ノ場合ニ於テハ分娩ノ豫定年月日、分娩後ノ場合ニ於テハ分娩アリタル年月日
 - 三 勞務ニ服セザリシ期間
 - 四 出產手當金力健康保險法施行令第八十一條第二項ノ規定ニ依ルモナルトキハ主トシテ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ關係、收養セラレタル産院ノ名稱及所在地並收養セラレタル年月日及期間
 - 五 出產手當金力健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依ルモナルトキハ其ノ報明ノ額及期間
 - 六 出產手當金力健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ルモナルトキハ受ケルコト得ヘカリシ報明ノ額及期間、受ケルコト能ハサリシ報明ノ額及期間並健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル出產手當金ノ額及報明ヲ受ケルコト能ハサリシ事由
 - 七 前項ノ請求書ニハ左ニ掲ケル書類ヲ添付スヘシ
 - 一 前項第三條ノ期間ニ關スル事業主ノ證明書
 - 二 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ產婆ノ意見書
 - 三 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ產婆ノ意見書ニ付テハ第五十七條條前項第二號ノ意見書ニ付テハ第五十七條條前項ノ規定ヲ準用ス
 - 四 第六十三條 傷病手當金、分擔費又ハ出產手當金ノ支給ヲ受ケムトスル者力健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ內務大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者ナルトキハ其ノ請求書ニ共済組合ヨリ受ケル給付ノ期間及額ヲ記載スヘシ埋葬料又ハ健康保險法第四十九條第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受ケムトスル場合ニ於テ死亡シタル者力健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ內務大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者ナリシトキ亦同シ
 - 五 第六十四條 第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六條第二項、第五十七條第二項、第六十一條及第六十二條第二項ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師若ハ產婆ノ意見書若ハ證明書又ハ事業主若ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スヘキ場合ニ於テ被保險者ノ請求書ニ相當ノ記載ヲ受ケムトキハ意見書又ハ證明書ノ添付ヲ省略スルコトヲ得
 - 六 第六十五條 保險給付ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
 - 七 前項ノ場合ニ於テハ第五十三條第二項、第五十四條及第五項、第五十四條第二項、第五十五條第二項及第三項、第五十六條第二項、第五十七條第二項、第六十一條及第六十二條第二項ノ規定ニ依リ請求書ニ添付スヘキ書類ハ請求ノ際ニ之ヲ提出スヘシ但シ被保險者ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
 - 八 第六十六條 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ第四十七條第一項若ハ第五十一條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書、第五十六條第一項、第五十七條第二項若ハ第六十二條第二項ノ規定ニ依リ意見書又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ證明書ヲ求ムラレタルトキハ保險醫ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ合ニ於テ死亡シタル者力健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ內務大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者ナリシトキ亦同シ

收入	支出	合計	科目	項目	種目	算		附記
						本年	前年	
二何々	一何々	二何々	一事務所費	一俸給	一何々			
				二諸給	二何々			
				三需用費	一何々			
				四雜費	二何々			
				二組合會費	一何々			
				一諸給	二何々			
				二需用費	一何々			

收入	支出	合計	科目	項目	種目	算		附記
						本年	前年	
二何々	一何々	二何々	六管轄費	一事務所管轄費	一何々			
				二病院管轄費	二何々			
				三何々	一何々			
				七病院費	二何々			
				八何々	一何々			
				九雜支出	二何々			
				一何々	一何々			
				十豫備費	二何々			

支出	合計	種目	算		附記
			本年	前年	
二何々	二何々	三保險給付費	一療養諸費	一何々	
一何々	一何々		二傷病手當金	二何々	
			三埋葬諸費	一何々	
			四分燒費	二何々	
			五助産費	一何々	
			六出產手當金	一何々	
			四保健施設費	一保健施設費	一何々
			五組合債費	一元金償還	一何々

支 出 合 計 一 豫 備 費

備考
 一 豫算ハ必要アルトキハ經常、臨時ノ二部ニ大別シテ之ヲ編製スルコトヲ得
 二 「増減」欄ノ減ハ赤字ト爲シ又ハ△印ヲ附スヘシ
 三 「附記」欄ニハ豫算ノ計算ノ基ヲ所ヲ明細ニ記載スヘシ
 四 病院費又ハ産院費ハ保險給付費中ニ項ヲ設ケテ記載スルモ妨ケス
 五 追加豫算ノ場合ニ於テハ「豫算額」トアルヲ「追加豫算額」トアル
 六 更正豫算ノ場合ニ於テハ「豫算額」トアルヲ「更正豫算額」トアル
 七 繰越金アルトキハ準備金ニ積立テタル額ト翌年度ニ繰越シタル額トニ區別シ内
 譯トシテ記載スヘシ
 八 繰越費ヲ設ケタル場合ニ於テハ別ニ年度別表ヲ添付スヘシ

昭和何年度事業報告書
 何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何何香地
 何健康保險組合

一 事業概況
 本項ニハ事業ノ状況ノ大體ヲ簡單ニ記載スベシ
 二 事務所
 本項ニハ事務所ノ所在地ヲ記載スベシ(主タル事務所ト從タル事務所トヲ有スル組合ニ
 在リテハ之ヲ區別シテ記載スルコト)
 三 組合員

(一) 事業主數
 前年度末現在 本年度中増 本年度中減 本年度末現在

(二) 被保險者數
 異動及現在
 前年度末現在 本年度中増 本年度中減 本年度末現在

五 議員及理事ノ異動
本項ニハ就職又ハ退職若ハ死亡シタル議員又ハ理事ノ數ヲ選定議員若ハ互選議員又ハ選
定議員タル理事若ハ互選議員タル理事ニ區別シ記載スベシ尙月未現在ニ於テ缺員數アル
トキハ其ノ數ヲ同條ニ區別シ記載スベシ

組合原簿甲部
組合ノ名稱其ノ他

Table with columns: 名, 設立年月日, 事務所所在地, 組合ノ設立アル事業, 工場又ハ事業場ノ名, 所在地及種類, 要領

理事

Table with columns: 定員, 任, 期, 年, 人, 人, 人

Table with columns: 氏名, 生年月日, 住, 所, 就職年月日, 種別, 任期, 摘要

議員

Table with columns: 定員, 計, 人, 人, 人

組合原簿乙部
事業主タル組合員

Table with columns: 氏名, 生年月日, 住, 所, 就職年月日, 種別, 任期, 摘要

被保險者タル組合員

Table with columns: 氏名, 生年月日, 住, 所, 組合ノ設立アル事業, 取得ノ年月日, 格取得ノ事由, 摘要

備考

- 一 甲部ト乙部トハ別冊ト爲スヘシ
二 從タル事務所ニ備フヘキ組合原簿ノ乙部ハ其ノ事務所ニ屬スル分ノミテ記載スルコトヲ得
三 乙部ハ組合ノ設立アル事業毎ニ口座ヲ分チ又ハ別冊ト爲シ且被保險者タル組合員ノ部ハ強制被保險者ノ任意包括被保險者毎ニ口座ヲ分チヘシ
四 本様式ニ掲ケル事項ノ外必要ト認ムル事項ハ別ニ欄ヲ設ケテ之ヲ記載スルコトヲ得
五 記載事項ニ變更アリタルトキハ之ヲ改訂スルト共ニ變更ノ事項及年月日ヲ「摘要」欄ニ記載スヘシ
六 理事又ハ議員退職又ハ死亡シタルトキハ組合員其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ未練

ヲ以テ抹消シ年月日及事由ヲ「摘要」欄ニ朱書スヘシ他ノ口座又ハ帳簿ニ記載ヲ移
シタルトキ亦之ニ準ス
七 他ノ組合ヲ合併シタルトキ又ハ組合力分割シタルトキハ其ノ年月日及合併又ハ分
割ノ組合名ヲ「組合」名稱其ノ他ノ部ノ「摘要」欄ニ記載スヘシ
八 「理事」ノ部ノ「種別」欄ニハ事業主ノ選定シタル議員中ヨリ互選シタル者、被保險
者タル議員中ヨリ互選シタル者ノ別ヲ記載スヘシ「議員」ノ部ノ「種別」欄亦之ニ準
ス
九 理事長ニ付テハ「理事」ノ部ノ氏名ノ右肩ニ「理事長」又ハ「理事長代理」ト記載スヘ
シ
十 「理事」ノ部及「議員」ノ部ノ「任期」欄ハ「自昭和何年何月何日」ノ如ク記載スヘシ
十一 「理事」ノ部及「議員」ノ部ノ「任期」欄ハ「昭和何年何月何日」ノ如ク記載スヘシ
十二 削除
十三 削除

Table with columns: 被保險者證ノ記載及番號, 被保險者 (氏名, 男女別, 生年月, 住所), 工場又ハ事業場 (名稱, 所在地), 現ニ療養ヲ爲ス傷病日名及給付開始年月日, 發行年月日, 發行所 (何府何縣何市何町何村何大字何何番地), 本證明書ニ依リテ爲シタル療養ノ給付 (傷病名, 開始日, 終了日, 終了事由, 備考, 認印)

備考

- 一 「本證明書」ニ依リテ爲シタル療養ノ給付「欄」ノ事項ハ療養證明書ニ依リテ療養ヲ爲シタル療養證明書又ハ療養ノ支給ヲ爲シタル療養證明書ニ於テ其ノ療養證明書返還ノ際記載スベシ
二 「本證明書」ニ依リテ爲シタル療養ノ給付「欄」ノ記載ニ付テハ様式第六號備考四ノイ乃至ヘニ準ズベシ
三 處方箋ト共ニ交付スル療養證明書ニ在リテハ「工場又ハ事業場」及「現ニ療養ヲ爲ス傷病名及給付開始年月日」ノ各欄ハ之ヲ抹消スベシ

四 第四十五條第三項ノ書面ニ依リテ發行スル療養證明書ニ在リテハ「工場又ハ事業場」ノ欄ヲ「共済組合」ノ欄トシ該共済組合ノ名稱及所在地ヲ記載スベシ

健康保險ノ被保險者タラサル臨時使用人ノ件
大正十五年十月十九日
內務省令第四十七號

健康保險ノ被保險者タラサル臨時使用人ノ件
健康保險ノ被保險者タラサル臨時使用人ノ件
健康保險ノ被保險者タラサル臨時使用人ノ件
健康保險ノ被保險者タラサル臨時使用人ノ件

官吏及待遇官吏ハ健康保險ノ被保險者タラサルノ件
大正十五年十月十九日
內務省令第四十八號

健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル件
昭和二年八月十九日
內務省令第二十八號

第一條 官公立ノ大學附屬醫院其ノ他之ニ準ズベキ病院ハ健康保險ノ被保險者ノ委嘱ニ依リ健康保險法施行令第七十四條第一項第一號乃至第三號ノ療養ノ給付(往診ヲ除ク)ヲ爲スコトヲ得
被保險者前項ノ病院ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケル場合ニ於テ其ノ給付ノ手續ハ當該病院

第二條 被保險者前條ノ病院ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケタルトキハ保險者ノ承認アリタル場合ヲ除ク外同一ノ疾病又ハ負傷ニ付テハ健康保險法施行令第七十五條ノ規定ニ依リ保險者ノ指定シタル醫師若ハ商科醫師又ハ前條ノ規定ニ依リ保險者ノ委嘱シタル他ノ病院ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケルコトヲ得
保險者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ前項ノ承認ヲ拒ムコトヲ得
第三條 第一條ノ病院ニ於テ療養ノ交付ヲ受ケタルトキハ被保險者ハ健康保險法施行令第七十六條ノ規定ニ依リ保險者ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受ケルコトヲ得
第四條 第一條ノ病院ハ內務大臣文部大臣ト協議シテ之ヲ定ム
附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
昭和三年二月十日
內務省令第一號
文部省令第一號

- 昭和二二年勅令第二百六十八號健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル件第一條ノ規定ニ依リ健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院其ノ他之ニ準ズベキ病院同令第四條ノ規定ニ依リ左ノ通定メタリ
東京帝國大學醫學部附屬醫院
東京帝國大學醫學部附屬醫院分院
東北帝國大學醫學部附屬醫院
九州帝國大學醫學部附屬醫院
北海道帝國大學醫學部附屬醫院
新潟帝國大學醫學部附屬醫院
岡山帝國大學醫學部附屬醫院
千葉帝國大學醫學部附屬醫院
長崎帝國大學醫學部附屬醫院
長崎帝國大學醫學部附屬醫院
傳染病研究所

三 被保險者詐偽其ノ他不正ノ行為ニ因リ
齒科診療ヲ受ケ又ハ受ケムトシタルト
キ

第十八條 保險醫タル齒科醫師ハ式第六號
ニ依リ毎月齒科診療報告書ヲ製シ毎月齒
科診療報酬請求書ト共ニ所轄健康保險署長
ニ提出スルモノトス

第十九條 保險醫タル齒科醫師ハ診療所ニ據
式第七號ニ依リ表札ヲ掲ケルモノトス

第二十條 所轄健康保險署長保險醫タル齒科
醫師ニシテ齒科診療ニ關シ詐偽其ノ他不正
ノ行為ヲ爲シ若ハ保險醫タルノ義務ヲ怠リ
タル者又ハ保險醫トシテ不適當ト認ムヘキ
事由アリタル者ハ其ノ指定ヲ取消スモノト
ス

第二十一條 保險醫タル齒科醫師ハ三箇月前
ノ報告ヲ爲スニ非サレハ保險醫ヲ辭スルコ
トヲ得ス但シ疾病、負傷其ノ他已ムテ得サ
ル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 政府ハ保險醫タル齒科醫師ニ就
キ齒科診療ニ關スル帳簿及書類ヲ檢閲シ又
ハ報告ヲ徴シ得ルモノトス

第二十三條 保險醫タル齒科醫師ハ齒科診療
ニ關スル帳簿及書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ十
二年間保存スルモノトス但シ政府ノ特ニ承
認シタル帳簿及書類ニ付テハ其ノ保存期限
ヲ短縮スルコトヲ得ルモノトス

第二十四條 保險醫タル齒科醫師其ノ氏名又
ハ診療所所在地ヲ變更シタルトキハ其ノ都

度式第八號ニ依リ日本齒科醫師會ヲ經テ
所轄健康保險署長ニ届出スルモノトス

第二十五條 本告示ニ於テ被保險者トアルハ
健康保險組合ノ組合員ニ非サル被保險者
(政府事業ニ使用セラルル被保險者ニシテ
健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ内務
大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員ヲ除
ク)及其ノ被保險者ノ資格喪失後仍舊其ノ
給付ヲ受クルコトヲ得ヘキ者(健康保險法
第四十八條ノ規定ニ依リモノヲ除ク)トス

第二十六條 齒科專門ヲ標榜シ又ハ齒科醫業
中金屬充填、鑲嵌、義齒、齒冠、齒橋及架工、齒
列矯正並ニ口蓋補綴ノ技術ニ屬スル行為ヲ
爲ス醫師ハ本告示ニ於テ齒科醫師ト看做
ス

第二十七條 第一條、第七條及第二十四條ニ
日本齒科醫師會トアルハ日本齒科醫師會ニ
於テ道府縣齒科醫師會ヲ代理者ト定ムル
トキハ其ノ道府縣齒科醫師會トス

第二十八條 本告示ノ條項ハ健康保險法施行上
ノ必要ニ依リ變更スルコトアルモノトス

式第一號
申請書

掲者備明和二年八月内務省告示第四百號ニ
依リ政府ノ管掌スル健康保險ノ保險醫トシ
テ御指定相成度此段及申請候也

追テ保險醫トシテ御指定ノ上ハ齒科診療
ニ關シ政府ト日本齒科醫師會ト間ニ協
定セラレタル事項ヲ承認ノ上昭和二年八
月内務省告示第四百號ノ各條項ヲ遵守シ
齒科診療ニ從事可致候

年 月 日
診療所所在地 何々
齒科醫師登錄番號 何々
氏 名 何々

式第二號
齒科診療報酬請求書

第 號		齒科診療報酬請求書			
年 月 分		被保險者氏名	男女別	生年月	資格取得年月日
種 類	被保險者證ノ記號及番號				
初診	種 類	保險齒科醫請求額	齒科醫師會査定額	備 考	
治療	齒 別	齒 別	齒 別		
充填	種 類	種 類	種 類		
小計	種 類	種 類	種 類		
大計	種 類	種 類	種 類		
小計	種 類	種 類	種 類		
合計	種 類	種 類	種 類		

年 月 日
診療所所在地 何健康保險署長殿
健康保險齒科醫 氏 名 何

備考
一 齒科診療報酬請求書ニ付齒科醫師會審査ノ結果訂正シタルトキハ其ノ事由ヲ「備考」欄ニ記載スルモノトス
二 治療又ハ充填ノ回数ハ「備考」欄ニ記載スルモノトス
三 「被取線」ノ左側ニハ式第六號ニ依リ齒科診療報告書ヲ連續セシムルモノトス
四 本請求書ニハ齒科診療ニ付健康保險署長ノ承認ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ承認書ヲ添付スルモノトス
五 前號ノ承認書ニハ健康保險齒科醫ニ於テ齒科診療完了年月日ヲ記載シ被保險者ニ署名捺印セシムルモノトス署名捺印ヲ爲サシムルコトヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ附記スルモノトス

式第三號

齒科補綴承認申請書

被保險者證ノ記號及番號

被保險者 (氏名) (男女別) (生年月) (資格取得年月日) (住所)

工場又ハ事業場 (名稱) (所在地)

療養ヲ受ケムトスル疾病カ現ニ療養ヲ爲ス傷病ニ因リ發シタルモノナルトキハ現ニ療養ヲ爲ス傷病ニ付療養ノ給付ヲ開始シタル年月日

種 類	箇 數	見 積 料 金	完 了 豫 定 日 數	摘 要
(A) 床義齒				
(B) 金 鈎				
(C) 陶齒冠 繼續				
(D) 白 齒 金 冠				
計				

上記ノ齒科補綴承認相成度此段及申請候也
年 月 日
診療所所在地 何健康保險署長殿
健康保險齒科醫 氏 名 何
齒科醫師會ノ意見

式第四號
七 六 五 四

(十圓以上)ノ齒科診療承認申請書

被保險者證ノ記號及番號

被保險者 (氏名) (男女別) (生年月) (資格取得年月日) (住所)

工場又ハ事業場 (名稱) (所在地)

療養ヲ受ケムトスル疾病カ現ニ療養ヲ爲ス傷病ニ因リ發シタルモノナルトキハ現ニ療養ヲ爲ス傷病ニ付療養ノ給付ヲ開始シタル年月日

商 別 種 類	見 積 料 金	完 了 豫 定 日 數	摘 要
計			

内務省告示第四百號第十條ニ依リ上記ノ齒科診療ヲ爲スコトヲ御承認相成度此段及申請候也
年 月 日
診療所所在地 何健康保險署長殿
健康保險齒科醫 氏 名 何
齒科醫師會ノ意見

備考
一 修理ヲ爲ス場合ハ修理ノ方法及程度ヲ「摘要」欄ニ記載スルモノトス
二 完了豫定日數ヲ超過スル場合ハ其ノ理由ヲ「摘要」欄ニ記載スルモノトス
三 承認ヲ受ケルモノトス
四 齒科醫師會ノ意見「備考」欄ニハ齒科醫師會ニ於テ齒科補綴ヲ爲ス必要ノ有無又ハ齒科補綴ノ種類、箇數、見積料金、完了豫定日數等ニ付意見ヲ記入スルモノトス

備考 一 本申請書ハ日本齒科醫師會(又ハ其ノ委任ヲ受ケタル道府縣齒科醫師會)ヲ經由シ...

被保險者齒科診療報告書 年 月 分 被保險者證ノ記號及番號 被保險者氏名 男女別 生年月日

備考 一 本報告書ハ各被保險者所屬ノ健康保險署ニ提出スルモノトス...

健康保險齒科 備考 一 本表札ノ大サハ縦約六寸横約二寸五分トス...

政府ノ管掌スル健康保險ノ保險料率 內務省告示第四百九十九號

健康保險組合臺帳閱覽ノ件 大正十五年十月十九日 內務省令第四百九十九號

健康保險組合ニ對シ交付スル 國庫負擔金ノ概算拂ニ關スル 件 昭和二年二月十六日 內務省令第九號

健康保險組合ニ對シ交付スル 國庫負擔金ノ概算拂ニ關スル 件 昭和二年二月十六日 內務省令第九號

一 當該年度ニ於ケル保險給付ニ要スル費用ノ豫算額

二 第三條第二項ノ規定ニ依リ計算シタル被保險者ノ員數ノ平均數及其ノ計算ノ基礎ト爲リタル各月末ニ於ケル被保險者ノ員數

一 當該年度ニ於ケル健康保險給付ニ要スル費用ノ豫算額

一 當該年度ニ於ケル健康保險給付ニ要スル費用ノ豫算額

支給ノ件 昭和二年四月四日 內務省令第九號

一 口頭審問ノ爲健康保險審查會ニ出頭シタル者ニ對シ...

一 口頭審問ノ爲健康保險審查會ニ出頭シタル者ニ對シ...

一 口頭審問ノ爲健康保險審查會ニ出頭シタル者ニ對シ...

簡易生命保險法 大正五年七月十日 法律第十四號

一 簡易生命保險ニ於テハ政府力保險契約者又ハ第三者ノ生死ニ關シ保險金額ヲ支拂フヘキコトヲ約シ...

一 簡易生命保險ニ於テハ政府力保險契約者又ハ第三者ノ生死ニ關シ...

一 簡易生命保險ニ於テハ政府力保險契約者又ハ第三者ノ生死ニ關シ...

第九條 保險契約者ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定セザルトキハ被保險者ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキ者トス

第十條 保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ第三者ナルトキハ其ノ第三者ハ當然保險契約ノ利益ヲ享受ス

第十一條 保險契約者ハ保險金額又ハ第二十五條ノ規定ニ依リて還付金額ノ支拂ノ事由由生スル迄ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定スルコトヲ得但シ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ第三者ナル場合ニ於テ保險契約者ハ其ノ意思ヲ表示セザルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 保險金額又ハ第二十五條ノ規定ニ依リて還付金額ヲ受取ルヘキ者ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得但シ命令ニ別段ノ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 前條ノ權利ハ之ヲ差押フルコトヲ得

第十四條 保險契約者ハ被保險者ノ同意ヲ得テ第三者ヲ以テ保險契約ノ因ハ權利義務ヲ承継セザルコトヲ得

第十五條 前項ノ承継ハ政府ニ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ政府ニ對抗スルコトヲ得

第十六條 保險契約者又ハ被保險者ノ詐欺ニ因リ保險契約ハ之ヲ無効トス

第十七條 保險契約者ハ何時ニテモ保險契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第十八條 前項ノ解除ハ將來ニ向テノ其ノ效力ヲ生ス

第十九條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險契約者ハ保險契約ノ失效後一年內ニ限リ其ノ復活ノ申込ヲ爲スコトヲ得

第二十條 前條ノ申込ヲ承諾セザルトキハ保險契約ニ依リて復活ノ旨ヲ記載ス

第二十一條 保險契約復活ノ日ニ發生スル其ノ效力ヲ失ハサレシモノト看做ス

第二十二條 保險契約復活ノ場合ニ於テ準用スル規定ハ保險契約ノ復活ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 被保險者ハ保險契約復活ノ效力發生後一年內ニ災害又ハ傳染病預防法第一條第一項ノ傳染病ニ因ラズシテ死亡シタルトキハ助金ノ定ムル所ニ依リ保險金額ノ一部ヲ支拂ハサルコトヲ得

第二十四條 前項ノ場合ニ於テ被保險者ハ保險契約ノ效力發生後二年內ニ死亡シタルトキハ第八條ノ規定ニ依ル

第二十五條 左ノ場合ニ於テハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セズ

- 一 被保險者ハ保險契約又ハ其ノ復活ノ效力發生後二年內ニ自殺シタルトキ
- 二 被保險者ハ其ノ他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ
- 三 保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ故意ニ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但シ其ノ者ハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ政府ハ其ノ殘額ヲ支拂フ
- 四 被保險者ハ其ノ故意ニ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ
- 五 被保險者ノ死亡シタル場合ニ於テ保險契約者及保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第二十六條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第二十七條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第二十八條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第二十九條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十一條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十二條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十三條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十四條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十五條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十六條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十七條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十八條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第三十九條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

第四十條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セザルトキ

附則(大正十五年勅令第三十六號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第三十七號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第三十八號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第三十九號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十一號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十二號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十三號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十四號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十五號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十六號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十七號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十八號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第四十九號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則(大正十五年勅令第五十號)
本法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

改正 大正二年第三九五號、五年第六八號
簡易生命保險令ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

第一章 簡易生命保險令
第一條 簡易生命保險ハ終身保險及養老保險トス

第二條 終身保險ニ在リテハ被保險者死亡シタルニ因リテ保險金額ヲ支拂フ爲メトス

第三條 養老保險ニ在リテハ被保險者ノ生存中保險期間満了シ又ハ其ノ期間満了前被保險者死亡シタルニ因リテ保險金額ヲ支拂フ爲メトス

第四條 養老保險ハ左ノ七種トス

- 一 十年滿期養老保險
- 二 十五年滿期養老保險
- 三 二十年滿期養老保險
- 四 二十五年滿期養老保險
- 五 三十年滿期養老保險
- 六 三十五年滿期養老保險
- 七 四十年滿期養老保險

第五條 新設被保險者ハ六十歳以下トス

第六條 保險證書作成ノ後被保險者ノ年齢ニ付テハ其ノ最高ノ保險金額ニ基キテ保險契約ヲ爲シタルモノト看做ス

第七條 保險契約ハ左ノ基礎ニ依リ計算ス

- 一 明治四十五年內閣統計局ノ發表シタル明細表ノ男子死亡率ニ對シテ增加シテ作成シタル死亡生率表
- 二 年三分五厘ノ豫定利率

被保險者ノ爲ニ積立テヘキ金額ハ前項ノ基礎ニ依リ計算ス

第八條 簡易生命保險法第八條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ保險金額ハ左ノ區別ニ依ル

第九條 簡易生命保險法第二十三條第一項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ保險金額ハ左ノ區別ニ依リ保險契約復活ノ效力發生ノ日ニ於テ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ニ左ノ金額ヲ加ヘタルモノトス

第十條 簡易生命保險法第八條及第二十三條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ保險金額ハ左ノ區別ニ依ル

第十一條 簡易生命保險法第二十五條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金額ハ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ノ百分ノ八十乃至九十八ノ範圍ニ在ラス

簡易生命保險規則

附則(大正十五年勅令第六十八號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第六十九號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十一號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十二號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十三號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十四號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十五號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十六號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十七號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十八號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第七十九號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(大正十五年勅令第八十號)
本令ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 總則

第二章 契約ノ成立

第三章 保險料ノ支拂

第四章 契約ノ異動變更

第五章 契約ノ消滅及復活

第六章 保險契約者ノ對シテハ貸付

第七章 簡易生命保險規則

第八章 簡易生命保險令

第九章 簡易生命保險令

第十章 簡易生命保險令

第十一章 簡易生命保險令

第十二章 簡易生命保險令

第十三章 簡易生命保險令

第十四章 簡易生命保險令

第十五章 簡易生命保險令

第十六章 簡易生命保險令

第十七章 簡易生命保險令

第十八章 簡易生命保險令

第十九章 簡易生命保險令

第二十章 簡易生命保險令

第二十一章 簡易生命保險令

第二十二章 簡易生命保險令

第二十三章 簡易生命保險令

第二十四章 簡易生命保險令

第二十五章 簡易生命保險令

第二十六章 簡易生命保險令

第二十七章 簡易生命保險令

第二十八章 簡易生命保險令

第二十九章 簡易生命保險令

第三十章 簡易生命保險令

第三十一章 簡易生命保險令

第三十二章 簡易生命保險令

第三十三章 簡易生命保險令

第三十四章 簡易生命保險令

第三十五章 簡易生命保險令

第三十六章 簡易生命保險令

第三十七章 簡易生命保險令

第三十八章 簡易生命保險令

第三十九章 簡易生命保險令

第四十章 簡易生命保險令

第一章 總則

第二章 契約ノ成立

第三章 保險料ノ支拂

第四章 契約ノ異動變更

第五章 契約ノ消滅及復活

第六章 保險契約者ノ對シテハ貸付

第七章 簡易生命保險規則

第八章 簡易生命保險令

第九章 簡易生命保險令

第十章 簡易生命保險令

第十一章 簡易生命保險令

第十二章 簡易生命保險令

第十三章 簡易生命保險令

第十四章 簡易生命保險令

第十五章 簡易生命保險令

第十六章 簡易生命保險令

第十七章 簡易生命保險令

第十八章 簡易生命保險令

第十九章 簡易生命保險令

第二十章 簡易生命保險令

第二十一章 簡易生命保險令

第二十二章 簡易生命保險令

第二十三章 簡易生命保險令

第二十四章 簡易生命保險令

第二十五章 簡易生命保險令

第二十六章 簡易生命保險令

第二十七章 簡易生命保險令

第二十八章 簡易生命保險令

第二十九章 簡易生命保險令

第三十章 簡易生命保險令

第三十一章 簡易生命保險令

第三十二章 簡易生命保險令

第三十三章 簡易生命保險令

第三十四章 簡易生命保險令

第三十五章 簡易生命保險令

第三十六章 簡易生命保險令

第三十七章 簡易生命保險令

第三十八章 簡易生命保險令

第三十九章 簡易生命保險令

第四十章 簡易生命保險令

第十三條 保險契約ノ申込ヲ爲サントスル者ハ申込ノ際被保險者タルヘキ者ヲシテ郵便官署ノ吏員ニ面接セシムヘシ但シ被保險者タルヘキ者ガ現役軍人又ハ召集中ノ軍人ニシテ所屬長官ノ健康證明書ヲ提出スルトキハ之ノ方手続ヲ省略スルコトアルヘシ

第十四條 簡易保險局保險契約ノ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書及保險料領收帳ヲ保險契約ノ申込者ニ交付ス但シ保險料ノ振替貯金振替拂込ヲ爲スモノニ在リテハ保險料領收帳ヲ交付セズ

第十五條 保險證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ簡易保險局長記名調印ス

一 保險ノ種類

二 保險料額及其ノ拂込期間

三 保險契約者及被保險人ノ氏名又ハ名稱並被保險者ノ氏名及生年月日

四 第九條ノ場合ニ於テハ其ノ代表者ノ氏名

五 保險證書作成ノ年月日及記載番號

六 簡易生命保險法第十一條但書ノ意思表

七 養老保險ニ在リテハ保險期間ノ終期

八 養老保險ノ拂込

九 養老保險ノ終期

十 養老保險ノ終期

十一 養老保險ノ終期

十二 養老保險ノ終期

十三 養老保險ノ終期

十四 養老保險ノ終期

十五 養老保險ノ終期

十六 養老保險ノ終期

十七 養老保險ノ終期

十八 養老保險ノ終期

十九 養老保險ノ終期

二十 養老保險ノ終期

二十一 養老保險ノ終期

二十二 養老保險ノ終期

二十三 養老保險ノ終期

二十四 養老保險ノ終期

二十五 養老保險ノ終期

二十六 養老保險ノ終期

第十六條 保險料ノ拂込期間ハ十年間、十五年間、二十年間又ハ全保險期間トス

第十七條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第十八條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第十九條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十一條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十二條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十三條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十四條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十五條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十六條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十七條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十八條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十九條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十一條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十二條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十三條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十四條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十五條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十六條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十七條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十八條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第三十九條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第四十條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第四十一條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第四十二條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第四十三條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第四十四條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十九條 養老保險ノ終期

第三十條 養老保險ノ終期

第三十一條 養老保險ノ終期

第三十二條 養老保險ノ終期

第三十三條 養老保險ノ終期

第三十四條 養老保險ノ終期

第三十五條 養老保險ノ終期

第三十六條 養老保險ノ終期

第三十七條 養老保險ノ終期

第三十八條 養老保險ノ終期

第三十九條 養老保險ノ終期

第四十條 養老保險ノ終期

第四十一條 養老保險ノ終期

第四十二條 養老保險ノ終期

第四十三條 養老保險ノ終期

第四十四條 養老保險ノ終期

第四十五條 養老保險ノ終期

第四十六條 養老保險ノ終期

第四十七條 養老保險ノ終期

第四十八條 養老保險ノ終期

第四十九條 養老保險ノ終期

第五十條 養老保險ノ終期

第五十一條 養老保險ノ終期

第五十二條 養老保險ノ終期

第五十三條 養老保險ノ終期

第五十四條 養老保險ノ終期

第五十五條 養老保險ノ終期

第五十六條 養老保險ノ終期

第五十七條 養老保險ノ終期

第五十八條 養老保險ノ終期

第五十九條 養老保險ノ終期

第六十條 養老保險ノ終期

第六十一條 養老保險ノ終期

第六十二條 養老保險ノ終期

第六十三條 養老保險ノ終期

第六十四條 養老保險ノ終期

第六十五條 養老保險ノ終期

第六十六條 養老保險ノ終期

第六十七條 養老保險ノ終期

第六十八條 養老保險ノ終期

第六十九條 養老保險ノ終期

第七十條 養老保險ノ終期

第七十一條 養老保險ノ終期

第七十二條 養老保險ノ終期

第七十三條 養老保險ノ終期

第七十四條 養老保險ノ終期

第七十五條 養老保險ノ終期

第七十六條 養老保險ノ終期

第七十七條 養老保險ノ終期

第七十八條 養老保險ノ終期

第七十九條 養老保險ノ終期

第八十條 養老保險ノ終期

第八十一條 養老保險ノ終期

第八十二條 養老保險ノ終期

第八十三條 養老保險ノ終期

第八十四條 養老保險ノ終期

第八十五條 養老保險ノ終期

第八十六條 養老保險ノ終期

第十三條 保險契約ノ申込ヲ爲サントスル者ハ申込ノ際被保險者タルヘキ者ヲシテ郵便官署ノ吏員ニ面接セシムヘシ但シ被保險者タルヘキ者ガ現役軍人又ハ召集中ノ軍人ニシテ所屬長官ノ健康證明書ヲ提出スルトキハ之ノ方手続ヲ省略スルコトアルヘシ

第十四條 簡易保險局保險契約ノ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書及保險料領收帳ヲ保險契約ノ申込者ニ交付ス但シ保險料ノ振替貯金振替拂込ヲ爲スモノニ在リテハ保險料領收帳ヲ交付セズ

第十五條 保險證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ簡易保險局長記名調印ス

第十六條 保險料ノ拂込期間ハ十年間、十五年間、二十年間又ハ全保險期間トス

第十七條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第十八條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第十九條 保險料ノ拂込期間ハ二十年間、十五年間又ハ全保險期間トス

第二十九條 養老保險ノ終期

第三十條 養老保險ノ終期

第三十一條 養老保險ノ終期

第三十二條 養老保險ノ終期

第五十八條 養老保險ノ終期

第五十九條 養老保險ノ終期

第六十條 養老保險ノ終期

第六十一條 養老保險ノ終期

Table with 10 columns and 20 rows of numerical data, likely representing insurance rates or values for different ages and periods.

Table with 10 columns and 20 rows of numerical data, similar to the first table but with different values.

備考 年齢ハ出生ノ月ヨリ契約申込ノ月マテ月ヲ以テ計算シ之ニ一年未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ端數カ七月以上ナルトキハ之ヲ一年ニ切上ケ六月以下ナルトキハ之ヲ切捨ツルモノトス

別表第二

第三十一條ノ規定ニ依ル保險金額... 第三十二條ノ規定ニ依ル更正スヘキ保險金額ハ左ノ區別ニ依ル... 第一 保險契約ノ效力發生ノ時ニ於テ申込當時ノ年齢及將來拂込ムヘキ保險料ヲ以テ變更セムトス...

別表第三

第四十五條ノ規定ニ依ル還付金額及還付セザル期間... 一、還付金額ハ被保險者ノ爲ニ積立タル金額ニ左ノ區別ニ依ル割合ヲ乘シタル金額トス... 二、前記ノ金額ヲ還付セザル期間ハ保險契約ノ效力發生後一年トス...

Table with 2 columns: 期 (Period) and 終身 (Life). Rows include 終身, 十年, 十五年, 二十年, 三十年, 三十五年, 四十年, 五十年, 五十五年, 六十年, 六十五年, 七十年, 七十五年, 八十年, 八十五年, 九十年, 九十五年, 一十年, 十五年, 二十年, 三十年, 三十五年, 四十年, 五十年, 五十五年, 六十年, 六十五年, 七十年, 七十五年, 八十年, 八十五年, 九十年, 九十五年.

Table with columns for age groups (e.g., 六年以内, 七年以内) and corresponding numerical values representing insurance rates or percentages.

Table with columns for '期間' (Term) and '終身' (Life), listing various insurance terms and their corresponding rates.

第一項ニ依ル保險料還付額ヲ例示スレハ左ノ如シ
大正十年一月二十日三十分滿期老保險料月額七十錢全期間拂込ノ契約ヲ締結シ大正十三年二月一日三十分滿期老保險料月額一圓二十錢十年拂込ノ契約ニ變更シ大正十五年九月十五日被保險者死亡シ保險金額ヲ支拂フ場合ニ於ケル保險料還付額何ナクナリ

右保險料還付額ヲ算出スルニ
(一) 第一項第一ノ保險料還付額ハ三十年滿期老保險料月額一圓二十錢十年拂込ニ對スル六年內ノモノニ付八月分ニ相當スル額ニシテ保險料月額一圓二十錢ノ八倍即チ九圓六十錢ナリ(別表第四第一號表參照)

第三項ニ依ル保險料還付額ヲ例示スレハ左ノ如シ
大正五年十月一日終身保險料月額三十錢終身拂込ノ契約ヲ締結シ大正七年十一月十五日二十年滿期老保險料月額五十錢全期間拂込ノ契約ニ變更シ大正十二年一月十日保險料月額四十錢ニ變更シ大正十五年九月三十日保險期間滿了シ保險金額ヲ支拂フ場合ニ於ケル保險料還付額何ナクナリ

(イ) 保險料還付額ハ二十年滿期老保險料月額五十錢全期間拂込ニ對スル七年內ノ...

簡易生命保險團體特別取扱規則
第一條 簡易生命保險團體特別取扱規則左ノ通定スルニ依リ之ヲ施行スルニシテ...

第二條 團體特別取扱受ケムトスルトキハ代表者ニ於テ保險申請書及第一回拂込ノ保險料ヲ取附メ團體特別取扱請求書ト共ニ郵局又ハ其ノ派出員ヲ經テ簡易生命保險局ニ提出ス...

第五條 第二條第一項乃至第五號ノ事項ヲ變更シ又ハ代表者姓名ヲ改メタルトキハ代表者ニ於テ保險料拂込額ヲ取附メ郵便局ヲ經テ之ヲ簡易生命保險局ニ提出ス...

二 貸付期間 一年以内
 二 貸付利率 年六分六厘
 第五十七條 貸付期間ハ年金支拂開始前ニ限リ
 更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得ス
 第五十八條 貸付期間満了前ニ於テ年金契約
 消滅シタルトキハ貸付ハ辨済期ニ達シタル
 モノトス
 第五十九條 貸付金ニ對スル利息ノ計算ハ月
 割リ以テ一月未滿ノ繰數アルトキハ一月
 ニ切上ク
 第六十條 貸付期間満了前貸付金ノ全部又ハ一部ノ辨
 済ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ辨済シタル
 額ニ付未達額過セザル期間ニ對スル利息ノ
 拂込ヲ要セス
 第六十一條 年金契約者又ハ年金受取人貸付ヲ
 受ケムトスルトキハ郵便年金證書ヲ呈示シ
 マル上年金貸付請求書ヲ郵便局ニ差出スヘ
 シ
 第六十二條 年金契約者又ハ年金受取人貸付
 金ノ辨済ヲ爲サムトスルトキハ貸付金ニ利
 息ヲ添ヘ郵便局ニ差出シ郵便年金證書ニ貸
 付金辨済ニ關スル事項ノ記入ヲ受ケヘシ此
 場合ニ於テ掛金振替貸付ノ貸付金ノ全部
 ナリトスルモナルトキハ掛金領收帳ニ
 掛金辨済額ノ記入ヲ受ケヘシ
 第六十三條 年金契約者又ハ年金受取人貸付
 金ノ辨済ヲ爲サムトスルトキハ貸付金ニ利
 息ヲ添ヘ郵便局ニ差出シ郵便年金證書ニ貸
 付金辨済ニ關スル事項ノ記入ヲ受ケヘシ
 第六十四條 年金受取人又ハ元金受取人第三
 十一條又ハ第五十一條ノ規定ニ依リ貸付金
 及其ノ利息ノ控除ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受
 ケタルトキハ郵便局ニ於テ郵便年金證書ニ
 貸付金辨済ニ關スル事項ノ記入ヲ受ケヘ
 シ
 第六十五條 本規則ハ第八章ノ規定ヲ除クノ
 外大正十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
 第八章ノ規定ハ大正十六年六月一日ヨリ之
 ヲ施行ス

別表第一

第五條第一項ノ規定ニ依ル掛金額
 一年年金額百圓ニ對スル年掛金額ハ左ノ如シ年金額二百圓ニ對スルモノハ其ノ二
 倍、三百圓ニ對スルモノハ其ノ三倍、四百圓ニ對スルモノハ其ノ四倍、其ノ他之ニ
 準シ計算スルモノトス

年	種別	五十歲支拂開始	五十五歲支拂開始	六十歲支拂開始	六十五歲支拂開始
一	男子	九.四三	五.四七	三.四四	四.四三
二	女子	一〇.一七	五.七三	三.六五	四.六五
三	男子	九.三三	五.三三	三.三三	四.三三
四	女子	一〇.〇七	五.六三	三.五五	四.五五
五	男子	八.五三	四.八三	二.八三	三.八三
六	女子	九.二七	五.一三	三.一五	四.一五
七	男子	七.九三	四.三三	二.三三	三.三三
八	女子	八.六七	四.六三	二.五五	三.五五
九	男子	七.三三	三.八三	一.八三	二.八三
一〇	女子	八.〇七	四.一三	二.〇五	三.〇五
一一	男子	六.六三	三.〇三	一.〇三	二.〇三
一二	女子	七.三三	三.三三	一.二五	二.二五
一三	男子	五.九三	二.二三	〇.二三	一.二三
一四	女子	六.六三	二.五三	〇.四五	一.四五
一五	男子	四.五三	一.三三	〇.三三	一.三三
一六	女子	五.二七	一.六三	〇.五五	一.五五
一七	男子	三.九三	〇.四三	〇.四三	一.四三
一八	女子	四.六三	〇.七三	〇.六五	一.六五
一九	男子	二.五三	〇.二三	〇.二三	一.二三
二〇	女子	三.二三	〇.五三	〇.四五	一.四五
二一	男子	一.五三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
二二	女子	二.二三	〇.三三	〇.二五	一.二五
二三	男子	〇.九三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
二四	女子	一.六三	〇.三三	〇.二五	一.二五
二五	男子	〇.二三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
二六	女子	〇.九三	〇.三三	〇.二五	一.二五
二七	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
二八	女子	〇.七三	〇.三三	〇.二五	一.二五
二九	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
三〇	女子	〇.五三	〇.三三	〇.二五	一.二五
三一	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
三二	女子	〇.三三	〇.三三	〇.二五	一.二五
三三	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
三四	女子	〇.一三	〇.三三	〇.二五	一.二五
三五	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
三六	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
三七	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
三八	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
三九	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
四〇	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
四一	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
四二	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
四三	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
四四	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
四五	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
四六	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
四七	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
四八	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
四九	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
五〇	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
五一	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
五二	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
五三	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
五四	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
五五	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
五六	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
五七	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
五八	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
五九	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
六〇	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
六一	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
六二	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
六三	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
六四	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
六五	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
六六	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
六七	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
六八	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
六九	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
七〇	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
七一	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
七二	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
七三	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
七四	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
七五	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
七六	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
七七	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
七八	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
七九	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
八〇	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
八一	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
八二	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
八三	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
八四	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
八五	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
八六	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
八七	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
八八	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
八九	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
九〇	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
九一	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
九二	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
九三	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
九四	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
九五	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
九六	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
九七	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
九八	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五
九九	男子	〇.〇三	〇.〇三	〇.〇三	一.〇三
一〇〇	女子	〇.〇三	〇.三三	〇.二五	一.二五

別表第二

元金留保額置年掛金額
 元金留保額置年掛金額ハ左ノ如シ年金額二百圓ニ對スルモノハ其ノ二
 倍、三百圓ニ對スルモノハ其ノ三倍、四百圓ニ對スルモノハ其ノ四倍、其ノ他之ニ
 準シ計算スルモノトス

年	種別	五十歲支拂開始	五十五歲支拂開始	六十歲支拂開始	六十五歲支拂開始
一	男子	六.五五	三.五五	二.五五	三.五五
二	女子	七.五五	三.八五	二.八五	三.八五
三	男子	五.五五	二.八五	一.八五	二.八五
四	女子	六.五五	三.一五	二.一五	三.一五
五	男子	四.五五	一.八五	〇.八五	一.八五
六	女子	五.五五	二.一五	一.一五	二.一五
七	男子	三.五五	〇.八五	〇.八五	一.八五
八	女子	四.五五	一.一五	一.一五	二.一五
九	男子	二.五五	〇.五五	〇.五五	一.五五
一〇	女子	三.五五	〇.八五	〇.八五	一.八五
一一	男子	一.五五	〇.二五	〇.二五	一.二五
一二	女子	二.五五	〇.五五	〇.五五	一.五五
一三	男子	〇.五五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
一四	女子	一.五五	〇.三五	〇.三五	一.三五
一五	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
一六	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
一七	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
一八	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
一九	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
二〇	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
二一	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
二二	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
二三	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
二四	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
二五	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
二六	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
二七	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
二八	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
二九	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
三〇	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
三一	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
三二	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
三三	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
三四	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
三五	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
三六	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
三七	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
三八	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
三九	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
四〇	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
四一	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
四二	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
四三	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
四四	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
四五	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
四六	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
四七	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
四八	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
四九	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
五〇	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
五一	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
五二	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
五三	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
五四	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
五五	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
五六	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
五七	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
五八	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
五九	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
六〇	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
六一	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
六二	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
六三	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
六四	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
六五	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
六六	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
六七	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
六八	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
六九	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
七〇	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
七一	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
七二	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
七三	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
七四	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
七五	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
七六	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
七七	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
七八	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
七九	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
八〇	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
八一	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
八二	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
八三	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
八四	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
八五	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
八六	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
八七	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
八八	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
八九	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	一.〇五
九〇	女子	〇.〇五	〇.三五	〇.三五	一.三五
九一	男子	〇.〇五	〇.〇五	〇.〇五	

隨者死亡シタルニ因リテ保險金額ノ支拂ヲ爲スモノトス

第六條 養老保險ハ左ノ七種トス

- 一 十年満期養老保險
二 十五年満期養老保險
三 二十年満期養老保險
四 三十年満期養老保險
五 三十五年満期養老保險
六 四十年満期養老保險
七 新ニ被保險者タルコトヲ得ル者ノ年

第八條 保險證書作成ノ後被保險者ノ年令ニ付テハ...

第九條 保險料ハ左ノ基ニ依リテ計算ス

第一 明治四十五年內閣府計局ノ發表シタル...

第二 年分五厘ノ固定利率

第三 被保險者ノ爲ニ積立タル金額ハ前項ノ基...

附則

本令施行ノ期日ハ總務省ノ之ヲ定ム

保險業法施行規則

大正十二年一月二十一日

總務省令第一二二號

第十六條 會社財産ノ價額ノ變動其ノ他會社...

第十七條 事業報告書ハ別記第一號書式ニ準...

第十八條 財産目録ハ貸借對照表ノ損益計算書...

第十九條 財産目録及貸借對照表ノ未收保險...

第二十條 保險會社ハ別記第六號書式ニ準...

第二十一條 保險會社ハ毎月末日ニ於ケル總...

第二十二條 保險會社ハ事業年度ノ終ニ於テ...

第二十三條 生命保險會社ハ其ノ生命保險契...

第二十四條 生命保險契約又ハ其ノ再保險契...

第二十五條 前條ノ保險料積立金ハ補保險料...

第二十六條 損害保險契約ニ對シテ責任準備...

第二十七條 損害保險契約ニ付テハ危險ノ發生...

第二十八條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第二十九條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十一條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十二條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十三條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十四條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十五條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十六條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十七條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

第三十八條 前二條ノ規定ニ依リテ計算シタル...

發起目録見書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト...

一 株主又ハ社員若ハ基金離出者募集ノ有...

二 各發起人ノ引受クヘキ株式ノ數又ハ相...

三 事業開始後保險契約者募集ニ關スル算...

第十條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十一條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十二條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十三條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十四條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十五條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十六條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十七條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十八條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第十九條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十一條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十二條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十三條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十四條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十五條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十六條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十七條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十八條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第二十九條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十一條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十二條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十三條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十四條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十五條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十六條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十七條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十八條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第三十九條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十一條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十二條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十三條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十四條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十五條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十六條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十七條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

第四十八條 保險會社ハ發起人ハ發起ノ認可ヲ申...

前項ノ書類ノ外其ノ事由ノ削減ノ方法ノ削減額及之ニ因リ生スヘキ責任準備金ノ減少額並將來ノ保險料ヲ減額スヘキ方法ヲ記載シタル書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第三十七條 第三十五條ノ認可アリタルトキハ保險契約ノ移轉ヲ受ケタル會社ハ一箇月内ニ移轉セラルル保險契約ノ契約者ニ其ノ旨ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四十三條 保險業法第十三條ノ二第四項ノ規定ニ依リ株主又ハ社員カ清算人ノ解任ヲ請求スルニハ其ノ申請書ニ資本ノ十分ノ一以上ニ當ル株主タルコトヲ證明スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第四十九條 保險會社ノ取締役、監査役、支配人又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ科料ニ處ス

(別記)

第一號書式

自年月日 日 事業報告書

一 事業ノ概況
二 定款ノ變更
三 事業方法書ノ變更
四 普通保險約款ノ變更
五 保險料及責任準備金算出ノ基礎ニ關スル書類ノ變更
六 財產利用方法書ノ變更
七 總會ニ關スル事項
八 社員總會ニ代ハルヘキ機關ノ組織ニ關スル事項

九 支店(從タル事務所)及出張所ニ關スル事項
十 代理店ニ關スル事項
十一 株主ニ關スル事項
十二 社員ニ關スル事項
十三 基金積出者ニ關スル事項
十四 利益又ハ剩餘金ノ分配ニ關スル事項
十五 事業ノ成績
十六 其ノ他重要ナル事項

右報告候也

自年月日 日 事業成績一覽表

前記ノ通相違無之ト相認候也
年 月 日
取締役
監査役
印

Table with columns for '自年月日' (Year/Month/Day), '死亡保險' (Death Insurance), '生存保險' (Life Insurance), and '計' (Total). It includes sub-columns for '件數' (Number of cases) and '金額' (Amount).

法ニ従ヒ之ヲ爲スコトヲ要ス
第十四條 保險業法施行規則第三條乃至第五條ノ規定ハ外國會社ニ之ヲ準用ス
第十五條 保險業法施行規則第六條、第八條、第十二條乃至第十三條ノ規定ハ外國會社ノ臺灣ニ於ケル事業ニ之ヲ準用ス
第十六條 外國會社ノ業務カ終了シタルトキハ代表者ハ其ノ終了シタルコトヲ證明スルニ足ルヘキ書面ヲ臺灣總督ニ提出スコトヲ要ス
第十七條 第二條、第三條、第四條、第六條乃至第十六條ノ規定ハ外國人ニ之ヲ準用ス
第十八條 外國人又ハ外國人若ハ外國會社ノ代表者第二條第二項ノ規定ニ依リ供託ヲ爲サザリシトキハ十圓以上十圓以下ノ料科ス處ス但シ其ノ行爲ニ付キ刑科料ヘキトキハ此ノ限ニ在ラス
第十九條 非訟事件手続法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ニ定メタル料科ニ之ヲ準用ス
第二十條 外國人又ハ外國人若ハ外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 保險業法施行規則第八條ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ保險證券ニ記載セズ

若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ保險證券ニ添附セス若ハ不正ノ記載ヲ爲シタル書面ヲ添附シタルトキ
二 保險業法施行規則第三十三條又ハ第三十六條第四項ノ規定ニ違反シタルトキ
二十一條 外國人又ハ外國人若ハ外國會社ノ代表者ハ左ノ場合ニ於テハ料科ニ處ス
一 第八條ノ規定ニ依リ臺灣總督ノ認許シタル方法ニ違反シテ公告ヲ爲シタルトキ
二 第十三條ノ規定ニ依リ臺灣總督ノ指定シタル方法ニ違反シテ公告ヲ爲シタルトキ
三 保險業法施行規則第三十八條ニ定ムル方法ト異ナル方法ニ依リ公告ヲ爲シタルトキ
四 第五條、第十條第三項、第十一條、第十四條、第十六條ノ規定ニ違反シテ届出又ハ書類ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ
附則
本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正十二年府令第十號ハ之ヲ廢止ス

七 支店又ハ從タル事務所ニ關スル事項
(本項ニハ支店又ハ從タル事務所ノ異動及現在ノ所在ヲ記載スヘシ)
八 代理店ニ關スル事項
(本項ニハ代理店ノ異動及現在ノ所在ヲ記載スヘシ)
九 相互會社ノ社員ノ増減及其ノ現在數ヲ記載スヘシ)
十 利益又ハ剩餘金ノ分配ニ關スル事項
(本項ニハ保險契約ニ對スルモノヲ記載スヘシ)
十一 事業ノ成績
一 本項ニハ左ノ様式ニ從ヒ事業ノ成績ヲ記載スヘシ
死亡保險 生存保險
式附錄第一乃至第七ニ準ス
二 生存、年金、徵兵保險ニ在リテハ保險業法施行規則第一號書式附錄第一乃至第六ニ準ス
三 傷害及疾病保險ニ在リテハ保險業法施行規則第一號書式附錄第一、第八及第九ニ準シ傷害保險ニ在リテハ年金額ノ給付率比較統計表ヲ作成スヘシ
八及第九ニ準シ同附錄第五ニ準シタル死亡比較統計表ヲ作成スヘシ
四 海上及運送保險ニ在リテハ保險業法施行規則第一號書式附錄第十及第十一ニ準ス
五 火災、信用、機關、汽機其他ノ損害保險ニ在リテハ、保險業法施行規則第一號書式附錄第九乃至第十一ニ準ス
備考
再保險ニ在リテハ其ノ原保險ノ種類ニ適用スヘキ書式ニ準ス
十二 其ノ他重要ナル事項
右報告候也
年月日
臺灣ニ於ケル代表者 氏 名

第一號書式 (別記)

自年月日查閱ニ於ケル事業報告書
一 事業ノ概況
二 定款ノ變更
(本項ニハ定款變更ノ要領、其ノ決議、申請及認可ノ年月日等ヲ記載スヘシ)
三 臺灣ニ於ケル事業ノ方法書ノ變更
(一ニ準ス)
四 普通保險約款ノ變更
(一ニ準ス)
五 保險料及責任準備金算出ノ基礎ニ關スル書類ノ變更
(一ニ準ス)
六 財産利用方法書ノ變更
(一ニ準ス)

Table with columns for '甲' (Insurance Status) and '乙' (Financials). '甲' includes '現在契約' (Current Contracts) and '新契約及其ノ他ノ増減' (New Contracts and other changes). '乙' includes '再保險金額' (Reinsurance Amount), '利息' (Interest), and '料' (Premiums). Rows are categorized by '月' (Month) and '年' (Year).

Table with columns for '入' (Income) and '出' (Expenditure). '入' includes '再保險料' (Reinsurance Premiums) and '保費' (Insurance Fees). '出' includes '營業費' (Operating Expenses) and '其他' (Others). Rows are categorized by '月' (Month) and '年' (Year).

右報告候也
年月日
臺灣ニ於ケル代表者 氏 名

一 本表ハ生命保險、火災保險、海上保險、運送保險等ノ事業別ニ記載シ甲號ニ在リテハ左ノ區別ニ從フコトヲ要ス
一 生命保險ニ在リテハ死亡、生存、年金等ニ分チ年金額以外ノモノニ付合計ヲ附スルコト
二 火災保險ニ在リテハ動産(日歩契約)ノ不動産及日歩契約ニ分チ日歩契約以外ノモノニ付合計ヲ附シ日歩契約ノ新契約及消滅契約ニ付テハ日歩保險金額ヲ果計シタルモノヲ掲記スルコト
三 海上保險ニ在リテハ定時、航海ニ分チ航海ノ更ニ船舶ト貨物トニ區別シ合計ヲ附スルコト
四 傷害保險ニ在リテハ旅行中ノ危險ノミヲ保險スルモノアルトキハ之ヲ區別シテ掲記スルコト
五 信用保險、傷害保險等ニシテ保險ノ目的又ハ之ニ準スヘキモノヲ一團トシテ契約シタルモノアルトキハ之ヲ區別シテ掲記スルコト
二 新契約及其ノ他ノ増加ニハ新契約、繼續又ハ復活シタル契約、保險金額ノ累加變更、其ノ他ノ事由ニ因リ増加ヲ算入スルコトヲ要ス
三 消滅契約及其ノ他ノ減少ニハ保險金支拂ノ事由發生ニ因リ消滅シタル契約、保險契約ノ解除、失効、保險期間ノ満了、保險金額ノ減額、變更其ノ他ノ事由ニ因リ消滅及減少ヲ算入スルコトヲ要ス
四 保險金額ニ増減アルモノ件數ニ異動及ホササアルモノニ付テハ其ノ件數ハ相當欄ニ括弧ヲ附シ之ヲ示スコトヲ要ス
五 事項ノ性質ニ因リ正確ナル數ヲ知り得サルモノアルトキハ其ノ概數ヲ記載スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ備考トシテ説明スルコトヲ要ス
六 生命保險ノ目的トスル會社ニ在リテハ當該月末ニ於ケル保險證券擔保貸付金ノ現在數ヲ附記スルコトヲ要ス

●關東州ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ム者ニ關スル件
明治四十二年六月二十七日
關東州ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ム者ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(臣等)
第一條 内地ニ於テ主務官廳ノ免許ヲ受ケタル保險會社力關東州ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ其ノ免許ヲ受ケタル保險事業ヲ營ム場合ニ於テハ保險業法ニ依リ免許及認可ノ規定ハ之ヲ適用セズ
前項ノ保險會社ハ關東州ニ於ケル代表者ヲ定メ支店又ハ代理店ノ設置ニ關スル事項ヲ具シ届出ツヘシ
商法第六十二條ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス
第二條 前條ノ保險會社力内地ニ於テ事業停止ノ處分ヲ受ケタルトキハ關東州ニ於テモ亦其ノ事業ヲ停止セラレタルモノトス
第三條 第一條第二項ノ届出ヲ爲サスシテ保險事業ヲ營ム保險會社ニ付テハ保險業法第九十七條ノ規定ヲ準用ス
第四條 前條ノ規定ハ保險業法施行前設立シタル保險會社及内地ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ム外國人又ハ外國會社ニ之ヲ準用ス
第五條 保險業法ニ依リ取締役、監査役、清算人又ハ業務執行スル社員ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ關東州ニ於ケル代表者ニ適用ス
第六條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ「關東都督」之ヲ定ム
附則
本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
●關東州ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ム者ニ關スル件
明治四十三年六月三十日
改正 大正十四年關東都督令第四號
關東州ニ支店又ハ代理店ヲ設ケテ保險事業ヲ營ム者ニ關スル件左ノ通定ム
本令ハ明治四十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

一 由シテ之ヲ商工大臣ニ差出スヘシ
 二 一定款及業務規程
 三 各會員ノ姓名又ハ名稱、營業項目及營業所ヲ記載シタル書面
 四 各會員ノ職金額及其ノ拂込額ヲ記載シタル書面
 五 取引所ノ設立セムトスル地ニ於テ一年以上引續キ買賣取引スヘキ物件ノ商業ヲ營ム商人各物件毎ニ三十人以上發起人ト爲リタル場合ニ非サレハ取引所發起ノ認可ヲ申請スルコトヲ得ス
 六 會員組織ノ取引所ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 一 目的
 二 名稱及所在地
 三 會員ノ職金ニ關スル事項
 四 會員ノ入退ニ關スル事項
 五 會計ニ關スル事項
 六 會議ニ關スル事項
 七 役員ノ職務權限、任期及任免ニ關スル事項
 八 解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ノ處分ニ關スル事項
 九 設立免許ノ申請ハ發起ノ認可ヲ受ケタル後六月内ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
 十 設立ノ免許ヲ受ケタル後一年ニ業務ヲ開始セザルトキハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ
 十一 取引所繼續ヲ出願セムトスルトキハ其ノ免許年限滿了前三月以上六月内ニ地方長官ヲ經由シテ其ノ願書ヲ商工大臣ニ差出スヘシ
 十二 商工大臣取引所ノ地區ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス
 十三 商工大臣ハ會員組織ノ取引所ニ付左ノ事項ヲ告示ス
 一 設立ノ免許シタルトキハ目的、名稱、所在地及免許ノ年月日
 二 役員ノ選任ヲ認可シタルトキハ氏名及認可ノ年月日

三 繼續ヲ免許シタルトキハ免許ノ年月日及解散シタルトキハ其ノ年月日及清算人ノ姓名
 四 清算方針ヲシタルトキハ其ノ年月日
 五 清算人ノ選任ヲ受ケタルトキハ其ノ職名、姓名、住所、職權、資格、及債務對照表、財產目錄、株主名簿及役員ノ履歷書ヲ其ノ願書ニ添付シタルトキハ定款、貸借對照表、附シ取引所ノ經由シテ之ヲ商工大臣ニ差出スヘシ
 六 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 七 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 八 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 九 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十一 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十二 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十三 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十四 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十五 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十六 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十七 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十八 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 十九 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 二十 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ

在リテハ時價ノ九割以下ニ之ヲ定ムヘシ
 其ノ有價証券ノ時價代用價格ヲ下リタルトキハ遲滞ナク之ヲ變更スヘシ
 第十二條 役員選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添付スヘシ但シ再選ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
 第十三條 取引所清算市場ニ於ケル買賣取引ノ標準物ヲ定メタルトキハ遲滞ナク其ノ一部ヲ商工大臣ニ差出シ其ノ一部ヲ會員又ハ取引員ニ交付シ之ヲ其ノ營業所ニ保管セシムヘシ
 第十四條 標準物ハ之ニ依リテ爲シタル買賣取引ノ受渡期日後六個月ヲ經過スル迄取引所ノ之ヲ保管スヘシ
 第十五條 取引所ハ其ノ取引銀行、所有有價証券ノ種類其ノ他財産保管ノ方法ヲ定メ商工大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
 第十六條 商工大臣必要ト認ムルトキハ前項保管方法ノ變更ヲ命スルコトヲ得ヘシ
 第十七條 會員又ハ取引員ハ委託手数料率及受託契約準則ヲ定メ取引所ノ經由シテ商工大臣ニ其ノ認可ヲ申請スヘシ之ヲ變更セムトスルトキハ亦同シ
 第十八條 取引所ノ前項ノ認可申請書ニ其ノ意見書ヲ添付スヘシ
 第十九條 商工大臣必要ト認ムルトキハ委託手数料率又ハ受託契約準則ノ變更ヲ命スルコトヲ得ヘシ
 第二十條 取引所法第二十五條第二項ニ依ル處分ハ商工大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
 第二十一條 取引所法第八條及第二十二條ノ規定ニ依ル業務ニ關スル規則ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
 第二十二條 買賣成立ノ値段ヲ以テ公定相場トシ
 第二十三條 取引所ノ公定相場及其ノ平均値段ヲ毎日市場ニ公示スヘシ
 第二十四條 取引所ハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ公定相場ノ一部ヲ公示セザルコトヲ得
 第二十五條 取引所ハ毎日相場表ヲ發行スヘシ

第二十條 各會員又ハ各取引員ノ買賣高ハ買賣取引ノ種類、物件若ハ銘柄及受渡期日ノ區別ニ從ヒ賣付及買付ニ別チ毎日取引所ノ揭示スヘシ
 第二十一條 商工大臣ハ買賣高ノ公示方法ノ變更ヲ命シ又ハ其ノ公示ヲ要セザル銘柄若ハ買賣取引ノ種類ヲ指定スルコトヲ得ヘシ
 第二十二條 取引所ノ受渡物件ノ格付ヲ爲ス者ヲ選任シタルトキハ遲滞ナク其ノ履歷書ヲ添付シ左ノ事項ヲ申告スヘシ
 一 氏名、住所、職業
 二 報酬
 三 在職期間ヲ定メタルトキハ其ノ期間受渡物件ノ格付ヲ爲ス者選任シタルトキハ取引所ノ選任ナク其ノ旨ヲ申告スヘシ
 四 取引所ノ物件ヲ取引スル取引所ノ會員又ハ取引員ヲシテ受渡物件ノ格付ヲ爲シタルコトヲ得ス
 五 取引所ノ前項ノ左ノ書類ヲ作成シ遲滞ナク之ヲ商工大臣ニ差出スヘシ
 一 相場表
 二 買賣高表
 三 毎期ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書及事業報告書
 四 毎期末日現在取引員又ハ會員表
 五 前項第一號及第二號ノ書類ハ實物市場ニ於ケル買賣取引及七日以内ノ期限ヲ以テ履行期ト爲シ清算市場ニ於ケル買賣取引ニ付テハ毎月末日其ノ他ノ買賣取引ニ付テハ毎受渡期日ニ之ヲ作成スヘシ
 第二十三條 左ノ場合ニ於テハ取引所ハ遲滞ナク其ノ事項ヲ商工大臣ニ報告スヘシ
 一 取引所ノ前項ノ會員又ハ取引員ニ付取引所法第十五條ノ第二項若ハ第四項又ハ第十五條ノ第二項ニ掲ケタル事由アリト認ムルトキ
 二 取引所法第十五條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ
 三 買賣取引ノ違約ヲ生シタルトキ及其ノ賠償額ヲ爲シタルトキ
 四 臨時ニ市場ヲ開始シ又ハ休止シタルト

五 有價証券ノ買賣取引ヲ開始、中止又ハ廢止シタルトキ
 六 市場ノ立會ヲ停止シ又ハ會員若ハ取引員ノ買賣取引ヲ禁止シタルトキ
 七 仲買判斷ヲ爲シタルトキ
 八 役員ノ任期中ニ於テ死亡其ノ他ノ事由ニ因リ退任シタルトキ但シ解職ノ場合ヲ除ク
 九 取引所ノ役員又ハ會員若ハ取引員其ノ職務又ハ業務ニ關シ訴訟ノ當事者ト爲リタルトキ及其ノ判決アリタルトキ
 十 會員又ハ取引員方國稅徵收法ニ依リ滯納處分ヲ受ケタルトキ若ハ國稅徵收則者處分法ニ依リ處分ヲ受ケタルトキ
 十一 取引所ノ役員、受渡物件ノ格付ヲ爲ス者又ハ會員若ハ取引員方犯罪ノ嫌疑ノ爲メ起訴セラレタルトキ
 十二 株式會社組織ノ取引所ノ商法ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキ
 十三 會員力入退シタルトキ
 十四 會員又ハ取引員其ノ會社ノ目的、資本額若ハ無限責任社員、取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員ニ變更アリタルトキ
 十五 商議員就任又ハ退任シタルトキ
 十六 商議員會ニ於テ決議ヲ爲シタルトキ
 十七 商工大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ外報告スヘキ事項ヲ指定スルコトヲ得ヘシ
 第十八條 本則ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
 第十九條 明治三十二年農商務省令第十八號、明治三十五年農商務省令第十一號及明治三十九年農商務省令第三十三號ハ之ヲ廢止ス

中央卸賣市場法
 第一章 總則
 第一條 本法ニ於テ中央卸賣市場トハ地方公共團體又ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ民法第三十四條ノ規定ニ依リ法人力魚類、肉類、鳥類、蔬菜及果實、卸賣ヲ爲ス爲主務大臣ノ指定スル都市及其ノ隣接地ニ於テ本法ニ依リ開設スル市場ヲ謂フ
 第二條 中央卸賣市場ニ於テハ特別ノ事情アル場合ニ於テ前項ニ於ケル物品ノ一部ノ卸賣ヲ爲ス者又ハ其ノ日用品ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得
 第三條 中央卸賣市場ノ開設セムトスルトキハ業務規程及事業計畫ニ關スル書類ヲ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ中央卸賣市場ノ分場ヲ設置セムトスルトキ亦同シ
 第四條 左ニ掲ケル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
 一 中央卸賣市場ノ取扱物品
 二 中央卸賣市場ノ收受スル使用料、保管料及手数料
 三 卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ收受スル手数料
 第四條 業務規程又ハ事業計畫ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
 第五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ本法ニ依リ條件ヲ附スルコトヲ得
 第六條 主務大臣ハ其ノ中央卸賣市場ノ業務ノ開始ニ至ル迄ノ間ニ於テ開設者ノ意見ヲ聞キ其ノ中央卸賣市場ノ取扱物品ニ付當該指定區域内ニ於テ中央卸賣市場類似ノ業務ヲ爲ス市場ノ閉鎖ヲ命スルコトヲ得中央卸賣市場ノ取扱物品ヲ追加スルコトヲ得同項ノ命ヲラセタル市場ノ開設者及卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ勸令ノ定ムル所ニ依リ損失ヲ補償スヘシ
 第七條 前項ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ當事者ノ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ

地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ地方長官ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 第八條 主務大臣ハ開設者ニ對シ命令ノ定ム設備ニ要スル費用ノ三分ノ一以内ノ補助金ヲ交付スルコトヲ得
 第九條 主務大臣ハ開設者ヲ法令若ハ補助ニ付シタル條件ニ違反シ又ハ之ニ基キテ爲シタル處分ニ從ハサルトキハ之ニ對シ補助金ノ全部又ハ一部ヲ交付セザルコトヲ得
 第十條 地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ハ中央卸賣市場ニ於テ卸賣ノ業務ヲ爲スコトヲ得
 第十一條 前條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ開設者ニ保證金ヲ納付スヘシ
 第十二條 開設者ハ中央卸賣市場ノ收受スル他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス
 第十三條 前項ノ優先權ハ第十三條ノ規定ニ依リ優先權ニ優先ス
 第十四條 第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ販賣又ハ販賣ノ委託ヲ爲シタル者ハ債權ニ關シ其ノ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ保證金ニ付テハ優先權者ニ對シ優先權ヲ有ス
 第十五條 中央卸賣市場ニ於テ爲ス賣買ニ付テハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
 第十六條 第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ開設者ニ對シ賣買値段及取引高ヲ報告スヘシ
 第十七條 開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ其ノ業務ヲ停止シ若ハ千圓以下ノ過怠金ヲ課シ又ハ賣買ニ參加スル者ノ入場ヲ停止スルコトヲ得
 第十八條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ中央卸賣市場ノ構造、設備、業務規程ノ變

更、業務又ハ財産狀況ノ報告其ノ他ニ關シ事業ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
 第十九條 主務大臣ハ開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ本法ニ基キテ發シタル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得
 一 第二條ノ規定ニ依リ認可ヲ取消
 二 中央卸賣市場ノ業務ヲ停止
 三 卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ業務許可ヲ取消又ハ業務ヲ停止
 四 第一條ノ法人ノ役員ノ解任
 第十九條 主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ官署ヲシテ開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ業務及之ニ關スル帳簿、財產其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得
 第二十條 中央卸賣市場ノ廢止ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
 第二十一條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依リ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得
 第二十二條 第六條ノ規定ニ依リ命令ニ違反シ又ハ第十五條ノ規定ニ基キ報告ヲ爲ス者若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二十三條 第六條ノ規定ニ依リ命令ヲ受ケタル者又ハ第十五條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲ス者又ハ第十五條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者若ハ命令又ハ業務ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テ之ヲ故チ以テ處罰スルコトヲ得
 第二十四條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者第六條ノ規定ニ依リ命令又ハ第

第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲スヘキ義務ニ違反シタルトキハ第二十二條ノ罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

第二十六條 第一條ノ法人又ハ第十條ノ規定ニ依リ設置スル市場ノ業務ヲ爲ス者第十九條ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケル場合ニ於テ職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者又ハ検査ノ際當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條 第一條ノ法人ノ役員其ノ職務ニ付賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求シ若ハ約東シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ不正ノ行為ヲ爲シ又ハ相需ノ行為ヲ爲ササルトキハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ没收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコトハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第二十八條 前條第一項ノ者ニ賄賂ヲ交付シ、提供シ又ハ約東シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪輕シ又ハ免除スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正十二年勅令第四百六十八號)
(ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行)

大正十二年十二月十七日
農商務省告示第百八十四號
農商務省令第十號

中央卸賣市場法第一條ノ規定ニ依リ大正十二年十二月十三日中央卸賣市場ノ區域ヲ左ノ通指定セリ

一 東京市中央卸賣市場區域
東京市 品川町、大崎町、目黒町、板橋町、南千住町、巢鴨町、高田町、日暮里町、三河島町、尾久町、瀧野川町、西馬込町、王子町、荒川町、中野町、大久保町、戸塚町、落合町、代々木町、千駄ヶ谷町、渋谷町

南葛飾郡 小松川町、寺島町、吾嬬町、龜戸町、大島町、砂町、隅田町
南足立郡 千住町
京都市 中央卸賣市場區域
京都府 紀伊郡 吉祥院村、上島羽村、下島羽村、深草村、竹田村、伏見町、堀内村、修學院村、松ヶ崎村、上賀茂村、大宮村、鷹ヶ崎村
葛野郡 花園村、太秦村、海津村、京極村、宇治郡 山科村
一 大阪市中央卸賣市場區域
大阪市 東成郡 一團
西成郡 一團
一 横濱市中央卸賣市場區域
横濱市 戸塚區 戸塚町、日下村、橋本町、保土ヶ谷町、城郷村、大綱村、旭村、鶴見町
一 神戸市中央卸賣市場區域
神戸市 西灘村、西郷町、御影町、住吉村、六甲村、魚崎町、内住吉川以西
一 名古屋市中中央卸賣市場區域
名古屋市中 下之一色町
愛知郡 萩野村、庄内村、西枇杷島町
西春日井郡 萩野村、庄内村、西枇杷島町

中央卸賣市場法施行規則

大正十二年十二月二十九日
農商務省令第十號

中央卸賣市場法施行規則左ノ通定ム

第一條 中央卸賣市場ハ指定區域内ニ於テ開設スルコトヲ得

第二條 中央卸賣市場ヲ開設セムトスル者ハ認可申請書ニ中央卸賣市場法第二條ニ定ムル書類ノ外左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シテ農商務大臣ニ提出スヘシ

一 中央卸賣市場取扱品目ニ付當該指定區域内ニ於ケル集積及消費ノ状況

二 前條ニ該當スル者ヲ以テ主ナル組織者トナス法人

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ相續、合併、讓渡其ノ事由ニ因リ業務ヲ承繼シタル者ノ業務ヲ爲シタル期間ハ其ノ前者ノ業務ヲ爲シタル期間ト通算シタルモノトス

第十四條 卸賣ノ業務ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ申請書ニ法人ニ在リテ定款又ハ之ニ準スヘキモノ、貸借對照表、財産目録、社員、株主又ハ組合員ノ名簿及無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員ノ履歷書ヲ、其ノ他ノモノニ在リテハ履歷書及資産調査添附シ開設者ヲ經由シテ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

開設者ハ前項ノ申請書ニ意見書ヲ添付スヘシ

第十五條 地方長官卸賣ノ業務ノ許可ヲ爲シタルトキハ開設者ヲ經由シテ其ノ旨ヲ本人ニ通知スヘシ

第十六條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者第十條第一號若ハ第三號ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ前條ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十五日内ニ保證金ヲ納付セシ若ハ一月内ニ其ノ業務ヲ開始セサルトキハ業務許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第十七條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者第十條第四號乃至第七號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上其ノ業務ヲ休止シタルトキハ地方長官ハ其ノ業務許可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 地方長官卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ付左ニ掲ケル事項ヲ告示スヘシ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一 業務許可ヲ爲シタルトキハ其ノ氏名又

二 中央卸賣市場取扱品目ニ付當該指定區域内ニ於テ現ニ卸賣ヲ爲ス市場ノ状況

三 開設者カ民法第三十四條ノ規定ニ依リ法人ナルトキハ其ノ定款又ハ寄附行為並役員ノ氏名及其ノ履歷

四 中央卸賣市場法第一條第一項ニ掲ケル物品ノ一部ノ卸賣ヲ爲サズ又ハ其ノ他ノ日用品ノ卸賣ヲ爲サズトスルトキハ之ヲ必要トスル特別ノ事情

第三條 事業計畫ニハ左ニ掲ケル事項ヲ定ムヘシ

一 自ラ卸賣ノ業務ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨

二 市場ノ位置及用地ノ面積

三 建物及設備ノ種類及構造

四 市場ノ開設ニ要スル費用並其ノ財源及償却ニ關スル計畫

事業計畫ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル書類、建物及設備ノ配置及坪數ヲ記入シタル圖面並市場附近ノ見取圖ヲ添付スヘシ

一 市場取扱品目ニ付取扱見込數量

二 市場ノ收支ノ概算

三 工事ノ著手及竣工ノ見込期日

第四條 開設者自ラ卸賣ノ業務ヲ爲ストキハ業務規程ヲ以テ其ノ取扱品目ヲ定ムヘシ

第五條 開設者分場設置ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ其ノ申請書ニ中央卸賣市場法第二條ニ定ムル書類ノ外分場設置ニ必要トスル事情及第二條第四號ニ掲ケル事情ヲ記載シタル書類ヲ添附シテ農商務大臣ニ提出スヘシ

第六條 中央卸賣市場ノ業務ヲ開始セムトスルトキハ開設者ハ業務開始ノ一月前迄ニ其ノ期日ヲ農商務大臣ニ届出スヘシ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ期日ヲ變更シ命スルコトアルヘシ

第七條 中央卸賣市場ノ名稱中ニハ中央卸賣

賣市場法第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者トナルコトヲ得ス

一 一年以上ノ禁錮又ハ懲役ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ刑ノ執行ノ免除ヲ得タル日ヨリ三年ヲ経過セザル者

二 中央卸賣市場法第十八條ノ規定ニ依リ業務許可ヲ取消シ受ケ取消ノ日ヨリ三年ヲ経過セザル者

三 破産ノ宣告ヲ受ケ復讐セザル者

四 前條ノ一ニ該當スル者ヲ無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員トスル法人

五 信用薄弱ナル者

六 中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタル者但シ特別ノ事情アリト認ムル者ハ之ヲ除ク

七 社員、株主又ハ組合員中中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタル者アル法人但シ特別ノ事情アリト認ムル者ハ之ヲ除ク

前項第六號但書又ハ第七號但書ニ該當スル者ニ對シ地方長官卸賣ノ業務ノ許可ヲ爲サズトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第十一條 卸賣ノ業務ノ許可ハ本分場及業務規程ヲ以テ定ムル取扱品目ノ部類毎ニ之ヲ爲スモノトス

第十二條 開設者ハ業務規程ヲ以テ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ員數ヲ制限スルコトヲ得

第十三條 卸賣ノ業務ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ第六條ノ規定ニ依リ業務開始ノ期日前ニ其ノ申請書ヲ爲シタルモノニ對シシテハ他ノ申請者ニ優先シテ之ヲ爲スモノトス

一 中央卸賣市場ノ開設認可、分場ノ設置認可又ハ取扱品目追加ノ認可アリタル際當該指定區域内ニ於ケル中央卸賣市場ノ類似ノ業務ヲ爲ス市場ニ於テ業務許可ヲ申請シタル部類ノ取扱品目ニ付引續キ二年以上卸賣ノ業務ヲ爲シタル

ハ名稱、營業所、取扱品目ノ部類及許可ノ年月日

二 資格ヲ失ヒタルトキハ其ノ事由、氏名又ハ名稱、營業所、取扱品目ノ部類及資格ヲ失ヒタル年月日

三 業務ノ停止アリタルトキハ其ノ事由、停止ノ期間、氏名又ハ名稱、營業所、取扱品目ノ部類及停止ノ年月日

第十八條 中央卸賣市場法第十一條ノ規定ニ依リ保證金ノ額ヲ取扱品目ノ部類毎ニ千圓以上二萬圓以下ノ範圍ニ於テ業務規定ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事由アル者ニ付ハ農商務大臣ハ別段ノ額ヲ指定スルコトアルヘシ

開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人保證金ヲ受取りタルトキハ遲滞ナク之ヲ供託スヘシ

第十九條 保證金ハ開設者ノ定ムル所ニ依リ有價證券ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ有價證券ノ種類又ハ其ノ代用價格ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第二十條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ當該指定區域内ニ於テ其ノ業務ヲ行フ市場外ニ於テ自己ノ取扱品目ノ部類ニ屬スル物品ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外自己ノ計算ヲ以テ取扱物品ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ市場内ニ在ル物品ニ非サレハ其ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ズ但シ當該指定區域内ニ於テ開設者ノ指定スル場所ニ在ル物品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル手數料ヲ除クノ外如何ナル名稱ヲ以テ定ムルコトヲ得ス

第二十四條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ業務ヲ行フ市場ニ於テ自己ノ取扱品目ノ部類ニ屬ス

市場ナル文字ヲ用ケルヘシ

中央卸賣市場ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ中央卸賣市場ナル文字又ハ之ニ類似スル文字ヲ用ケルコトヲ得ス

第八條 農商務大臣ハ左ニ掲ケル事項ヲ告示スヘシ

一 中央卸賣市場ノ區域ヲ指定シタルトキハ其ノ區域及指定ノ年月日

二 中央卸賣市場ノ開設又ハ分場ノ設置認可シタルトキハ開設者、市場ノ名稱、位置、取扱品目及認可ノ年月日

三 中央卸賣市場ノ業務ノ開始ノ届出アリタルトキハ其ノ旨及開始ノ期日

四 中央卸賣市場ノ廢止ヲ認可シタルトキハ其ノ旨及認可ノ年月日

五 中央卸賣市場ノ開設又ハ分場ノ設置ノ認可ヲ取消シタルトキハ其ノ旨及取消ノ年月日

六 中央卸賣市場ノ業務ノ停止ヲ命シタルトキハ停止シタル業務ノ停止ノ期間及停止ヲ命シタル年月日

七 中央卸賣市場法第六條ノ規定ニ依リ市場ノ開設ヲ命シタルトキハ市場ノ名稱、位置、區域、取扱品目、閉鎖ノ期日及閉鎖ヲ命シタル年月日

第九條 開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ハ左ニ掲ケル事項ニ付農商務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

一 役員ノ選任及解任

二 收支ノ豫算

三 豫算ニ定ムルモノノ外新ニ義務ヲ負ヒ又ハ權利ヲ失フヘキ行為

四 財産ノ保管方法

前項ノ役員選任認可申請書ニハ履歷書ヲ添附シ收支豫算認可申請書ハ事業年度開始ノ一月前迄ニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

中央卸賣市場法第二條ノ規定ニ依リ認可アリタルトキハ役員選任ニ付第一項ノ認可アリタルモノト看做ス

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ中央卸

物品ノ買買ニ參加スルコトヲ得ス

第二十五條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ委託契約ニ關スル準則ヲ定ム開設者ノ承認ヲ受ケヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

開設者前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ準則ヲ農商務大臣ニ届出スヘシ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ準則ニ變更シ命スルコトアルヘシ

第二十六條 中央卸賣市場法第十五條ノ規定ニ依リ報告ハ開設者ノ定ムル所ニ依リ卸賣ヲ爲シタル物品ニ付品目、種類及産地ヲ區別シテ選擇ナク之ヲ爲スヘシ

第二十七條 開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ買買ニ參加スル者ヲ保證金ヲ納付セシムルコトヲ得

第十八條第二項及第十九條ノ規定ハ前項ノ保證金ニ付テ之ヲ準用ス

第二十八條 開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ買買人ヲ以テ買買ニ參加セシムルコトヲ得

買買人ノ資格、員數、處分其ノ他買買人ニ關スル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條 中央卸賣市場ハ毎日一定ノ時ニ開市及休業ニ關スル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十條 買買成立ノ値段ハ金額ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

第三十一條 開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ正當ノ事由ナクシテ販賣ノ委託ノ引受又ハ買買ノ參加ヲ拒ムルコトヲ得ス

第三十二條 開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ買買ニ參加スル者ノ市場ニ於ケル買買ヲ禁止スルコトヲ得

第三十三條 卸賣ノ業務ヲ爲ス者其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ業務停止セラレタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ買買ヲ差止めラレタルトキハ開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ其ノ對シ販賣ノ委託アリタル物品ニ付自ラ卸賣ヲ爲シ又ハ他ノ卸賣ノ業務ヲ爲

ス者ヲシテ卸賣ヲ爲シムヘシ
 第三十四條 本則ニ定ムルモノノ外販賣ノ委託ヲ爲シタル者ニ對シテ通知ノ實價ノ仕切務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
 第三十五條 開設者業務規程ノ施行ニ關スル細則ヲ定ムルモノハ之ヲ農商務大臣ニ届出シテ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
 第三十六條 開設者ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ用キルヘキ業務ニ關スル帳簿及實價仕切書ノ格式ヲ定ムヘシ
 第三十七條 開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ實價仕切及取引高ヲ毎日市場ニ公示スヘシ
 第三十八條 開設者ハ左ノ書類ヲ作成シ遲滞ナク之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ
 一 毎月取引高表
 二 毎月取引高表
 三 毎期收支計算書及事業報告書
 開設者ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス法人ノ社員、株主又ハ組合員ノ無期末日現在名簿ヲ作成シ遲滞ナク之ヲ地方官ニ提出スヘシ
 第三十九條 左ノ場合ニ於テハ開設者ハ遲滞ナク其ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ
 一 中央卸賣市場法第七條第二項ノ規定ニ依リ補償額ヲ定ムルトキ
 二 中央卸賣市場法第十六條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ
 三 中央卸賣市場法第十八條第三項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ
 四 臨時ニ閉市シ又ハ休業シタルトキ
 五 第三十二條ノ規定ニ依リ實價ノ差止ヲ爲シタルトキ
 六 開設者ハ開設者ハ中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員、卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ其ノ無限責任社員若ハ取締役其

ノ他業務ヲ執行スル役員其ノ職務又ハ業務ノ別シテ執行スル者トナリタルトキ及シテ其ノ職務ヲ執行スル者トナリタルトキ開設者ハ中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員ニ退任アリタルトキ
 八 開設者ハ中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員、卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ其ノ無限責任社員若ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員犯罪ノ嫌疑ノ爲起訴セラレタルトキ
 農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ外届出シタル事項ヲ指定スルコトアルヘシ
 第四十條 左ノ場合ニ於テハ開設者ハ遲滞ナク其ノ事項ヲ地方官ニ届出ツヘシ第二號ノ場合ニ於テハ其ノ届書ニ履歷書ヲ添付スヘシ
 一 卸賣ノ業務ヲ爲ス者其ノ氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキ
 二 卸賣ノ業務ヲ爲ス法人ノ無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員ニ變更アリタルトキ
 卸賣ノ業務ヲ爲ス者死亡若ハ解散、廢業又ハ第十六條第一項ノ規定ニ依リ業務許可ノ失効ニ因リ其ノ資格ヲ失ヒタルトキ
 四 第十六條第二項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ
 地方官ハ必要ト認ムルコトアルヘシ
 出ツヘキ事項ヲ指定スルコトアルヘシ
 第四十一條 左ノ場合ニ於テハ地方官ハ其ノ事項ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ
 一 中央卸賣市場法第七條第二項ノ規定ニ依リ決定ノ求アリタルトキ及シテ其ノ決定ヲ爲シタルトキ
 二 卸賣ノ業務ヲ許可シタルトキ
 中央卸賣市場法第十八條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲スヘキ事由アリト認ムルトキ
 四 第十六條第二項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ
 第四十條第一項第一號乃至第三號ノ届

出アリタルトキ
 第四十二條 開設者ヨリ農商務大臣ニ提出スル書類ハ地方官ヲ經由スヘシ
 地方官ハ第二號及第五條ノ認可申請書並第三十九條第一項第三號ノ場合ニ於ケル届書ニ意見書ヲ添付スヘシ
 第四十三條 中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失補償ノ請求ハ市場ノ閉鎖命令アリタル日ヨリ起算シ九十日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ期間經過前第十四條ノ規定ニ依リ申請書ヲ爲シタル者ニ付テハ其ノ期間經過後ト雖卸賣ノ業務ヲ許可又ハ不許可ノ處分アリタル日ヨリ起算シ三十日以内ニ之ヲ爲スコトナリ得
 附則
 本則ハ大正十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
 ●中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ニ關スル件
 大正十二年十月二十九日
 勅令第四百六十九號
 中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 (大臣官房)

前二項ノ規定ノ適用ニ付テハ相續、合併、廢業其ノ事由ニ因リ業務ヲ承繼シタル者ノ業務ヲ爲シタル期間ハ其ノ前者ノ業務ヲ爲シタル期間ト通算シタルモノトス
 第二條 前條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受テヘキ者ハ中央卸賣市場法第十條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ又ハ其ノ許可ヲ受ケタル法人ノ社員、株主若ハ組合員ト爲リタルトキハ農商務大臣特別ノ事情アリト認ムル場合ニ非サレハ損失ノ補償ヲ爲ス
 第三條 前二條ノ規定ニ依リ損失補償ノ請求ハ農商務大臣ノ定ムル期間内ニ之ヲ爲スヘシ
 附則
 本令ハ大正十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十二年十月二十九日
 勅令第四百七十一號
 中央卸賣市場補助金交付規則
 中央卸賣市場補助金交付規則
 第一條 中央卸賣市場法第八條ノ規定ニ依リ補助金ハ左ニ掲グル設備ニ要スル費用ニ對シ之ヲ交付ス
 一 冷蔵、製氷及貯水ノ設備
 二 生洲ノ設備
 三 築船岸壁、棧橋及附屬上屋
 四 鐵道及軌道引込ノ設備
 五 起重機、昇降機、コングエーヤ、構内軌道及運搬車、貨物自動車並運搬船
 六 前各號ニ掲グルモノノ外之ニ準スヘキ貯藏及運搬ニ關スル特別ノ設備
 七 洗滌、排臭其ノ他衛生ニ關スル特別ノ設備
 第二條 開設者補助金ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ヲ添付シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ
 一 設備ノ要領
 二 圖面及仕様
 三 費用ノ豫算

四 工事着手及設備完成ノ見込期日
 第三條 開設者補助金交付ノ許可ヲ受ケタルトキハ設備ノ工事ニ付農商務大臣ノ指定シタル時期ニ於テ其ノ指定シタル検査員ノ検査ヲ受ケヘシ
 第四條 開設者設備ノ仕様變更セムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
 農商務大臣ハ前項ノ認可ヲ爲スニ際シ補助金ノ額ヲ變更スルコトアルヘシ
 第五條 設備完成シタルトキハ開設者ハ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出テ費用精算書ヲ具シ補助金ノ交付ヲ請求スヘシ
 附則
 本則ハ大正十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條 第一條第一號乃至第三號ノ市場ヲ設置セムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ通知事ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ
 一 名稱
 二 位置
 三 面積
 四 設備
 五 開市日又ハ休業日及市場ノ閉鎖時期
 六 取引スヘキ主ナル貨物ノ種類
 七 府面ニ於テ經營スル場合ヲ除ク外使用料ヲ徵收セムトスルトキハ其ノ率及徵收方法
 八 管理方法
 九 設置ノ理由
 前項ノ願書ニハ市場ノ設備位置及其ノ附近ノ狀況ヲ記載シタル圖面ヲ添付スヘシ
 第三條ノ二 第一條第四號ノ市場ヲ設置セムトスルトキハ會社ニ在リテハ發起人、組合ニ在リテハ組合員前條各號ノ事項ヲ記載シタル願書ニ左ノ書類ヲ添付シ朝鮮總督ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ
 一 定款又ハ組合契約
 二 市場ニ於ケル實價取引ニ關スル規程
 三 發起人又ハ組合員ノ氏名、商號、年齢、住所、營業所、職業
 第四條 市場ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク之ヲ第一條第一號乃至第三號ノ市場ニ在リテハ通知事、第一條第四號ノ市場ニ在リテハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ
 第一條第三號又ハ第四號ノ市場ニシテ休業日以外ノ休業ヲ爲シタルトキ、其ノ他ノ市場ニシテ一月以上ニ互ニ休業ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ
 第五條 第三條第一項第一號乃至第八號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ第一條第一號乃至第三號ノ市場ニ在リテハ通知事、第一條第四號ノ市場ニ在リテハ朝鮮總

督ノ許可ヲ受ケヘシ
 第五條ノ二 第三條ノ二 第一號及第二號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケヘシ
 第六條 市場ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ第一條第一號乃至第三號ノ市場ニ在リテハ通知事、第一條第四號ノ市場ニ在リテハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケヘシ
 第七條 通知事ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第一條第一號乃至第三號ノ市場ニ對シ許可ヲ取消シ又ハ市場ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命スルコトナリ得
 第七條ノ二 第一條第四號ノ市場ニ於テハ其ノ市場ヲ經營スル組合員又ハ仲買人ニ非サレハ實價取引ヲ爲スコトナリ得ス
 仲買人タラントスル者ハ商號、氏名、年齢、住所及營業所ヲ記載シタル書面、履歷書及資産調査書及市場經營者ノ同意書ヲ得タルコトヲ證明スル書面ヲ添付シ朝鮮總督ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ
 第七條ノ三 朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第一條第四號ノ市場ニ對シ許可ヲ取消シ定款、組合契約若ハ實價取引ニ關スル規定ノ變更ヲ命シ又ハ組合員若ハ仲買人ニ對シ營業ヲ禁止若ハ停止其ノ他適當ノ措置ヲ命スルコトナリ得
 第八條 委託ヲ受ケ賣買ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル營業者ヲ爲サスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ市場經營者ノ同意書ヲ得タルコトヲ證明スル書面ヲ添付シ通知事ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ

一 商號、氏名
 二 資本金額
 三 營業期間
 四 營業所ノ位置
 五 營業所ノ種類
 六 貨物ノ種類
 七 一年間ノ販賣見込數量及金額
 八 一年間ノ損益見込計算
 營業者其ノ營業上必要ナル設備ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ設備ヲ記載シタル書面及圖面ヲ前項ノ願書ニ添付スヘシ
 第九條 前條ノ營業規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 一 貨物ノ保管及販賣ノ方法ニ關スル事項
 二 仲買人ヲ置クトキハ其ノ資格及加入脫退ニ關スル事項
 三 販賣手数料ノ率及取立方法、委託者ニ對スル代金支持方法其ノ他委託ニ關スル事項
 四 營業時間及休業日ニ關スル事項
 五 前各號ノ外營業ニ關シ必要ナル事項
 第十條 第八條第一項第三號ノ營業期間ハ十年ヲ超ユルコトナリ得ス但シ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトナリ得
 第十一條 第八條ニ依リ許可ヲ受ケタル營業ハ相續ニ依リ之ヲ繼承スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ遲滞ナク之ヲ通知事ニ届出ツヘシ
 第十二條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者同條第一項第三號第五號第六號ノ事項、同條第二項ノ設備又ハ營業規程ヲ變更セムトスルトキハ通知事ノ許可ヲ受ケヘシ
 第八條第一項第一號ノ事項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク通知事ニ届出ツヘシ
 第十三條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者ハ正當ノ事由アル場合ヲ除ク外休業日以外ニ其ノ營業ヲ休止スルコトナリ得ス

●市場規則
 大正九年九月二十二日
 勅令第四百三十六號
 大正九年八月三十一日
 勅令第四百三十一號
 昭和二年第一六號
 市場規則左ノ通りニ定ム
 第一條 本令ニ於テ市場ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ
 一 場屋ヲ設ケ又ハ場屋ヲ設ケサルモ區別シタル地域ニ於テ毎日又ハ定期ニ多數ノ需要者及供給者來集シ貨物ノ實價交換ヲ行フ場所
 二 二十人以上ノ營業者一場屋ニ於テ主トシテ穀物食料品ノ販賣業ヲ行フ場所
 三 委託ヲ受ケ賣買ノ方法ニ依リ貨物ノ販賣業ヲ行フ場所
 毎日又ハ定期ニ營業者集會シ見本又ハ銘柄ニ依リ物品又ハ有價證券ノ實價取引ヲ行フ場所
 第二條 市場ハ公共團體又ハ之ニ準スヘキモノニ非サレハ之ヲ經營スルコトヲ得ス但シ前條第四號ノ市場ハ會社又ハ當該市場ニ於テ實價取引ヲ行フ營業者ヲ以テ組織スル組合ニ於テ之ヲ經營スルコトナリ得

第三條 第一條第一號乃至第三號ノ市場ヲ設置セムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ通知事ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ
 一 名稱
 二 位置
 三 面積
 四 設備
 五 開市日又ハ休業日及市場ノ閉鎖時期
 六 取引スヘキ主ナル貨物ノ種類
 七 府面ニ於テ經營スル場合ヲ除ク外使用料ヲ徵收セムトスルトキハ其ノ率及徵收方法
 八 管理方法
 九 設置ノ理由
 前項ノ願書ニハ市場ノ設備位置及其ノ附近ノ狀況ヲ記載シタル圖面ヲ添付スヘシ
 第三條ノ二 第一條第四號ノ市場ヲ設置セムトスルトキハ會社ニ在リテハ發起人、組合ニ在リテハ組合員前條各號ノ事項ヲ記載シタル願書ニ左ノ書類ヲ添付シ朝鮮總督ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ
 一 定款又ハ組合契約
 二 市場ニ於ケル實價取引ニ關スル規程
 三 發起人又ハ組合員ノ氏名、商號、年齢、住所、營業所、職業
 第四條 市場ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク之ヲ第一條第一號乃至第三號ノ市場ニ在リテハ通知事、第一條第四號ノ市場ニ在リテハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ
 第一條第三號又ハ第四號ノ市場ニシテ休業日以外ノ休業ヲ爲シタルトキ、其ノ他ノ市場ニシテ一月以上ニ互ニ休業ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ
 第五條 第三條第一項第一號乃至第八號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ第一條第一號乃至第三號ノ市場ニ在リテハ通知事、第一條第四號ノ市場ニ在リテハ朝鮮總

督ノ許可ヲ受ケヘシ
 第五條ノ二 第三條ノ二 第一號及第二號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケヘシ
 第六條 市場ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ第一條第一號乃至第三號ノ市場ニ在リテハ通知事、第一條第四號ノ市場ニ在リテハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケヘシ
 第七條 通知事ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第一條第一號乃至第三號ノ市場ニ對シ許可ヲ取消シ又ハ市場ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命スルコトナリ得
 第七條ノ二 第一條第四號ノ市場ニ於テハ其ノ市場ヲ經營スル組合員又ハ仲買人ニ非サレハ實價取引ヲ爲スコトナリ得ス
 仲買人タラントスル者ハ商號、氏名、年齢、住所及營業所ヲ記載シタル書面、履歷書及資産調査書及市場經營者ノ同意書ヲ得タルコトヲ證明スル書面ヲ添付シ朝鮮總督ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ
 第七條ノ三 朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第一條第四號ノ市場ニ對シ許可ヲ取消シ定款、組合契約若ハ實價取引ニ關スル規定ノ變更ヲ命シ又ハ組合員若ハ仲買人ニ對シ營業ヲ禁止若ハ停止其ノ他適當ノ措置ヲ命スルコトナリ得
 第八條 委託ヲ受ケ賣買ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル營業者ヲ爲サスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ市場經營者ノ同意書ヲ得タルコトヲ證明スル書面ヲ添付シ通知事ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ

一 商號、氏名
 二 資本金額
 三 營業期間
 四 營業所ノ位置
 五 營業所ノ種類
 六 貨物ノ種類
 七 一年間ノ販賣見込數量及金額
 八 一年間ノ損益見込計算
 營業者其ノ營業上必要ナル設備ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ設備ヲ記載シタル書面及圖面ヲ前項ノ願書ニ添付スヘシ
 第九條 前條ノ營業規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 一 貨物ノ保管及販賣ノ方法ニ關スル事項
 二 仲買人ヲ置クトキハ其ノ資格及加入脫退ニ關スル事項
 三 販賣手数料ノ率及取立方法、委託者ニ對スル代金支持方法其ノ他委託ニ關スル事項
 四 營業時間及休業日ニ關スル事項
 五 前各號ノ外營業ニ關シ必要ナル事項
 第十條 第八條第一項第三號ノ營業期間ハ十年ヲ超ユルコトナリ得ス但シ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトナリ得
 第十一條 第八條ニ依リ許可ヲ受ケタル營業ハ相續ニ依リ之ヲ繼承スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ遲滞ナク之ヲ通知事ニ届出ツヘシ
 第十二條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者同條第一項第三號第五號第六號ノ事項、同條第二項ノ設備又ハ營業規程ヲ變更セムトスルトキハ通知事ノ許可ヲ受ケヘシ
 第八條第一項第一號ノ事項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク通知事ニ届出ツヘシ
 第十三條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者ハ正當ノ事由アル場合ヲ除ク外休業日以外ニ其ノ營業ヲ休止スルコトナリ得ス

危害を生ズル虞アリト認めルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 市場開設ノ許可ヲ取消シ又ハ一定ノ期間其ノ閉鎖ヲ命スルコト

二 市場物品取扱者ノ更替ヲ命スルコト

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該当スル者ハ三十日以下ノ罰金ニ處ス

一 許可ヲ受ケスシテ市場ヲ開設シ又ハ第一條第二號乃至第四號ノ事項ヲ變更シ若ハ認可ヲ受ケスシテ市場開設者ヲ變更シタル者

二 第四條第六條第一項及第七條ノ規定ニ違反シタル者

第十五條 市場開設者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 本則ハ明治四十年五月一日ヨリ施行ス

第十七條 本則施行前許可ヲ受ケ開設シタル市場ニシテ尚之ヲ繼續セムトスルモノハ本則施行ノ日ヨリ十五日以内ニ本則ニ依リ願出許可ヲ受ケヘシ

●關東州及南滿洲鐵道附屬地内ニ設立スル重要物產取引市場ニ關スル件

關東州内ニ設立スル重要物產取引市場ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

●關東州取引所令

關東州取引所令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル取引所ノ設立ハ關東長官ノ免許ヲ受ケヘシ

第二條 取引所ニ於テ買賣取引スル物件ノ種類ハ關東長官ノ指定ス

第三條 同種ノ物件ヲ買賣取引スル取引所ハ一地區一箇所ニ限リ設立スルコトヲ得但シ其ノ地區ハ關東長官ノ指定ス

取引所ノ前項ノ供託ヲ爲シタル後ニ非サレハ取引所ノ業務ヲ行フコトヲ得ス營業保證金ニ不足シタル場合ニ於テ關東長官ノ指定シタル期間内ニ其ノ不足額ヲ供託セザルトキ亦同シ

第六條 取引所ハ會員組織又ハ株式會社組織トス

第七條 取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ會員又ハ取引人ニ限リ買賣取引ヲ爲スコトヲ得

第八條 取引所ノ法人トシテ財產ヲ所有シ及之ヲ處分スルコトヲ得

第九條 取引所ハ關東長官ノ認可ヲ受ケ其ノ營業部類ニ關スル商品ノ倉庫ヲ設置シ及預證券ノ買入證券又ハ倉庫證券ヲ發行スルコトヲ得

第十條 取引所ノ定款ハ關東長官ノ認可ヲ受ケヘシ

第十一條 取引人タルラトスル者ハ關東長官ノ免許ヲ受ケヘシ

第十二條 會員ノ資格、除名及罷退並取引人ノ資格、免許及免許取消ニ關シテハ關東長官ノ指定ス

第十三條 取引人ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルトト間ハス取引所ニ對シ其ノ買賣取引上ノ一切ノ責任ヲ負フヘシ

第十四條 取引人ハ關東長官ノ定ムル所ニ依リ免許料ヲ納ムヘシ

第十五條 會員又ハ取引人ハ身元保證金ヲ其ノ取引所ニ納ムヘシ

第十六條 取引所ハ其ノ秩序ヲ保持スル爲メ定款ノ規定ニ依リ會員又ハ取引人ニ對シ其ノ營業ヲ停止シ、干預以内ノ過意金ヲ之ニ課ス

第十七條 取引所ハ其ノ定款ヲ以テ會員若ハ取引人ト爲ルニ必要ナル條件ヲ定メ又ハ取引人ノ員數ヲ制限スルコトヲ得

第十八條 取引人ハ營業後トシテ其ノ取引所ニ於テハ取引了後二週間ヲ經過スル迄仍舊營業セザルモノト爲ス

第十九條 取引所ノ役員ハ定款ノ規定ニ依リ會員又ハ株主中ヨリ二年ノ任期ヲ以テ之ヲ選舉シ關東長官ノ認可ヲ受ケヘシ

第二十條 取引所ノ取引人ト間ニ資金ノ貸與、擔保ノ分配其ノ他取引人ノ營業ニ付特則ノ利害關係ヲ有スル者ハ其ノ取引所又ハ之ト同種ノ物件ヲ取引スル取引所ノ役員ハ其ノコトヲ得

第二十一條 關東長官ハ役員ノ職務ヲ行フ者ナキ場合ニ於テ必要ト認めルトキハ假令二役員ヲ選任スルコトヲ得

第二十二條 取引所ノ買賣取引ハ現物取引、現物及定期取引ノ三種トス

第二十三條 現物取引ハ其ノ契約成立ノ日ヨリ起算シ二日以内ニ於テ、定期取引ハ其ノ契約成立ノ日ヨリ起算シ三日以上百五十日以内ノ日ニ於テ受渡ヲ爲スヘシ

第二十四條 定期取引ハ三月内ニ於テ取引所ノ定メタル限月ニ依リ、但シ、抽付、抽付及庶務ノ定期取引ニ限リ關東長官ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ六月内ノ限月ニ依リコトヲ得

第二十五條 現物取引、定期取引及會員組織ノ取引所ノ定期取引ハ買賣ノ方法ニ依リコトヲ得

第二十六條 取引人ハ其ノ取引所ニ於ケル定期取引ノ買賣ノ方法ニ依リ定期取引ニ

第三十一條 取引所ハ毎日一定ノ時ニ於テ市場開クヘシ

第三十二條 取引所ノ營業規則ノ定ムル所ニ依リ立會ノ停止又ハ會員若ハ取引人ノ市場ニ於ケル買賣取引ノ差止ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 受渡ハ營業規則ノ定ムル所ニ依リ取引所ノ經理ヲ之ヲ爲スヘシ

第三十六條 商業 第二章 商業 第五款 取引所 市場

三五九

前項ノ規定ニ違反シタル取引人ニ對シテハ
取引所ハ之ニ三月以上ノ營業停止ヲ命ジ又
ハ之ヲ除名スヘシ
第四十一條 取引所ノ關東長官ノ定ムル所ニ
依リ公定相場ヲ決定シテ之ヲ公示スヘシ
取引所ノ關東長官ノ定ムル所ニ依リ各取引
人ノ賣買高ヲ公示スヘシ
第四十二條 株式會社組織ノ取引所ニハ賣買
手續料ノ納入金額ニ對シ取引所營業額ヲ限
ス
第四十三條 取引所ニ於ケル定期取引ニハ其
ノ賣買各約定高ニ對シ取引所營業額ニ但シ轉
賣買高ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
賣買高ノ解約スルモ其ノ税金ハ之ヲ免除セス
第四十四條 取引所營業額及取引所ノ營業額
其ノ徵收ニ關シテハ關東長官ノ定ムル所ニ
依リ之ヲ決定ス
第四十五條 取引所ハ其ノ會員又ハ取引人ノ
取引所ノ納付ニ付保證ノ責任ヲ負フ
會員又ハ取引人ノ納期內ニ取引所納付セザ
ルトキハ關東長官ハ取引所ヨリ之ヲ徵收ス
ルコトヲ得
第四十六條 關東長官ハ取引所又ハ其ノ役員
會員若ハ取引人ノ行為方法ニ違反シタル
トキハ公益ヲ害スルコトヲ疑フ又ハ公眾ノ
安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ取引所又ハ
其ノ役員會員若ハ取引人ニ對シ左ノ處分ヲ
爲スコトヲ得
一 取引所ノ解散
二 取引所ノ停止
三 取引所ノ一部ノ停止又ハ禁止
四 役員ノ解職又ハ停職
五 會員又ハ取引人ノ營業停止又ハ除名
第四十七條 關東長官ハ必要ト認ムルトキハ
官定役員ヲ任命シ取引所又ハ其ノ會員若ハ取
引人ノ業務、帳簿、財產其ノ他一切ノ物件ノ
検査ヲ又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲サシム
ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ取引所ノ役員
會員又ハ取引人ノ物件ヲ提供シ責任ヲ
負擔スヘシ
第四十八條 關東長官ハ必要ト認ムルトキハ
取引所ノ定款ヲ改正セシメ又ハ其ノ決議ノ
取消若ハ其ノ處分ノ停止禁止取消ヲ爲スコ
トヲ得

第四十九條 取引所任意ノ解散ハ關東長官ノ
認可ヲ受テハシ
第五十條 關東長官ハ本令ニ定ムル所ノテ
除テ外取引所ニ關シ必要ナル規定ヲ設ケ
ルコトヲ得
附則
本令施行ノ期日ハ關東長官ノ定ムル所ニ依
ル
從前ノ規定ニ依リ設立シタル取引所ニシテ本
令施行ノ際現ニ存スルモノニ付テハ同一地區
ニ於テ同種ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ヲ本
令ニ依リ設立セザレバ其ノ業務ヲ開始スル迄仍
從前ノ規定ニ依ル
本令ニ依リ取引所ヲ其ノ業務ヲ開始シタルト
キハ從前ノ規定ニ依リ前項ノ取引所ニ於テハ
新ニ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ズ但シ其ノ際受
渡額額ノ剩餘セザル定期取引ニ付テハ仍舊賣
買取引ヲ爲スコトヲ得
本令中取引所ニ關シタル規定ハ從前ノ規定ニ依
ル取引所ニ於テ賣買取引ニシテ適用ス
大正八年關東總令第六十六號ヲ以テ同年十
二月二十四日ヨリ施行但シ第四十二條乃至
第四十五條ノ規定ハ關東州及南滿洲鐵道附屬
地ニ在リテハ別ニ其ノ施行期日ヲ定ム
附則(大正十年總令第四百十八號)
本令施行ノ期日ハ關東長官ノ定ムル所ニ依
ル
第二十四條ノ改正規定ハ本令施行前ニ取引所
間ノ開始シタル定期取引ニハ之ヲ適用セス
本令施行前ニ免許ヲ受ケタル取引人ノ納付メ
本令元保證金ノ額ヲ本令ニ依リ納ムルハ其身元
保證金ノ額ニ違フモノニ付テハ取引所ノ
關東長官ノ指定スル期間內ニ取引人ナシテ之
ヲ納メザルコトヲ得
關東州取引所規則ノ制定
關東州取引所規則
關東州取引所設立セムル所トシキハ發給

關東州取引所規則

一 發起人各自ノ引受クヘキ株式ノ數
二 資本使用ノ概算及收支ノ見込
三 賣買取引スヘキ物件ノ其ノ地方ニ於ケ
ル集積ノ狀況及取引所ニ於テ賣買ノ見込
四 取引所ノ地區
五 創設人株式ノ總數ヲ引受ケタルトキ
ハ商法第百二十四條ニ定ムル所ニ關シテハ
創設人株式ノ總數ヲ引受ケザルシテハハ
創立總會終結ノ後總役員ハ設立免許申請書
ニ左ノ書類ヲ添付シ所轄民政署長又ハ警務
署長ヲ經由シテ之ヲ關東長官ニ提出スヘシ
一 定款及營業規則
二 株主名簿
三 検査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルト
キハ其ノ決定ノ寫本
四 創立總會ノ決議錄
五 設立免許ノ申請ハ發起ノ認可ヲ受ケ
タル後六月內ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得
六 設立ノ免許ヲ受ケタル後一年內ニ業務ヲ開
始セザルトキハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ
七 取引所免許年限ノ更新ヲ出願セムル
トキハ其ノ免許年限滿了前三月以上六
月內ニ所轄民政署長又ハ警務署長ヲ經由シ
テ其ノ願書ヲ關東長官ニ提出スヘシ
八 取引所ノ資本金ハ百萬元以上トス
九 關東長官ハ必要ト認ムルトキハ資本金ノ變
更又ハ株金ノ拂込ヲ命スルコトヲ得
十 第六條ノ左ニ掲グル者ハ取引所ノ取引人ト爲
ルコトヲ得ズ
一 婦女又ハ未成年者
二 破産セザル家分數者及破産者
三 本令又ハ關東州取引所令ニ依リ除名セ
ラレ除名ノ日ヨリ三年ヲ經過セザル者
四 本令ニ依リ罰金ニ處スル者ニシテ
刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受ケルコ
トナキニ至リタル日ヨリ三年ヲ經過セザ
ル者

五 短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑
ニ處セラレ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行
ヲ受ケルコトナキニ至リタル日ヨリ三年
ヲ經過セザル者
六 表産信用ノ不確實ナル者
七 取引人ノ免許ヲ受ケタル者ハ其
ノ願書ニ關連書及資產調査書ヲ添ヘ取引所ヲ
經由シテ之ヲ關東長官ニ提出スヘシ
八 取引所ノ前項ノ願書ニ其ノ意見書ヲ添付ス
ヘシ
第九條 免許料ハ百圓トス
第十條 取引所取引人免許狀ノ交付ヲ受ケ
タルトキハ其ノ旨ヲ本人ニ通知シ免許料ニ相
當スル收入印紙ヲ貼用シタル申請書及身元保
證金ヲ提出シタル後之ヲ交付スヘシ
前項ノ申請書ハ取引所之ヲ關東長官ニ提出ス
ヘシ
第十一條 取引人ノ免許狀出願シタル者取引所力免許
狀ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十五日內ニ申請書
及身元保證金ヲ提出セザルトキハ其ノ效力
ヲ失フ
第十二條 取引人第六條第二號乃至第五號ノ一
ニ該當スルモノニ至リタルトキハ免許ハ其ノ效
力ヲ失フ
第十三條 關東長官ハ不正ノ手段ニ依リ取引人タルノ
免許ヲ受ケタル者又ハ第六條ニ該當スル者
ニシテ免許ヲ受ケタル者アルコトヲ發見シ
タルトキハ之ヲ除名シ又ハ其ノ免許ヲ取消
スルコトヲ得
第十四條 取引人ハ取引人カ關東州取引所令第
十七條ノ要件ヲ缺クニ至リタル場合又ハ之
ヲ缺ク者ニシテ取引人ト爲リタル者アルコ
トヲ發見シタル場合ニシテ準用ス
第十五條 取引人取引所ノ役員タル認可ヲ受
ケタルトキハ前項ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ
第十六條 取引人ハ支店、出張所、其ノ他何等
ノ名義ヲ以テ賣買取引ノ取捨ヲナス場所ト爲
スルコトヲ得
第十七條 取引所定期取引ノ委託ノ代理、媒介又ハ
取次ノ營業ト爲スコトヲ得
第十八條 關東長官ノ認可ヲ受ケタル

第十六條 遺囑 第二章 遺囑 第五款 取引所 市場
適合ハ之ヲ適用セス
第十三條 取引人免許狀ヲ紛失シタルトキハ
事由ヲ具シ取引所ヲ經由シテ再下附テ申請
スヘシ
第十四條 取引人ノ氏名ヲ變更シタルトキハ取引所
ヲ經由シテ免許狀書換ヲ申請スヘシ
第十五條 取引人ノ死亡、廢業、除名其ノ他ノ
事由ニ依リ取引人タル資格ヲ失ヒタルトキ
ハ取引所ハ遺留物其ノ事務ヲ具シ免許狀
ヲ消滅シテ之ヲ關東長官ニ提出スヘシ
第十六條 役員選任ノ認可申請書ニハ履歷書
ヲ添附スヘシ但シ再選ノ場合ハ此ノ限ニ在
ラス
第十七條 取引所ノ使用人ハ其ノ取引所又ハ
之ノ同種ノ物件ヲ取引スル取引所ノ取引人
トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他取引
人ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スルコト
ヲ得ズ
第十八條 取引所ニ依ラスシテ定期取引ト同
一若ハ類似ノ取引ヲ目的トスル市場ヲ開キ
又ハ其ノ市場ニ於テ取引ヲ爲スコトヲ得ズ
第十九條 取引所定期取引ノ標準物ヲ定メザ
ルトキハ遺留物其ノ一部ヲ關東長官ニ送
付シ其ノ一部ヲ取引人ニ交付シ之ヲ其ノ營
業所ニ保管セシムヘシ
第二十條 受渡格付表ハ營業規則ニ之ヲ規定スヘシ
第二十一條 定期取引ノ開始セムル所ノ有價證
券ハ其ノ銘柄ニ付關東長官ノ認可ヲ受テハ
シ
第二十二條 取引所其ノ受渡物件ノ格付ヲ爲ス
者ヲ選任シタルトキハ遺留物其ノ一部ヲ送
付シ關東長官ニ申告スヘシ受渡物件ノ格付
ヲ爲ス者選任シタルトキ亦同シ
第二十三條 賣買取引ノ建値ハ關東長官ノ認
可ヲ受テハシ
第二十四條 取引所ニ於テ徵收スル賣買手續
料ノ率ノ決定方法ハ之ヲ定款ニ規定スヘシ
第二十五條 關東長官ハ必要ト認ムルトキハ手
續料更セシムルコトヲ得
第二十六條 委託者其ノ委託ト同時ニ賣付又
買付ニ關スル取引所證明書ヲ交付テ請求
セザルトキハ取引人ハ遺留物ヲ取引所ヨリ

其ノ證明書ヲ受ケテ之ヲ委託者ニ交付スヘシ
第二十七條 公定相場ハ各物件毎ニ當日ノ約
定成立ノ値段ノ平均ヲ以テ之ヲ決定シ市場
ニ公示スヘシ但シ定期取引ニ在リテハ各期
限毎ニ現物取引ニ在リテハ各受渡日毎ニ之
ヲ區別スヘシ
第二十八條 關東長官ハ必要ト認ムルトキハ
取引所ニ相場表ノ發行ヲ命スルコトヲ得
第二十九條 各取引人ノ定期取引賣買高ノ公
示ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ爲ス
一 前ノ立會日ノ後場及當日ノ前場ノ賣買
高ヲ當日ノ前場ノ立會終了後遺留物ヲ之
ノ市場ノ見易キ場所ニ掲示スヘシ一日一
回ノ立會ヲ爲ス場合又ハ二回掲示スヘシ一日
一回ノ立會ヲ爲ス場合亦之ニ準ス
二 取引所ハ關東長官ノ認可ヲ受ケ前號ニ依
リ公示スル所ニ依リ之ヲ爲ス
三 賣買高ノ各物件ニ付期間毎ニ賣付及買
付ニ別テ之ヲ掲示スヘシ
四 關東長官ハ必要ト認ムルトキハ公示方法ノ變
更ヲ命ジ又ハ公示スルコトヲ要セザル物件
ヲ指定スルコトヲ得
第三十條 取引所ハ左ノ書類ヲ作成シ遺留
物ニ之ヲ關東長官ニ提出スヘシ
一 毎月相場表
二 毎月賣買表
三 毎月財產目錄、貸借對照表、損益計算
書及事業報告
四 毎期末日現在株主及其ノ持株
者ノ名簿
五 取引所其ノ取引人ニ付第一號第二項又
ハ第三項ニ掲グル事由アリト認ムル
トキ
第三十一條 關東州取引所令第六條ノ規定ニ依
ル處分ヲ爲シタルトキ
第三十二條 關東州取引所令第三十七條ニ定ムル
賣買取引ノ違約ヲ生シタルトキ及其ノ賠
償ヲ爲シタルトキ

臨時ニ市場ヲ開始シ又ハ休止シタルト
キ
四 有價證券ノ賣買取引ヲ開始中止又ハ廢
止シタルトキ
五 市場ノ立會ヲ停止シ又ハ取引人ノ賣買
取引ヲ禁止セザルコトヲ得
六 取引人ノ委託手續料ヲ定メタルトキ
七 取引人ノ委任中ニ於テ死亡其ノ他ノ事
由ニ因リ委任シタルトキ但シ解職ノ場合
ヲ除ク
八 取引所役員又ハ取引人カ其ノ職務又ハ
業務ニ關シ訴訟ノ當事者ト爲リタルトキ
及其ノ判決アリタルトキ
九 取引所ノ役員、受渡物件ノ格付ヲ爲ス
者又ハ取引人カ犯罪ノ嫌疑ノ爲起訴セラ
レタルトキ
十 取引所力商法ノ規定ニ依リ登記ヲ爲
シタルトキ
十一 關東長官ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ外報告
スヘキ事項ヲ指定スルコトヲ得
第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一
年以下ノ懲役、禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金
ニ處ス
一 第十二條ノ規定ニ違反シタル者
二 第十七條ノ規定ニ違反シタル者
三 取引所ノ役員又ハ使用人ニシテ其ノ取
引所又ハ之ノ同種ノ物件ヲ取引スル取引
所ノ取引人トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ
分配其ノ他取引人ノ營業ニ付特別ノ利益
關係ヲ生スルコトヲ目的トスル行為ヲ爲
シタル者
四 取引所ニ依ラスシテ取引所ノ相場ニ依
リ資金ノ授受ヲ目的トスル行為ヲ爲シタル
者
五 取引所ニ於テ賣買取引スル物件ノ取引
ニ從事セザル者ヲ選リニ勸誘シテ定期取
引ノ委託ヲ受ケルコトヲ常業トスル者
六 取引所ニ於ケル相場ヲ偽リテ公示シタル
者
七 公示若ハ頒布ノ目的ヲ以テ虛偽ノ相場
ヲ記載シタル文書ヲ作成シタル者又ハ之
ヲ頒布シタル者

關東廳取引所規則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前既ニ差出シタル取引所設立發起認
可申請書ハ本令ニ依リ之ヲ差出シタルモノト
看做ス
前項ノ認可申請書ハ第一條所定ノ要件ヲ具備
セザルモ仍其ノ效力ヲ有ス
關東廳取引所規則
大正八年二月二十六日
關東廳長官
關東州及南滿洲鐵道附屬地內必要ト
認ムル所トシキハ發給
第一條 關東州取引所規則
第二條 關東州取引所規則
第三條 關東州取引所規則
第四條 關東州取引所規則
第五條 關東州取引所規則
第六條 關東州取引所規則
第七條 關東州取引所規則
第八條 關東州取引所規則
第九條 關東州取引所規則
第十條 關東州取引所規則
第十一條 關東州取引所規則
第十二條 關東州取引所規則
第十三條 關東州取引所規則
第十四條 關東州取引所規則
第十五條 關東州取引所規則
第十六條 關東州取引所規則
第十七條 關東州取引所規則
第十八條 關東州取引所規則
第十九條 關東州取引所規則
第二十條 關東州取引所規則
第二十一條 關東州取引所規則
第二十二條 關東州取引所規則
第二十三條 關東州取引所規則
第二十四條 關東州取引所規則
第二十五條 關東州取引所規則
第二十六條 關東州取引所規則
第二十七條 關東州取引所規則
第二十八條 關東州取引所規則
第二十九條 關東州取引所規則
第三十條 關東州取引所規則
第三十一條 關東州取引所規則
第三十二條 關東州取引所規則
第三十三條 關東州取引所規則
第三十四條 關東州取引所規則
第三十五條 關東州取引所規則
第三十六條 關東州取引所規則
第三十七條 關東州取引所規則
第三十八條 關東州取引所規則
第三十九條 關東州取引所規則
第四十條 關東州取引所規則
第四十一條 關東州取引所規則
第四十二條 關東州取引所規則
第四十三條 關東州取引所規則
第四十四條 關東州取引所規則
第四十五條 關東州取引所規則
第四十六條 關東州取引所規則
第四十七條 關東州取引所規則
第四十八條 關東州取引所規則
第四十九條 關東州取引所規則
第五十條 關東州取引所規則
第五十一條 關東州取引所規則
第五十二條 關東州取引所規則
第五十三條 關東州取引所規則
第五十四條 關東州取引所規則
第五十五條 關東州取引所規則
第五十六條 關東州取引所規則
第五十七條 關東州取引所規則
第五十八條 關東州取引所規則
第五十九條 關東州取引所規則
第六十條 關東州取引所規則
第六十一條 關東州取引所規則
第六十二條 關東州取引所規則
第六十三條 關東州取引所規則
第六十四條 關東州取引所規則
第六十五條 關東州取引所規則
第六十六條 關東州取引所規則
第六十七條 關東州取引所規則
第六十八條 關東州取引所規則
第六十九條 關東州取引所規則
第七十條 關東州取引所規則
第七十一條 關東州取引所規則
第七十二條 關東州取引所規則
第七十三條 關東州取引所規則
第七十四條 關東州取引所規則
第七十五條 關東州取引所規則
第七十六條 關東州取引所規則
第七十七條 關東州取引所規則
第七十八條 關東州取引所規則
第七十九條 關東州取引所規則
第八十條 關東州取引所規則
第八十一條 關東州取引所規則
第八十二條 關東州取引所規則
第八十三條 關東州取引所規則
第八十四條 關東州取引所規則
第八十五條 關東州取引所規則
第八十六條 關東州取引所規則
第八十七條 關東州取引所規則
第八十八條 關東州取引所規則
第八十九條 關東州取引所規則
第九十條 關東州取引所規則
第九十一條 關東州取引所規則
第九十二條 關東州取引所規則
第九十三條 關東州取引所規則
第九十四條 關東州取引所規則
第九十五條 關東州取引所規則
第九十六條 關東州取引所規則
第九十七條 關東州取引所規則
第九十八條 關東州取引所規則
第九十九條 關東州取引所規則
第一百條 關東州取引所規則

取引所ハ東長官ノ管理ニ屬ス
 第二條 取引所ニ左ノ職員ヲ置ク
 一 所長 六人
 二 書記 六人以内
 三 主事 若干人
 四 検査員 若干人
 五 前項ノ外必要ニ應ジテ所長ヲ置クコトアルヘシ

第三條 所長ハ東長官ノ命ヲ承テ事務ヲ總シ所長ヲ補佐シ事務ヲ掌理ス
 主事ハ上司ノ命ヲ承テ事務ヲ分掌ス
 書記ハ上司ノ命ヲ承テ事務ニ従事ス
 検査員ハ上司ノ命ヲ承テ取引物件ノ検査ニ従事ス

第四條 取引所ニ商議員會ヲ置キ所長及商議員ヲ以テ之ヲ組織ス
 商議員ハ十名以内トシ其ノ任期ヲ三箇年トス
 商議員ハ商業ニ關シ學識又ハ經驗アル者ノ中ニ東長官ノ命ヲ奉テ選ス

第五條 商議員會ニ附屬スヘキ事項左ノ如シ
 一 取引ノ免許及其ノ取消ニ關スル事項
 二 買取引ノ方法及其ノ履行ニ關スル事項
 三 費用徴收ニ關スル事項
 四 仲裁判定ニ關スル事項
 五 其ノ他重要ナル事項

第六條 土地ノ情況ニ依リ取引所ニ相殺役ヲ置ク
 相殺役ハ取引所ノ重要事務ニ參與シ且取引所ノ事務ニ付意見ヲ所長ニ開申スルコトヲ得
 相殺役ハ商議員會ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第七條 取引所ニ於テ買取引スル物件ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 取引所ニ於テ賣取引スル物件ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 先物取引ハ賣買又ハ相對賣買ノ方法ニ依リ之ヲ行フ
 第十條 轉賣、買戻ハ賣買ノ方法ニ依リ先物取引所ニ行フ

第十條 取引所ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
 一 現物取引ノ種類毎ニ一日間ノ買取引中普通商品ト認メタルモノノ買取引數量ヲ以テ其ノ總代價ヲ除シタルモノ
 二 先物取引ノ種類毎ニ契約履行ノ期日ニ依リ區別シ一日間ノ買取引數量ヲ以テ其ノ總代價ヲ除シタルモノ

第十一條 所長ハ取引人又ハ委託者ヨリ買取引ニ關シ證明ノ申請アリタルトキハ無償ニ之ヲ證明スヘシ

第十二條 取引所ノ取引人ヲ分チテ重要物件土地ノ情況ニ依リ現物取引ノミチ爲ス取引人ヲ置クコトアルヘシ

第十三條 取引所ノ取引人ト爲ラムトスル者ハ願書ニ取引ノ種類ヲ記シ願書ヲ添ヘ所長ニ提出シ受許ヲ受ケルヘシ但シ法人ニ在リテハ願書ニ定款及財産目録ヲ添付スヘシ
 取引人組合ノ設置ハ場合ニ依リ願書ノ願書ハ其ノ組合ノ趣意ニ依リ

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ取引人ト爲ルコトヲ得ス
 一 取引所ニ於テ買取引スル物件ノ取引又ハ製造ノ目的トスル營業所ヲ取引所所在地ニ有ル者
 二 婦女又ハ未成年者
 三 本令ニ依リ刑罰ヲ受ケタル後三年ヲ經過セザル者
 四 資産信用ノ不確實ナル者
 第十五條 不正ノ手段ニ依リ取引人ノ免許ヲ受ケタル取引人ニシテ前條第一號若ハ第四號ニ該當スルニ至リタルトキハ所長ハ其ノ免許ヲ取消スヘシ

第十六條 取引人ノ免許ヲ受ケタルトキハ別ニ定ムル所ニ從ヒ免許料及入場料ヲ納付スヘシ
 免許料及入場料ヲ納付スルニ非サレハ買取引ヲ爲スコトヲ得ス
 第十七條 取引人ト爲ラム所ニ依リ身元保證金及買取引保證金ヲ取引所ニ差入ルヘシ

第十八條 取引人ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルト間ハ買取引ニ關シ一切ノ責任ヲ負フヘシ

第十九條 取引人ハ買取引ニ關シ委託者ヨリ手数料ヲ收受スルコトヲ得
 取引人ハ手数料ノ率ヲ定メ所長ノ認可ヲ受ケルヘシ

第二十條 取引人ハ取引所ニ於テ買取引ニ從事セシムル爲メ代理人ヲ置クコトヲ得
 代理人ノ定款其ノ他ニ關シ別ニ之ヲ定ム

第二十一條 取引人ハ他ノ取引人又ハ其ノ代理人ヲ以テ自己ノ代理人ト爲スコトヲ得
 第二十二條 取引人ハ買取引ニ關シ帳簿ヲ備フヘシ

第二十三條 取引人ハ帳簿ヲシテ其ノ買取引ノ所長ニ届出ツヘシ

第二十四條 取引人ハ死亡シ又ハ其ノ免許ヲ取消サレタル場合ト雖取引所ニ於テハ買賣取引ヲ終了スル目的ノ範圍内ニ於テハ仍舊業ヲ繼續スルコトヲ得
 第二十五條 取引人其ノ組合ヲ設置セムトスルトキハ組合規約ヲ定メ所長ノ認可ヲ受ケルヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第二十六條 所長ハ必要ト認ムルトキハ取引人ノ帳簿書類及物件ヲ検査シ又ハ文書ヲ提出シ命ズルコトヲ得
 第二十七條 取引人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ所長ハ其ノ免許ヲ取消スルコトヲ得
 一 取引所ノ指定シタル期間内ニ免許料又ハ入場料ヲ納付セザルトキ
 二 指定ノ期間内ニ身元保證金ヲ差入レザルトキ
 三 正當ノ事由ナクシテ一年以上引續キ買取引ニ從事セザルトキ

第二十八條 所長ハ取引人又ハ其ノ代理人ノ行為ヲ本令又ハ買取引ニ關スル規定ニ違反シ又ハ取引所ノ秩序ヲ紊シ若ハ信用ヲ害スルト認ムルトキハ其ノ入場料ヲ沒收シ營業ノ停止ヲ命ズルヘシ免許ヲ取消シ又ハ代理人ノ解任ヲ命ズルコトヲ得
 第二十九條 所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市場ノ立會ノ全部又ハ一部ヲ停止シ若ハ買取引數量ヲ制限シ又ハ取引人ノ買取引ヲ禁止スルヘシ
 一 相場ノ最低不穩當ナルトキ又ハ不穩當ナル最低不生スヘキ虞アルトキ
 二 取引人ノ不穩當ナル買取引ヲ爲シ其ノ他故意ニ市場ヲ紊スル行為ヲ爲シ又ハ爲サムトスルトキ
 三 買取引保證金ノ徴收ニ支障アリト認ムルトキ
 四 前各號ノ外公益上必要アリト認ムルトキ

第三十條 所長ハ取引所ニ於テ爲シタル買賣取引ニ關シ其ノ關係者間ニ起リタル紛議ニ付雙方合意ノ申請アリタルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ仲裁判定ヲ行フ
 前項ノ仲裁判定ニ對シテハ異議ヲ述ブルコトヲ得ス

第三十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役、禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
 一 取引所ノ先物取引同一又ハ類似ノ取引ヲ目的トスル市場ヲ開キ又ハ其ノ市場ニ於テ取引ヲ爲シタル者
 二 取引所ニ依リ之ヲ爲シタル取引所ニ於テ買取引スル物件ニ付差金ノ授受ヲ目的トスル行為ヲ爲シタル者
 三 取引所ニ於テ相場ノ變動ヲ圖ル目的ヲ以テ虛偽ノ風説ヲ流布シ偽計ヲ用井又ハ暴行若ハ脅迫ヲ爲シタル者
 四 取引所ニ於テ買取引スル物件ノ取引ニ從事セザル者ヲ置キ動議シテ先物取引ノ委託ヲ受ケルコトヲ營業トスル者

取引所 市場

大連取引所三等大豆先物取引規程

大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 總則
 第一條 本令ハ大正八年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二章 取引所ノ組織
 第一條 取引所ノ組織規則第十七條ノ取引所保費社ハ取引所長ノ監督ヲ受ケルヘシ
 第二條 取引所保費社ハ左ニ掲ケル業務ニ限リ之ヲ營ムコトヲ得
 一 其ノ取引所ノ買取引ノ清算事務及證券金徵收事務ノ取扱ヲ目的トスル業務
 二 其ノ取引所ノ買取引ノ違約ヨリ生スル損害ニ付賠償ノ責ニ任スルコトヲ目的トスル業務
 三 其ノ取引所ノ取引人ニ對シ其ノ取引ニ要スル資金ノ融通ヲ目的トスル業務
 第三條 取引所保費社ノ定款ハ東長官ノ認可ヲ受ケルヘシ其ノ變更ニ付亦同シ
 第四條 取引所保費社ハ第二條ノ業務ヲ行フ爲メ業務規程及資金融通規程ヲ定メ東長官ノ認可ヲ受ケルヘシ其ノ變更ニ付亦同シ
 第五條 取引所保費社ノ役員ノ就任、解任及解任ハ東長官ノ認可ヲ受ケルヘシ
 第六條 取引所保費社ノ役員又ハ使用人ハ如何ナル形式ヲ以テスルモ其ノ取引所ノ取引ニ關係スルコトヲ得ズ但シ東長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章 取引所ノ業務
 第七條 取引所保費社ハ法定積立金ノ外純益金ノ一割以上ノ積立金ヲ爲スヘシ
 前項ノ積立金ヲ爲シタルトキ又ハ積立金ヲ支出セムトスルトキハ事由ヲ具シ東長官ノ許可ヲ受ケルヘシ
 第八條 取引所保費社ハ利益金ノ處分ニ付東長官ノ認可ヲ受ケルヘシ
 第九條 左ノ事項ニ關シテハ東長官ノ認可ヲ受ケルヘシ其ノ變更ニ付亦同シ
 一 先物取引ノ免許料、手数料
 二 現金及有價證券ノ利用及保管方法
 三 取引所保費社増設保證金又ハ特別保證金ヲ徵收セムトスルトキハ取引所長ノ指揮ヲ受ケルヘシ
 第十條 取引所長ハ取引所保費社ニ對シ保證金又ハ特別保證金ノ徴收又ハ返還ヲ命ズルコトヲ得
 第十一條 取引所保費社ハ毎年二回會社ノ業務、帳簿、財產其ノ他一切ノ物件ニ付取引所長ノ検査ヲ受ケルヘシ
 第十二條 取引所保費社ハ隨時其ノ所屬職員ヲシテ取引所長ノ監督ヲ受ケルヘシ其ノ他一切ノ物件ヲ検査セシムルコトアルヘシ
 第十三條 取引所保費社主體會ヲ開カントスルトキハ會議ノ目的ヲ事項ヲ記載シ東長官ニ届出ツヘシ
 第十四條 取引所保費社ハ資金融通ニ關スル帳簿、貸借對照表、損益計算書及事業報告書ヲ東長官ニ提出スヘシ
 第十五條 取引所保費社ハ決算期毎ニ財產目録、貸借對照表、損益計算書及事業報告書ヲ東長官ニ提出スヘシ
 第十六條 取引所保費社ハ左ノ場合ニ於テハ連帶ナク事由ヲ具シ東長官ニ報告スヘシ
 一 買取引ノ違約ヲ生シタルトキ及其ノ賠償ヲ爲シタルトキ
 二 役員其ノ任期中ニ於テ死亡シタルトキ
 三 會社又ハ役員其ノ業務又ハ職務ニ關シ訴訟ノ當事者ト爲リタルトキ又ハ其ノ列

第四章 大連取引所三等大豆先物取引規程
 第一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス
 第二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五章 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六章 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七章 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八章 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九章 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十章 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十一章 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十二章 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第二十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第五十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第六十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第七十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第八十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十一條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十二條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十三條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十四條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十五條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十六條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十七條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十八條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九十九條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第一百條 大連取引所三等大豆先物取引規程ノ施行スルニ關シ
 大正五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

トキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ商工會議所ハ選擧ナク當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之テ地方長官ニ届出スベシ

項ノ規定ヲ準用ス 前條第四項ノ規定ハ補選ニシテ準用ス 補選ニ於テ選擧スベシ

のヲ以テ當選人ニ對シ第一號又ハ第二號ニ掲グル行爲ヲ爲シタルトキ

選舉人ノ氏名若ハ名稱ヲ認知スルノ方法ヲ行フタル者ハ三月以下ノ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

朝鮮商業會議所令

大正四年七月十五日

朝鮮商業會議所令明治四十四年法律第三十號 第一條 及第二條ニ依リ抽籤ヲ得テ之ヲ公布ス

官廳ノ令ニ依リ商工業ニ關スル事項ヲ調査シ又ハ其ノ諮問ニ應ズルコト

項ハ朝鮮總督之ヲ定ム 第九條 商業會議所ニ左ノ役員ヲ置ク

目的ノ範圍内ニ於テ存積スルモノト看做ス 第十四條 朝鮮總督必要ト認ムルトキハ商業會議所ヲシテ事務若ハ財産ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ所部ノ官吏ヲシテ之ヲ検査セシムルコトヲ得

長官ニ差出スヘシ
 第二十七條 清算終了シタルトキハ清算人ハ其ノ結果ヲ選擇ナリ得ル太長官ニ提出スヘシ
 第二十八條 商工會議所法第二十五條第一項第一號第一號及第九號ノ議決ニ關スル議案可申請書ニハ會議ノ議事録ヲ添付スヘシ
 第二十九條 商工會議所又ハ同法ニ基キテ發シタル命令ニ依リ得ル太長官ニ差出スヘキ書類ハ本太長官支廳長ヲ經由スヘシ
 附則
 本則ハ商工會議所法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關スル規則左ノ通定ム
 商工會議所法第十二條第一號ノ議員ノ選舉ニ關スル規則
 第一條 商工會議所法第十八條第五項ノ規定ニ依リ別選會議所ヲ行フ場合ニ於テハ選舉人中選舉人ノ總數ヲ以テ選舉人ノ納ムル經費總額ヲ除シ其ノ平均額以上ヲ納ムル者ヲ一級トシ其ノ他ノ選舉人ヲ二級トス但シ一級ノ納額最多キ者議員定數ノ二分ノ一ト同級ノ納額最多キ者議員定數ノ二分ノ一ト同級ノ納額以上アルトキハ選舉權ニ關スル條件ヲ具備シタル年數ノ多キ者ヲ上級ニ入ルル其ノ年數ニ依リ難キトキハ年數ニ依リ年數ニ依リ難キトキハ商工會議所ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
 第二條 商工會議所ハ設立ノ認可ヲ受ケタル日及毎年一回定款ノ定ムル期日現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調整スヘシ但シ別選會議所ヲ行フトキハ別選會議所ニ於テ調整スヘシ
 第三條 商工會議所選舉人名簿ヲ調整シタルトキハ十四日以前以上其ノ事務所又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ關係者ノ覽覽ニ供スヘシ

第四條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ不服アルトキハ覽覽期間内ニ商工會議所ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
 前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ議員總會ノ議決ヲ經テ決定ヲ爲シ異議ノ申立又ハ關係人ニ之ヲ通知スヘシ
 前項ノ決定ニ不服アル異議申立人又ハ關係人ハ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ本太長官ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得
 第五條 選舉人名簿ハ覽覽期間滿了後二十日ヲ經テ確定ス
 選舉人名簿ハ次年ノ名簿確定ノ日迄之ヲ據テハシ
 前條ノ決定確定シ又ハ本太長官ノ裁決アリタルニ依リ名稱ノ修正ヲ要スルトキハ商工會議所ハ直ニ其ノ旨ヲ修正スヘシ
 選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ商工會議所ハ直ニ其ノ旨ヲ修正スヘシ
 第六條 第四條ノ場合ニ於テ決定確定シ又ハ本太長官ノ裁決アリタルニ依リ選舉人名簿無效トナリタルトキハ更ニ之ヲ調整スヘシ
 第七條 天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名稱ヲ調整スヘシ
 選舉人名簿調整後商工會議所ノ地區ノ擴張アリタル場合ニ於テハ新ニ屬シタル地區ノ選舉人名簿ニ追加スヘシ此ノ場合ニ於テハ第二條乃至前條及前二項ノ規定ヲ準用ス

第九條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ不服アルトキハ覽覽期間内ニ商工會議所ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
 前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ議員總會ノ議決ヲ經テ決定ヲ爲シ異議ノ申立又ハ關係人ニ之ヲ通知スヘシ
 前項ノ決定ニ不服アル異議申立人又ハ關係人ハ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ本太長官ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得
 第十條 選舉人名簿ハ覽覽期間滿了後二十日ヲ經テ確定ス
 選舉人名簿ハ次年ノ名簿確定ノ日迄之ヲ據テハシ
 前條ノ決定確定シ又ハ本太長官ノ裁決アリタルニ依リ名稱ノ修正ヲ要スルトキハ商工會議所ハ直ニ其ノ旨ヲ修正スヘシ
 選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ商工會議所ハ直ニ其ノ旨ヲ修正スヘシ
 第十一條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ不服アルトキハ覽覽期間内ニ商工會議所ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
 前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ議員總會ノ議決ヲ經テ決定ヲ爲シ異議ノ申立又ハ關係人ニ之ヲ通知スヘシ
 前項ノ決定ニ不服アル異議申立人又ハ關係人ハ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ本太長官ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

商工會議所法附則第三項ノ規定ニ依リ商工會議所ニ付テハ次ノ選舉ニ至ル迄ノ間議員ノ選舉及經費賦課ニ關スル事項ハ仍舊前ノ規定ニ依リ外左ノ各條ノ規定ニ依リ
 一 議員總會ハ商工會議所法第十二條及第十三條ノ規定ニ拘ラス從前ノ規定ニ依リ議員ヲ以テ之ヲ組織ス
 二 商工會議所法第十二條第一號ノ議員トアルハ從前ノ規定ニ依リ議員トス
 三 商工會議所法施行前同法第二十九條第一項ノ規定ニ異リ任期ヲ定ムル定款ノ規定ハ仍舊其ノ效力ヲ有ス
 四 商工會議所法又ハ同法ニ基キテ發シタル命令ニ依リ得ル太長官ノ裁決アリタルニ依リ選舉人名簿ニ關シタル事項ハ仍舊其ノ效力ヲ有ス
 五 商工會議所法又ハ同法ニ基キテ發シタル命令ニ依リ得ル太長官ノ裁決アリタルニ依リ選舉人名簿ニ關シタル事項ハ仍舊其ノ效力ヲ有ス
 六 商工會議所法又ハ同法ニ基キテ發シタル命令ニ依リ得ル太長官ノ裁決アリタルニ依リ選舉人名簿ニ關シタル事項ハ仍舊其ノ效力ヲ有ス
 七 商工會議所法又ハ同法ニ基キテ發シタル命令ニ依リ得ル太長官ノ裁決アリタルニ依リ選舉人名簿ニ關シタル事項ハ仍舊其ノ效力ヲ有ス

第七條 被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ自書セザル連名投票ノ方法ニ依リタル場合ニ於テハ前項第一號第六號及第七號ニ該當スルモノ並ニ其ノ記載ノ人員選舉スヘキ定款ニ該當スルモノハ之ヲ無効トシ前項第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミテ無効トス
 第十八條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉立會人ノ之ヲ決定ス
 第十九條 有效投票ノ多數數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ投票ニ記載スヘキ被選舉人ノ數ヲ有テ投票ノ總數ニ乘シ選舉スヘキ議員ノ數ヲ以テ之ヲ除シ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アリタル者ヲ要ス
 第二十條 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選者失フ但シ納税ニ關スル條件ヲ失ヒタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 第二十一條 選舉長ハ選舉權ヲ行フ選舉會ニ關スル事項ニ記載シタル期日以前二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ
 選舉長ハ選舉權ヲ行フ選舉會ニ關スル事項ニ記載シタル期日以前二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ
 選舉長ハ選舉權ヲ行フ選舉會ニ關スル事項ニ記載シタル期日以前二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ
 選舉長ハ選舉權ヲ行フ選舉會ニ關スル事項ニ記載シタル期日以前二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ

一人ニシテ數人ニ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ニ應ズヘキカチ商工會議所ニ申立テ其ノ期間内ニ之ヲ申立ザルモノトキハ商工會議所ノ抽籤ニ之ヲ定ム
 第二十三條 當選者左ニ掲グル事由ノ一ニ該當スルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ第十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザル者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ
 一 當選者辭職シタルトキ
 二 數人ニ當選シタル場合ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ級ノ當選ニ應ジ又ハ抽籤ニ依リ一ノ級ノ當選者ヲ定ムヘシ又ハ爲メ他ノ級ノ當選者ヲラサルニ至リタルトキ
 三 第二十條ノ規定ニ依リ當選者失ヒタルトキ
 四 死亡者ナルトキ
 五 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ共ノ當選無効ト爲リタルトキ
 前項ノ場合ニ於テ選舉ノ期日後ニ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル者ハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ズ但シ納税ニ關スル條件ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 第二十四條 第一項ノ場合ニ於テハ商工會議所ハ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ
 第二十五條 第二十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ若ハ同條第三項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ
 第二十六條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ
 第二十七條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ
 第二十八條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ
 第二十九條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ

商工會議所前二項ノ告示ヲ爲シタルトキハ本太長官ニ提出スヘシ
 第八條 商工會議所ノ議員ノ選舉ニ付テハ商工會議所ノ理事又ハ本太長官ノ指名シタル官吏選舉長ト爲リ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス
 選舉會ニ關スル費用ハ商工會議所ノ負擔トス
 第九條 選舉長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ
 選舉立會人ハ名稱ヲ定ム
 第十條 選舉立會人又ハ代人ニ非サル者ハ選舉場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉場ノ事務ニ從事スル者選舉場ヲ監視スル職務ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス
 選舉場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉場外ニ退出セシムヘシ
 前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長選舉場ノ秩序ヲ紊スル虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨グス
 第十一條 選舉人又ハ代人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉場ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ
 投票時間内ニ選舉場ニ入りタル選舉人又ハ代人ハ其ノ時間ヲ過タル投票ヲ爲スコトヲ得
 自ラ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ書スルコトハ被選舉人ノ投票スルコトヲ得ズ
 投票用紙ハ商工會議所ノ定ムル所ニ依リ一ノ式ヲ用フヘシ
 第十二條 確定名簿ニ登錄セラレタル者ハ投票スルコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ハ商工會議所ノ決定通知書又ハ本太長官ノ裁決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉場ニ到リ選舉人又ハ代人ハ此ノ限ニ在ラス
 確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ

發給セラレタルコトヲ得ザル者ナルトキハ投票スルコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉場ニ至リ投票スルコトヲ得ズ亦同シ
 第十三條 投票ノ拒否ハ選舉立會人ノ之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決定ス
 第十四條 會社及無能力者ハ左ニ掲グル者ニシテ帝國臣民タル能力者ノ中ヨリ其ノ代人ヲ定ムヘシ
 一 會社ニ在リテハ其ノ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ登記シタル支配人
 二 無能力者ニ在リテハ親權者、後見人保佐人又ハ夫
 一人ニシテ同一商工會議所ニ於テ二人以上ノ選舉人ノ代人ト爲ルコトヲ得ズ
 代人ハ其ノ代人タルコトヲ證明スル書面ヲ携帶スヘシ
 第十五條 選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ヲ計算スヘシ
 選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ノ點檢スヘシ
 天災事變等ノ爲メ開票ヲ行フコト能ハサルトキハ商工會議所ハ更ニ開票ノ期日ヲ定ム兼メ之ヲ告示スヘシ此ノ場合ニ於テ選舉場ノ變更ヲ要スルトキハ更ニ其ノ場所ヲ告示スヘシ
 第十六條 選舉人又ハ代人ハ其ノ選舉會ノ參與ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラス
 第十七條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス
 一 成規ノ用紙ヲ用キザルモノ
 二 現ニ商工會議所議員ノ職ニ在ル者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタルモノ
 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタルモノ
 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確證シ難キモノ
 五 被選舉權ナキ者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタルモノ
 六 被選舉人ノ氏名又ハ名稱ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ地位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限

七 在ラス
 被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ自書セザル連名投票ノ方法ニ依リタル場合ニ於テハ前項第一號第六號及第七號ニ該當スルモノ並ニ其ノ記載ノ人員選舉スヘキ定款ニ該當スルモノハ之ヲ無効トシ前項第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミテ無効トス
 第十八條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉立會人ノ之ヲ決定ス
 第十九條 有效投票ノ多數數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ投票ニ記載スヘキ被選舉人ノ數ヲ有テ投票ノ總數ニ乘シ選舉スヘキ議員ノ數ヲ以テ之ヲ除シ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アリタル者ヲ要ス
 第二十條 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選者失フ但シ納税ニ關スル條件ヲ失ヒタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 第二十一條 選舉長ハ選舉權ヲ行フ選舉會ニ關スル事項ニ記載シタル期日以前二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ
 選舉長ハ選舉權ヲ行フ選舉會ニ關スル事項ニ記載シタル期日以前二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ
 選舉長ハ選舉權ヲ行フ選舉會ニ關スル事項ニ記載シタル期日以前二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ
 選舉長ハ選舉權ヲ行フ選舉會ニ關スル事項ニ記載シタル期日以前二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ

一人ニシテ數人ニ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ニ應ズヘキカチ商工會議所ニ申立テ其ノ期間内ニ之ヲ申立ザルモノトキハ商工會議所ノ抽籤ニ之ヲ定ム
 第二十三條 當選者左ニ掲グル事由ノ一ニ該當スルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ第十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザル者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ
 一 當選者辭職シタルトキ
 二 數人ニ當選シタル場合ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ級ノ當選ニ應ジ又ハ抽籤ニ依リ一ノ級ノ當選者ヲ定ムヘシ又ハ爲メ他ノ級ノ當選者ヲラサルニ至リタルトキ
 三 第二十條ノ規定ニ依リ當選者失ヒタルトキ
 四 死亡者ナルトキ
 五 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ共ノ當選無効ト爲リタルトキ
 前項ノ場合ニ於テ選舉ノ期日後ニ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル者ハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ズ但シ納税ニ關スル條件ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 第二十四條 第一項ノ場合ニ於テハ商工會議所ハ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ
 第二十五條 第二十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ若ハ同條第三項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ
 第二十六條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ
 第二十七條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ
 第二十八條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ
 第二十九條 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シタルトキハ商工會議所ハ選舉權ヲ當選者ノ住所、氏名又ハ名稱ヲ告示シ之ヲ本太長官ニ提出スヘシ

商工會議所前二項ノ告示ヲ爲シタルトキハ本太長官ニ提出スヘシ
 第八條 商工會議所ノ議員ノ選舉ニ付テハ商工會議所ノ理事又ハ本太長官ノ指名シタル官吏選舉長ト爲リ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス
 選舉會ニ關スル費用ハ商工會議所ノ負擔トス
 第九條 選舉長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ
 選舉立會人ハ名稱ヲ定ム
 第十條 選舉立會人又ハ代人ニ非サル者ハ選舉場ニ入ルコトヲ得ズ但シ選舉場ノ事務ニ從事スル者選舉場ヲ監視スル職務ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス
 選舉場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉場外ニ退出セシムヘシ
 前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長選舉場ノ秩序ヲ紊スル虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨グス
 第十一條 選舉人又ハ代人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉場ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ
 投票時間内ニ選舉場ニ入りタル選舉人又ハ代人ハ其ノ時間ヲ過タル投票ヲ爲スコトヲ得
 自ラ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ書スルコトハ被選舉人ノ投票スルコトヲ得ズ
 投票用紙ハ商工會議所ノ定ムル所ニ依リ一ノ式ヲ用フヘシ
 第十二條 確定名簿ニ登錄セラレタル者ハ投票スルコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ハ商工會議所ノ決定通知書又ハ本太長官ノ裁決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉場ニ到リ選舉人又ハ代人ハ此ノ限ニ在ラス
 確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ

第三十二條 左ノ各號ニ掲ケル行為ヲ爲シ...

又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス...

札其ノ他何等ノ方法ヲ以テ...

第七款 商品検査及取締

一 當選者得シ得シ又ハ得シ...

二 交通者ハ集會ノ便ヲ...

第三十九條 演説又ハ新聞紙...

輸出生絲検査法

三 投票者得シ若ハ爲サ...

第三十四條 選舉長、立會人...

第四十條 選舉人又ハ代人...

第一條 生絲検査所ノ...

四 議員候補者タルコト...

第三十七條 選舉ニ關シ...

第四十一條 選舉長、又ハ立會人...

第二條 生絲検査所ノ...

五 議員候補者タルコト...

第三十八條 演説又ハ新聞紙...

第四十二條 第二十九條ノ...

第三條 主務大臣特別ノ...

六 第一號若ハ第三號乃...

第四十三條 當選人其ノ...

第四十三條 當選人其ノ...

第四條 當該官更取上...

七 前各號ニ掲ケル行為...

第四十四條 選舉長、又ハ立會人...

第四十四條 選舉長、又ハ立會人...

第五條 第一條及第二條ノ...

第三十三條 選舉ニ關シ...

第四十五條 選舉長、又ハ立會人...

第四十五條 選舉長、又ハ立會人...

第六條 正當ノ理由ナ...

第三十四條 演説又ハ新聞紙...

第四十六條 選舉長、又ハ立會人...

第四十六條 選舉長、又ハ立會人...

第七條 生絲検査所ノ...

第三十五條 選舉長、立會人...

第四十七條 選舉長、又ハ立會人...

第四十七條 選舉長、又ハ立會人...

第八條 本法又ハ本法ニ...

第三十六條 選舉長、立會人...

第四十八條 選舉長、又ハ立會人...

第四十八條 選舉長、又ハ立會人...

第九條 生絲検査所ノ...

第三十七條 選舉長、立會人...

第四十九條 選舉長、又ハ立會人...

第四十九條 選舉長、又ハ立會人...

第十條 生絲検査所ノ...

第三十八條 演説又ハ新聞紙...

第五十條 選舉長、又ハ立會人...

第五十條 選舉長、又ハ立會人...

第十一條 生絲検査所ノ...

第三十九條 演説又ハ新聞紙...

第五十一條 選舉長、又ハ立會人...

第五十一條 選舉長、又ハ立會人...

第十二條 生絲検査所ノ...

第四十條 選舉人又ハ代人...

第五十二條 選舉長、又ハ立會人...

第五十二條 選舉長、又ハ立會人...

第十三條 生絲検査所ノ...

第四十一條 選舉長、又ハ立會人...

第五十三條 選舉長、又ハ立會人...

第五十三條 選舉長、又ハ立會人...

第十四條 生絲検査所ノ...

第四十二條 第二十九條ノ...

第五十四條 選舉長、又ハ立會人...

第五十四條 選舉長、又ハ立會人...

第十五條 生絲検査所ノ...

第四十三條 當選人其ノ...

第五十五條 選舉長、又ハ立會人...

第五十五條 選舉長、又ハ立會人...

第十六條 生絲検査所ノ...

第四十四條 選舉長、又ハ立會人...

第五十六條 選舉長、又ハ立會人...

第五十六條 選舉長、又ハ立會人...

第十七條 生絲検査所ノ...

第四十五條 選舉長、又ハ立會人...

第五十七條 選舉長、又ハ立會人...

第五十七條 選舉長、又ハ立會人...

第十八條 生絲検査所ノ...

第四十六條 選舉長、又ハ立會人...

第五十八條 選舉長、又ハ立會人...

第五十八條 選舉長、又ハ立會人...

第十九條 生絲検査所ノ...

第四十七條 選舉長、又ハ立會人...

第五十九條 選舉長、又ハ立會人...

第五十九條 選舉長、又ハ立會人...

第二十條 生絲検査所ノ...

第四十八條 選舉長、又ハ立會人...

第六十條 選舉長、又ハ立會人...

第六十條 選舉長、又ハ立會人...

第二十一條 生絲検査所ノ...

第四十九條 選舉長、又ハ立會人...

第六十一條 選舉長、又ハ立會人...

第六十一條 選舉長、又ハ立會人...

第二十二條 生絲検査所ノ...

第五十條 選舉長、又ハ立會人...

第六十二條 選舉長、又ハ立會人...

第六十二條 選舉長、又ハ立會人...

第二十三條 生絲検査所ノ...

第五十一條 選舉長、又ハ立會人...

第六十三條 選舉長、又ハ立會人...

第六十三條 選舉長、又ハ立會人...

第二十四條 生絲検査所ノ...

第五十二條 選舉長、又ハ立會人...

第六十四條 選舉長、又ハ立會人...

第六十四條 選舉長、又ハ立會人...

第二十五條 生絲検査所ノ...

第五十三條 選舉長、又ハ立會人...

第六十五條 選舉長、又ハ立會人...

第六十五條 選舉長、又ハ立會人...

第二十六條 生絲検査所ノ...

第五十四條 選舉長、又ハ立會人...

第六十六條 選舉長、又ハ立會人...

第六十六條 選舉長、又ハ立會人...

第二十七條 生絲検査所ノ...

添へて之ヲ其ノ検査ヲ爲シタル生絲検査所ニ提出シ様式第六號ノ検査済票ヲ結附及封印ノ施行ヲ受ケルベシ

第二十一條 汚損其ノ他已ムチ得ザル事由ニ因リ検査済生絲ヲ改裝セムトスル場合ニ於テハ様式第十號ノ申請書ニ生絲ヲ添へ之ヲ其ノ検査ヲ爲シタル生絲検査所ニ提出シ検査済票ヲ再結附及封印ノ再施行ヲ受ケルベシ

第二十二條 生絲検査所長必要アリト認ムルトキハ生絲検査所ノ所在地ニ於ケル申請者ノ店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ出張シテ第十條但書、第二十條又ハ前條ノ手續ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ申請者ハ生絲検査所ニ生絲ヲ提出スルコトヲ要セズ

第二十三條 生絲ヲ輸出ノ爲ニ包裝スル場合ニ於テハ検査済票ノ封印ノ部分ハ之ヲ包裝ノ外部ニ表スベシ

第二十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ輸出生絲検査法第一條及第二條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

一 玉絲又ハ野蠶絲ヲ輸出セムトスルトキ

二 玉絲又ハ野蠶絲ヲ買取引セムトスルトキ

三 本邦産ニ非ザル生絲ヲ買取引シ又ハ輸出セムトスルトキ

四 商品見本用生絲ヲ買取引シ又ハ輸出セムトスルトキ但シ見本ノミニ適スル數量ノモノニ限ル

五 博覽會、展覧會、品評會、共進會等ヘノ出品用、標本用、學術研究用其ノ他特利ノ目的ニ供セラレザル生絲ヲ買取引シ又ハ輸出セムトスルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ生絲ノ外裝ニ玉絲又ハ野蠶絲ナル旨ヲ表示スベシ

第二十五條 検査請求者生絲検査所ノ所在地ニ住所又ハ營業所ヲ有セザルトキハ検査ノ請求ニ關シ其ノ地ニ住所又ハ營業所ヲ有スル代理人ヲ定メ之ヲ生絲検査所長ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十六條 検査請求者輸出ノ目的ヲ以テ買取引シタル生絲ノ受渡ヲ終ルルコトキハ混雜

ナク様式第十一號ノ届書ヲ生絲検査所長ニ提出スベシ

第二十七條 輸出生絲検査法第四條ノ證書ハ様式第十二號ニ依ル

第二十八條 出張検査ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ生絲検査所長ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

一 第八條又ハ第九條第二項ノ規定ニ依リ義務ヲ履行セザルトキ

二 第九條第三項ノ規定ニ依リ検査員ノ處置ヲ拒ミ又ハ其ノ指揮ニ違背シタルトキ

三 不正ノ手段ニ依リ検査ヲ受ケ又ハ受ケムトシタルトキ

第二十九條 本則中生絲検査所又ハ生絲検査所長トアルハ第七條第二項及第十五條乃至第十七條ヲ除クノ外國又ハ公共團體ノ生絲検査所又ハ其ノ所長トス

第三十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 不正ノ手段ニ依リ検査ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者

二 検査證又ハ検査済票ヲ不正ニ使用シ又ハ使用セムトシタル者

附則

第三十一條 本令ハ昭和二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條 第十一條、第二十條及第二十一條ノ規定ニ依リ封印ハ申請ニ依リ當分ノ内之ヲ施サザルコトヲ得

第三十三條 前條ノ場合ニ於テハ第十一條ノ規定證ハ申請ニ依リ當分ノ内同條ノ検査済票ト同様ノ検査済票ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ申請ニ依リ様式第五號ノ検査證ヲ交付スルコトヲ得

第三十三條 輸出生絲検査法第二條ノ規定ハ同法施行前ノ買取引ノ因リ昭和二年七月三十一日以前ニ生絲ノ受渡ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セズ但シ昭和二年産ノ繭ヲ以テ製産シタル生絲ニ付テハ輸出ノ業トスル者ガ其ノ買取引契約ニ基キ同法施行前引込ヲ爲シタル場合ニ限ル

第三十四條 輸出生絲検査法第一條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル生絲ヲ輸出スル場合ニハ之ヲ適用セズ但シ後メ生絲検査所長ノ承認ヲ受ケ且昭和二年十二月三十一日迄ニ關稅法第三十一條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタルモノニ限ル

一 前條ノ規定ニ依リ輸出生絲検査法第二條ノ適用ヲキモノ

二 輸出ノ業トスル者ガ輸出生絲検査法施行前輸出ノ目的ヲ以テ買入ヲ了シ又ハ輸

出ノ委託ヲ受ケタル生絲ニシテ同法施行ノ際現ニ生絲検査所ノ所在地ニ存スルモノ

第三十五條 前條但書ノ承認ヲ受ケムトスル者ハ昭和二年七月三十一日迄ニ様式第十三號ノ申請書ヲ生絲検査所長ニ提出スベシ

第三十六條 生絲検査所長第三十四條但書ノ承認ヲ爲シタルトキハ様式第十四號ノ證書ヲ生絲ノ外裝ニ結附スベシ

收印 入紙

(出張)生絲正量検査請求書

検査號	手料數額	種別	春	秋	數	本
			黃	白	量	絲數
取相手方	製工場	製工場				
製工場	産地	産地				
記號	番號					
備考						

上記ノ生絲検査請求候也

年 月 日 住 所 氏 名(名稱)印

生絲検査所長宛

一 受渡確定前ノ生絲ニ付検査ヲ受ケルコトノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載スベシ

二 封印ノ施行ヲ希望セザルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載スベシ

三 検査済票ヲ以テ検査證ニ代フルコトヲ希望スルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載スベシ

四 公共團體ノ設ケル生絲検査所ニ提出スルモノニ在リテハ收入印紙ヲ貼附スベカラズ

生 絲 預 證

番 號	受 付 番 號	種 別	春	秋	數 量
			黃	白	

上記ノ生絲検査ノ爲預候也

年 月 日 住 所 氏 名(名稱)印

生絲検査所印

出張検査相受度候條御許可相成度左記事項ヲ具シ此段及申請候也

申請書

年 月 日 住 所 氏 名(名稱)印

生絲検査所長宛

一 検査ヲ受ケムトスル場所

二 検査場ノ構造、設備及坪數

三 衡器及検査用具ノ種類及員數

四 雜役從事者ノ數

検査ヲ受ケベキ生絲ノ豫定數量(一箇年ノ總數量及一日最高數量)

第三號 申請書

左記洋儀取引契約ニ基キ受渡生絲ニ付受渡確定前正量検査相受度候條御許可相成度此段及申請候也

年 月 日 住 所 氏 名(名稱)印

農林大臣宛

記

契約當事者ノ住所及氏名(名稱)

賣方

買方

製産工場名及其ノ所在地

受渡數量

受渡期日又ハ期間

契約締結ノ年月日

備考

受渡數量ハ目的、種別(春秋及黃白別)及銘柄(格又ハ商標別)ニ記載シ月割ニ依リ受渡ヲ爲スモノニ在リテハ月割内豫定數量ヲ記載スベシ

THE JAPANESE GOVERNMENT

SILK CONDITIONING HOUSE.

CERTIFICATE OF CONDITIONED WEIGHT.

Mark	No.
No.	(Location) (Date)
Certificate For	
Raw Silk one bale	
Shirt Weight	Kilos. Lba.
Tare	
Net Weight	
Conditioned Weight	
Director	

No alteration or correction is to be made in this certificate.

(四) 品位検査 每件 一本乃至四...

第三條 生絲ノ普通ノ検査ハ左ニ掲グル方法ニ依リテ之ヲ行フ

一 正量検査

(一) 一荷口ニ付テ行フ検査...

(二) 各儀又ハ各額ニ付テ行フ検査

各儀又ハ各額ニ付テ其ノ全量ヲ秤量シ其ノ全量中ヨリ其ノ風袋量及水分率検査...

量ヲ秤量シ其ノ全量中ヨリ風袋量ヲ扣除シテ其ノ原量ヲ算定スルモノトス

三 練減検査 三本ヲ三區ニ分テ其ノ二區ニ付各別ニ其ノ無水量ヲ求メタル後之ヲ精練シテ再ビ...

四 品位検査

(一) 甲検査 五十本ヲ供試料トシテ之ヲ五本宛ノ十區ニ分テ左ノ項目検査ノ全部又ハ一部ヲ行フ

(二) 再検査

供試料五區ハ各別ニ表ヨリ他ノ五區ハ各別ニ表ヨリ各本ニ付テ同轉數一分間同ノ速度ヲ以テ練返シ一時...

練度ヲ秤定シテ區毎ニ其ノ平均ヲ求メ更ニ其ノ十區平均ヲ算出シ之ニ對スル各口ノ練度偏差ノ平均ヲ算定ス...

練度偏差係數ハ別ニ定ムル探點規定ニ依リテ算定スルモノトス

五 練度偏差検査

(一) 甲検査 各本ヨリ練長五百メートルノ練條二口宛合計百口ヲ採リ「セリブレン」ヲ使用シ一口ヲ一區劃トシテ板ニ卷附...

(二) 乙検査

左ノ區別ニ依リテ練條ノ數ヲ其ノ連續練長五十メートル未滿、五十メートル以上百メートル未滿及百メートル以上ノ三種ニ區分シテ検査ス

Table with 2 columns: 練度偏差區別, 目的練度ニ對スル差. Rows include 極細, 細, 太, 極太.

額ノ數及小額ノ多數ヲ検査スルモノトス

額ノ數及小額ノ多數ヲ検査スルモノトス

六 額別検査

額別成續ハ別ニ定ムル探點規定ニ依リ大額ト小額ト各別ニ探點シ其ノ平均點ヲ以テ表スモノトス

七 強力及伸度検査

供試料各區ヨリ二本宛合計二十本ヲ採リ各本ニ付「スコット」セリブレンヲ使用シテ練條切斷ノ際ニ於ケル強力及伸度ヲ検査シ強力ハ「アニール」ニ對スルグラムヲ以テ、伸度ハ練條ノ伸長割合ヲ以テ之ヲ算定シ各其ノ平均ニ依リ強力及伸度ノ成續ヲ表スモノトス

各本ニ付テ同轉數一分間同ノ速度ヲ以テ練返シ一時同ノ練條ノ切斷數ヲ検査シ其ノ合計ヲ以テ再練成續ヲ表スモノトス

練條ノ伸長割合ヲ以テ之ヲ算定シ其ノ平均ニ依リ強力及伸度ノ成續ヲ表スモノトス

練條ノ伸長割合ヲ以テ之ヲ算定シ其ノ平均ニ依リ強力及伸度ノ成續ヲ表スモノトス

八 水分検査

生絲ノ全部ニ付テ其ノ原量ヲ算定シタル後其ノ無水量ヲ求メテ其ノ水分率ヲ求ムルモノトス

九 原量検査

前條ノ原量検査ノ方法ニ準ズルモノトス

練條ノ品位検査中乙検査ノ方法ニ準ズル項目検査及甲検査ノ方法ニ準ズル抱合検査ノ全部又ハ一部ヲ行フモノトス但シ依頼者ガ他ノ方法ヲ指定シタルトキハ之ニ依リテ行フ

練條ノ品位検査中乙検査ノ方法ニ準ズル項目検査及甲検査ノ方法ニ準ズル抱合検査ノ全部又ハ一部ヲ行フモノトス但シ依頼者ガ他ノ方法ヲ指定シタルトキハ之ニ依リテ行フ

十 品位検査

前條ノ品位検査中乙検査ノ方法ニ準ズル項目検査及甲検査ノ方法ニ準ズル抱合検査ノ全部又ハ一部ヲ行フモノトス但シ依頼者ガ他ノ方法ヲ指定シタルトキハ之ニ依リテ行フ

十一 練減検査

前條ノ練減検査ノ方法ニ準ズルモノトス

生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ定ムルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依リ

生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ定ムルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依リ

十二 強力及伸度検査

各本ニ付「セリブレン」ヲ使用シ一口ヲ採リ「セリブレン」ヲ使用シ一口ヲ一區劃トシテ板ニ卷附...

生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ定ムルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依リ

生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ定ムルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依リ

生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ定ムルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依リ

十三 額別検査

額別成續ハ別ニ定ムル探點規定ニ依リ大額ト小額ト各別ニ探點シ其ノ平均點ヲ以テ表スモノトス

強力及伸度検査 供試料各區ヨリ二本宛合計二十本ヲ採リ各本ニ付「スコット」セリブレンヲ使用シテ練條切斷ノ際ニ於ケル強力及伸度ヲ検査シ強力ハ「アニール」ニ對スルグラムヲ以テ、伸度ハ練條ノ伸長割合ヲ以テ之ヲ算定シ各其ノ平均ニ依リ強力及伸度ノ成續ヲ表スモノトス

強力及伸度検査 供試料各區ヨリ二本宛合計二十本ヲ採リ各本ニ付「スコット」セリブレンヲ使用シテ練條切斷ノ際ニ於ケル強力及伸度ヲ検査シ強力ハ「アニール」ニ對スルグラムヲ以テ、伸度ハ練條ノ伸長割合ヲ以テ之ヲ算定シ各其ノ平均ニ依リ強力及伸度ノ成續ヲ表スモノトス

十四 抱合検査

供試料各區ヨリ二本宛合計二十本ヲ採リ各本ニ付「スコット」セリブレンヲ使用シテ練條切斷ノ際ニ於ケル強力及伸度ヲ検査シ強力ハ「アニール」ニ對スルグラムヲ以テ、伸度ハ練條ノ伸長割合ヲ以テ之ヲ算定シ各其ノ平均ニ依リ強力及伸度ノ成續ヲ表スモノトス

生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ定ムルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依リ

生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ定ムルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依リ

生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ定ムルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依リ

十五 附則

本令ハ昭和二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號 様式

生絲 (正原練水 重量減分) 検査依頼書				收印 入紙	
検査 主 號	手 料 數 額				
種 別	春 黃	秋 白	數 量		
製工所 在 地	製 工 場				
記 號	香 號				
檢 査 手 順	普 特	通 別	備 考		
上記ノ生絲検査依頼候也					
年 月 日					
住 所					
氏 名(名稱)◎					
生絲検査所長宛					

備考
封印ノ施行ヲ希望セザルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載スベシ

第三號

生絲特別品位検査依頼書			
手 数 料 額	收印 入紙		
檢 査 香 號			
記 號			
種 別	春 黃	秋 白	檢 査 手 順
目 的 織 度	再 繰		
數 量	織 度		
製 産 工 場 所 在 地	絲 條 疵		
製 産 工 場	顯 節		
檢 査 依 頼 ノ 目 的	強 力 及 伸 度		
製 絲 法 概 要	抱 合		
備 考			
上記ノ生絲検査依頼候也			
年 月 日			
住 所			
氏 名(名稱)◎			
生絲検査所長宛			

備考
本則ニ定ムル検査方法以外ノ方法ニ依リ検査ヲ依頼セムトスルトキハ其ノ方法ヲ備考欄ニ記載スベシ


第二號

生絲普通品位検査依頼書												
検査香號												
記 號												
香 號												
種 別	春 黃	秋 白	春 黃	秋 白	春 黃	秋 白	春 黃	秋 白	春 黃	秋 白	春 黃	秋 白
目 的 織 度												
數 量												
件 數												
製 産 工 場 所 在 地												
製 産 工 場												
檢 査 方 法	甲 檢 査				乙 檢 査							
檢 査 手 順	再 繰	平 均 織 度	織 度 偏 差	絲 條 疵	顯 節	強 力 及 伸 度	抱 合	再 繰	織 度	絲 條 疵	顯 節	強 力 及 伸 度
備 考												
上記ノ生絲検査依頼候也												
年 月 日												
住 所												
氏 名(名稱)◎												
生絲検査所長宛												

第四號

生 絲 預 設			
香 號	受 香 付 號		
種 別	春 黃	秋 白	數 量
上記ノ生絲検査ノ爲預リ候也			
年 月 日			
生絲検査所◎			
殿			

第五號

 THE JAPANESE GOVERNMENT SILK CONDITIONING HOUSE.	
CERTIFICATE OF CONDITIONED WEIGHT.	
Mark	No.
No.	(Location) (Date)
Certificate for	
Raw Silk one	
Shirt Weight	Kilos. Lbs.
Tare	
Net Weight	
Conditioned Weight	
Direct or	
No alteration or correction is to be made in this certificate.	

大日本政府 生絲検査所

原量檢定證

記號 番號
番號 (場所) (年月日)

依頼者
生絲一

總全量	疋	兩
風袋量		
總原量		

生絲検査所長氏名

本證ノ文字ハ改竄セザルモノトス

第十一號

THE JAPANESE GOVERNMENT SILK CONDITIONING HOUSE.

CERTIFICATE OF NET WEIGHT.

Mark No. No. (Location) (Date)

Certificate for Raw Silk one

Shirt Weight	Kilos.	Lbs.
Tare		
Net Weight		

Director

No alteration or correction is to be made in this certificate.

第十號

大日本政府 生絲検査所

正量檢定證

記號 番號
番號 (場所) (年月日)

依頼者
生絲一荷口中ヨリ採取シタル
供試料絲 本ニ對スル原量
同上無水量

番號	總全量	風袋量	總原量	正量	量
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
計	疋	疋	疋	疋	正量ニ對スル (増減)量歩合 %

生絲検査所長氏名

本證ノ文字ハ改竄セザルモノトス

第七號

THE JAPANESE GOVERNMENT SILK CONDITIONING HOUSE.

CERTIFICATE OF CONDITIONED WEIGHT.

Mark No. from to No. from to (Location) (Date)

Certificate for Raw silk Original Weight of Sample Skeins taken from of the Lot Grms. Absolute Weight of Skeins Grms.

No.	Shirt Weight	Tare	Net Weight	Conditioned Weight
1	Kilos.	Kilos.	Kilos.	Kilos. Lbs.
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
Total	Kilos. Lbs.	Kilos. Lbs.	Kilos. Lbs.	Kilos. Lbs. (Increased Diminished) % on Conditioned Weight

Director

No alteration or correction is to be made in this certificate.

第六號

大日本政府 生絲検査所

練減檢定證

記號 番號
番號 (場所) (年月日)

依頼者
生絲

原量	%
無水量	
精練後無水量	
練減量	
練減百分率	%

生絲検査所長氏名

本證ノ文字ハ改竄セザルモノトス

第十三號

THE JAPANESE GOVERNMENT SILK CONDITIONING HOUSE.

CERTIFICATE FOR BOILING OFF.

Mark No. No. (Location) (Date)

Certificate for Raw Silk

Net Weight	Grms.
Absolute Weight	
Absolute Weight after Boil-off	
Loss in Boil-off	
Percentage of Loss in Boil-off	%

Director

No alteration or correction is to be made in this certificate.

第十二號

大日本政府 生絲検査所

正量檢定證

記號 番號
番號 (場所) (年月日)

依頼者
生絲一ヨリ採取シタル
供試料絲 本ニ對スル原量
同上無水量

總全量	疋	兩
風袋量		
總原量		
正量		
正量ニ對スル (増減)量歩合		%

生絲検査所長氏名

本證ノ文字ハ改竄セザルモノトス

第九號

THE JAPANESE GOVERNMENT SILK CONDITIONING HOUSE.

CERTIFICATE OF CONDITIONED WEIGHT.

Mark No. No. (Location) (Date)

Certificate for Raw Silk Original Weight of Sample Skeins taken from one Grms. Absolute Weight of Skeins Grms.

Shirt Weight	Kilos.	Lbs.
Tare		
Net Weight		
Conditioned Weight		
(Increased Diminished) % on Conditioned Weight		%

Director

No alteration or correction is to be made in this certificate.

第八號

第十四號

**THE JAPANESE GOVERNMENT
SILK CONDITIONING
HOUSE.**

CERTIFICATE OF MOISTURE.

Mark No.	No. (Location)	(Date)
Certificate for Raw Silk		
Net Weight	Grms.	
Absolute Weight		
Moisture		
Percentage of Moisture	%	
Director		

No alteration or correction is to be made in this certificate.

第十五號

**大日本政府
生絲検査所**

水分検査証

記號 番號	番號 (場所)	(年月日)
依頼者 生絲		
原量	%	
無水量		
水分量		
水分百分率	%	
生絲検査所長氏名		

本証ノ文字ハ改竄セザルモノトス

第十六號

**THE JAPANESE GOVERNMENT
SILK CONDITIONING
HOUSE.**

CERTIFICATE FOR QUALITY TESTING.

Mark No. Size	No. (Location)	(Date)		
Certificate for Raw Silk				
Sizing (Denier)	Evenness	Very Fine	Number	Length
		Fine		
Cleanness	Tenacity Elongation	Coarse		
		Very Coarse		
		Total		
Sum Total Total Weight Average Size	Winding	Major Defects	Number	
		Minor Defects		
		Neatness		
		Tenacity	Average Grms.	
		Elongation	%	
Total Breaks for 5 Skeins				
Director				

Winding: 100 revolutions per minute for an hour. The average size is calculated on the total weight. Evenness and cleanness are examined in 2500 metres.

No alteration or correction is to be made in this certificate.

第十七號

**大日本政府
生絲検査所**

品位検査証

記號 番號 目的織度	番號 (場所)	(年月日)		
依頼者 生絲				
機度 (デニール)	箇所	細斑	筒所	絲長
		細斑		
強伸 力度	類節	太斑		
		極太斑		
		合計		
		大	類	筒數
		中	類	
		小	類	
		強伸	力度	平均 %
		強伸	力度	%
二十口合計 總量 平均織度		再練	五本切斷數	
再練ハ一分間百回轉一時間トス 平均織度ハ總量ヨリ算出ス 絲條斑及類節ハ二千五百メートルニ付検査ス 生絲検査所長氏名				
本証ノ文字ハ改竄セザルモノトス				

**THE JAPANESE GOVERNMENT SILK
CONDITIONING HOUSE.**

CERTIFICATE FOR QUALITY TESTING.

Mark No. Size	No. (Location)	(Date)
Certificate for Raw Silk		
Recapitulation of Quality Tests.		
Winding Breaks	Average Size	Deniers
Size Deviation %	Evenness %	
Cleanness %	Test A %	
Major and Minor Defects %	Test B %	
Neatness %		
Tenacity Grms.	Elongation %	Stretches
(Temperature °F.)	Humidity %	

The tests are performed on fifty sample skeins divided in the different sections of five skeins each. Winding Test is performed at a speed of 100 revolutions per minute for one hour; the sample skeins from section No. 1 to No. 5 are wound from the surface of each skein, while those from section No. 6 to No. 10 from the reverse side. The average size is expressed on conditioned weight. Size Deviation Test is performed on 200 pieces of sizing skeins of 450 meters each, to find the average of deviations of individual sizing skeins toward the average size of 200 pieces. Evenness Test and Cleanness Test are performed on 100 panels by Seriplane; the length of raw silk thread of each panel is 500 meters. In part No. 3 figures in "A" of Evenness Test are showing number of evenness defects while figures in "B" the number of panels, and figures in "Major Defects" and "Minor Defects" of Cleanness Test are showing number of cleanness defects while figures in "Neatness" the number of panels. Tenacity and Elongation Test is performed by Scott Serigraph; Cohesion Test is performed by Duplan Cohesion Tester.

Director

No alteration or correction is to be made in this certificate. (Part No. 1)

第十八號

No.

WINDING TEST

No. of Section Breaks	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Average
-----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---------

SIZE DEVIATION TEST

No. of Section Breaks	No. of Skeins	No. of Panels	Sum Total	Average Size	Mean Deviation	Size Deviation %
1	1	1				
2	2	2				
3	3	3				
4	4	4				
5	5	5				
6	6	6				
7	7	7				
8	8	8				
9	9	9				
10	10	10				
Total						

Average of 10 Sections

(Part No. 2)

生絲検査手数料令

區	検査										合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
大	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1000
中	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
小	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	250
平均	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1000

(第三表)

生絲検査所規程

區	強	力	伸	度	指	合
平均	10	9	8	7	6	5
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

(第四表)

生絲検査手数料令

大正十五年八月二十一日
農林部令第一八八號

生絲検査手数料令
第一條 國ノ生絲検査所ニ輸出シテ其ノ公共
關稅ハ其ノ検査ニ關シ第一條及第三條ノ規
定ニ依ル手数料ト同額ノ手数料ヲ徵收スベ
シ

前項ノ手数料ハ前項ノ検査ヲ行フ公共關稅
ノ收入トス
附則
本令ハ輸出シテ其ノ検査ヲ行フ公共關稅
ノ收入トス

生絲検査所検査及鑑定手数料

二關スル件 昭和二年六月十六日
農林部令第十六號

生絲検査所検査及鑑定手数料ニ關スル件左ノ
通定ム

第一條 生絲検査手数料令第一條第二項ノ増
加手数料ヲ左ノ通定ム
一 出張検査ヲ請求 一俵ニ付 六十錢
二 水分率ヲ測定ス 一俵ニ付 一圓
三 增加手数料ノ割合、增加俵數 一圓
四 增加手数料ノ請求 一俵ニ付 一圓

第二條 生絲検査手数料令第二條第二項ノ規
定ニ依リ特別ノ検査ノ手数料ヲ左ノ通定ム
一 水分検査 一件ニ付 一圓
二 原量検査 一件ニ付 五十錢
三 練減検査 一件ニ付 二十錢
四 品位検査 一件ニ付 二十錢

第三條 生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ
他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ヲ依リテモトスル
者ハ一件ニ付一圓以上十圓以下ニ於テ生絲
検査所長ノ定ムル手数料ヲ納ムベシ

第四條 生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ
他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ノ成績書ノ原本ヲ
請求スル者ハ一通ニ付五錢ノ手数料ヲ納ム
ベシ

第五條 前二條ノ手数料ハ收入印紙ヲ以テ之
ヲ納ムベシ

第六條 公共關稅ガ輸出シテ其ノ検査第一條第
二項ノ規定ニ依リ其ノ生絲検査所ニ於テ生
絲ヲ以テ之ヲ納ムベシ

地方生絲検査所規程

大正九年八月十一日
農林部令第十九號

本令ハ昭和二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
附則
道府縣生絲検査所規程左ノ通定ム

第一條 本規程ニ於テ地方生絲検査所ト稱ス
ルハ北海道地方費、府縣費又ハ市費ヲ以テ
常置スルモノヲ謂フ

第二條 地方生絲検査所ノ産業職員左ノ如シ
所長
技師
主事
技手
主事補

第三條 地方生絲検査所ニ於テ行フ業務左ノ
如シ
一 生絲ニ關スル各種ノ検査
二 生絲検査ニ關スル各種ノ研究及調査
三 生絲ニ關スル講話、講習、傳習及質問應
答

第四條 地方生絲検査所ヲ設立セムトスル
キハ地方長官又ハ市長ハ左ノ事項ヲ具シ農
林大臣ノ認可ヲ受クヘシ支所ヲ設ケムトス
ルトキ亦同シ

第五條 地方生絲検査所ノ業務分擔
一 名稱及位置
二 業務ノ項目
三 用地ノ面積及建物ノ坪數
四 検査設備ノ種類、員數及其ノ検査能力
五 検査ニ關スル規程
六 職員ノ職名、員數及其ノ事務分擔

第六條 地方生絲検査所ノ業務分擔
一 名稱及位置
二 業務ノ項目
三 用地ノ面積及建物ノ坪數
四 検査設備ノ種類、員數及其ノ検査能力
五 検査ニ關スル規程
六 職員ノ職名、員數及其ノ事務分擔

第七條 地方生絲検査所ノ業務分擔
一 名稱及位置
二 業務ノ項目
三 用地ノ面積及建物ノ坪數
四 検査設備ノ種類、員數及其ノ検査能力
五 検査ニ關スル規程
六 職員ノ職名、員數及其ノ事務分擔

第八條 地方生絲検査所ノ業務分擔
一 名稱及位置
二 業務ノ項目
三 用地ノ面積及建物ノ坪數
四 検査設備ノ種類、員數及其ノ検査能力
五 検査ニ關スル規程
六 職員ノ職名、員數及其ノ事務分擔

第九條 地方生絲検査所ノ業務分擔
一 名稱及位置
二 業務ノ項目
三 用地ノ面積及建物ノ坪數
四 検査設備ノ種類、員數及其ノ検査能力
五 検査ニ關スル規程
六 職員ノ職名、員數及其ノ事務分擔

輸出絹織物取締法

昭和二年三月三十一日
法律第二十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經テ輸出絹織物取締法
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 輸出絹織物ハ命令ノ定ムル所ニ依リ
輸出絹織物検査所ノ検査ニ合格シタルモノ
ニ非ザレバ權利ノ目的ヲ以テ之ヲ輸出スル
コトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ主務大臣

第二條 輸出絹織物検査所ノ設置
一 検査所ノ設置
二 検査所ノ業務
三 検査所ノ設備
四 検査所ノ職員

第三條 輸出絹織物検査所ノ業務
一 検査所ノ業務
二 検査所ノ設備
三 検査所ノ職員

ノ許可ヲ受ケル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第二條 主務大臣ハ輸出絹織物ノ運賃ノ維持
向上ヲ圖ルガ爲メ輸出絹織物ノ關スル増量ノ
制限禁止ノ品質標準ヲ制定スベキ表示其ノ
他ノ事項ニ付取締上必要ナル命令ヲ發シ得
ルコトヲ得
第三條 輸出絹織物ノ精練業ハ命令ヲ定ムル
所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレ
バ之ヲ營ムコトヲ得ズ
第四條 主務大臣ハ輸出絹織物ノ精練業ハ染
色ニ關スル工場設備ノ作業方法ノ使用材料其
ノ他ノ事項ニ付輸出絹織物ノ品質ノ維持向
上ヲ圖ルガ爲メ必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分
ヲ爲スコトヲ得
第五條 輸出絹織物ノ精練業者其ノ業務ニ關
シ本法若ハ本法ニ基キテ發シタル命令又ハ之
ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害ス
ベキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ第三
條ノ許可ヲ取消スコトヲ得
第六條 當該官吏取締上必要アリト認ムルト
キハ工場、店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ
物品、帳簿其ノ他ノ物件ノ検査ヲ爲スコト
ヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ證券ヲ携帯スベ
シ
第七條 輸出絹織物ノ検査ニ關シ之ニ附シタ
ル輸出絹織物検査所ノ印章又ハ記號ハ正當
ノ理由ナクシテ之ヲ抹消、除却又ハ隠蔽ス
ルコトヲ得ズ
前項ノ印章又ハ記號ヲ抹消、除却又ハ隠蔽
シタル輸出絹織物ハ之ヲ輸出スルコトヲ得
ズ
第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以
下ノ罰金ニ處ス
一 第一條又ハ前條第二項ノ規定ニ違反シ
輸出絹織物ヲ輸出シ又ハ輸出セントスル
所爲シタル者
二 第三條又ハ前條第一項ノ規定ニ違反シ

タル者
三 第二條ノ規定ニ依ル命令又ハ第四條ノ
規定ニ依ル命令若ハ處分ニ違反シタル者
第九條 正當ノ理由ナクシテ第六條ノ規定ニ
依リ當該官吏ノ臨檢検査ヲ拒ミ、妨グ若ハ
忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若
ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ
罰金ニ處ス
第十條 輸出絹織物ニ關スル營業者ハ其ノ代
理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業
者ガ本法若ハ本法ニ基キテ發シタル命令又ハ
之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自
己ノ指揮ニ出テザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ
免ルコトヲ得ズ
第十一條 本法若ハ本法ニ基キテ發シタル命令
又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルニ依
リ輸出絹織物ニ關スル營業者ニ適用スベキ
罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締
役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、
未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定
代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者
ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此
ノ限ニ在ラズ
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
輸出絹織物ニ關スル本法ニ基キテ發シタル
命令又ハ處分ニ違反シタル者ニ對シテ
本法施行ノ際ニ輸出絹織物ニ關スル營業者
ノ許可ヲ受ケテ輸出絹織物ノ精練業ヲ營ム者ハ第
三條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス
本法施行前ニ府縣ノ輸出絹織物検査所ノ検査
ニ合格シタル輸出絹織物ハ第一條ノ規定ニ拘
ラズ之ヲ輸出スルコトヲ得
本法施行前ニ製織シタル輸出絹織物ニシテ前
項ノ規定ニ該當セザルモノハ本法施行ノ日ヨ
リ一月内ニ輸出絹織物検査所ノ認定ヲ受ケ本
法施行ノ日ヨリ六月間第一條ノ規定ニ拘ラズ
之ヲ輸出スルコトヲ得

輸出絹織物取締法施行規則

(昭和二年勅令第三百五十九號ヲ以テ同三年一月十五日ヨリ施行)

昭和二年十二月二十六日 商工省令第十二號

第一章 總則
第一條 輸出絹織物ト稱スルハ本細則ニ於テ製
織シタル輸出絹織物及絹織物ト稱スルモノヲ指
ス但シ交織シタル輸出絹織物ニシテ其ノ絹
織ノ數地經緯線ノ三分ノ一以上ヲ占ムルモ
ノニシテ幅十八吋以上長十二碼半以上ノモ
ノヲ指ス
第二條 絹織ト稱スルハ本細則ニ於テ製織
シタル野蠻絹及野蠻紡績絹ヲ指ス
第三條 輸出絹織物ト稱スルハ輸出絹織物
中輸出絹織物、輸出生絹織物、輸出薄絹、輸
出絹織物、輸出縮絹、輸出出、輸出縮絹(野蠻紡
績絹ヲ使用シタルモノヲ含ム)及輸出富士
絹ヲ指ス
第四條 輸出絹織物ト稱スルハ精練シタル
絹織物ト稱スルモノヲ指ス
第五條 輸出絹織物取締法第六條ノ規定ニ依
リ製織シタル絹織物ノ検査ニ合格シタル
モノハ本法施行ノ日ヨリ各號ノ一ニ該當
スルモノハ此ノ限ニ在ラズ
第六條 精練シタル輸出絹織物及輸出縮絹
織物ハ輸出絹織物検査所ノ検査ニ合格シタ
ルモノニ非ザレバ權利ノ目的ヲ以テ之ヲ輸
出スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ一ニ該當
スルモノハ此ノ限ニ在ラズ
一 錫鹽類ヲ施用シタル輸出絹織物
二 染色シタル輸出絹織物
三 手巾「マフラー」類ノ連製ノ生地
四 輸出縮絹ニシテ野蠻絹以外ノ纖維ヲ

混合紡績シタル野蠻紡績絹ヲ使用シタ
ルモノ
五 輸出富士絹ニシテ家蠶纖維以外ノ纖維
ヲ混紡績シタル絹織物ヲ使用シタ
ルモノ
第七條 前條ノ検査ニ不合格ト爲リタルモノ
ト雖モ其ノ仕向地又ハ用途ニ依リ輸出絹織
物ノ評價ヲ害スル虞ナキ場合ニ限り商工大
臣ノ許可ヲ受ケテ之ヲ輸出スルコトヲ得
前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ様式第二號
ノ許可申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ
第八條 確實ナル信用ヲ有スル製織業者其ノ
製織シタル輸出絹織物ニ第九條ノ申請書ニ
記載シタル登録商標ヲ使用スル場合ニ於テ
ハ商工大臣ノ許可ヲ受ケ第六條ノ検査ヲ免
除又ハ第二十七條ノ合格印章捺捺ノ省略ヲ
受クルコトヲ得
第九條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ
事項ヲ記載シタル申請書ヲ商工大臣ニ提出
スベシ
一 氏名又ハ名稱及住所
二 當該製品ノ種類及規格
三 當該製品ニ使用スル登録商標並ニ其ノ
登録番號及登録年月日
前項第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ變更セ
ントスルトキハ商工大臣ノ許可ヲ受ケベ
シ
第十條 第一號ニ掲グル事項ヲ變更シタルト
キハ連帶テ商工大臣ニ届出スベシ
第十一條 商工大臣第八條ノ規定ニ依リ許可ヲ
爲シタルモノハ左ノ事項ヲ告示ス告示シタ
ル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ
一 氏名又ハ名稱及住所
二 當該製品ノ種類
三 當該製品ニ使用スル登録商標及登録番
號
第十二條 第八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタ
ル者法令ニ違反シ若ハ信用ヲ毀損スル行爲
ヲ爲シタルトキ又ハ商工大臣ニ於テ取締上
必要アリト認メタルトキハ商工大臣ハ其ノ

許可ヲ取消スコトヲ得
第十二條 第六條ノ検査ヲ受ケタル後精練、
整理、漂白其ノ他ノ加工又ハ切断ヲ爲シタ
ルモノハ其ノ検査ハ效力ヲ失フ
第十三條 輸出絹織物ノ検査ヲ受ケントスル
者ハ様式第三號ノ検査請求書ヲ輸出絹織物
検査所長ニ提出スベシ
第十四條 検査ヲ受ケキ輸出絹織物ハ出張検査ヲ請
求スル場合ヲ除ク外検査請求書ニ添ヘ之
ヲ輸出絹織物検査所長ニ提出スベシ
第十五條 検査請求書ノ日及時間並ニ一日ノ検査
數量ハ輸出絹織物検査所長ノ定ムル所ニ依
リ之ヲ行フ
第十六條 輸出絹織物検査所ノ検査ハ検査ニ
支障ナキ場合ニ限り出張検査ヲ行フコト
ヲ得
第十七條 出張検査ヲ受ケントスル者ハ豫メ様
式第四號ノ申請書ヲ輸出絹織物検査所長ニ
提出シテ其ノ許可ヲ受ケルベシ
第十八條 前條ノ検査ヲ受ケタル者ハ其ノ検査
ニ必要ナル設備及備役從事者ヲ備ヘ且其ノ
使用ニ要スル一切ノ費用ヲ負擔スベシ
第十九條 検査完了品ハ輸出絹織物検査所ノ
指示ニ從ヒ検査請求者ニ於テ所外ニ搬出ス
ベシ検査未了品及輸出絹織物ノ整理前檢
査済品ニ付亦同シ此ノ場合ニ於テハ検査未
了品搬出證又ハ整理前檢査済品交付書ヲ
前項ノ検査未了品又ハ整理前檢査済品ヲ再
ヒ搬入スル場合ニ於テハ検査未了品搬出證
又ハ整理前檢査済品提出書ヲ提出スベシ
第二十條 輸出絹織物検査所ノ爲シタル検査
ニ異議アル者ハ検査ノ日ヨリ起算シ十日内
ニ再検査ヲ請求スルコトヲ得
第二十一條 前項ノ請求ハ様式第五號ノ再検査請求書ニ
添ヘ現品ヲ輸出絹織物検査所長ニ提出シテ
之ヲ爲スベシ
第二十二條 第六條ノ検査ハ左ノ各號ニ掲グル
事項ニ付之ヲ行フ
一 品位
二 原料及原絲ノ加工
三 製織

二 精練、漂白及整理
三 長及幅
四 瑕疵、汚染及脚切
五 其ノ他本則ニ依リ合格又ハ不合格ヲ定
ムルニ必要ナル事項
第十九條 量目ノ検査ハ精練及乾燥充分ナル
モノニ付秤量シテ之ヲ行フ
第二十條 長ノ検査ハ織物ノ兩端末間ヲ測定
シテ之ヲ行フ
第二十一條 幅ノ検査ハ片耳ヲ除キ置尺ニ依
リ測定シテ之ヲ行フ
第二十二條 第六條ノ検査ノ結果ハ之ヲ合格
及不合格ニ分シ
第二十三條 輸出絹織物ニシテ整理ヲ行フ
モノハ整理ノ前後二回検査ヲ行ヒ合格及不
合格ヲ決定ス
第二十四條 精練シタル輸出絹織物ニシテ
左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ合格タルモ
トヲ得ズ
一 輸出絹織物ニシテ生絹織物及輸出縮絹
ニシテ本細則以外ノ種類ヲ輸出縮絹、
輸出縮絹及輸出出ニシテ本細則又ハ節
絲以外ノ種類ヲ交織シタルモノ
二 輸出絹織物ニシテ野蠻絹及野蠻紡績絹以
外ノ種類ヲ交織シタルモノ
三 輸出富士絹ニシテ絹紡績絹以外ノ種類
ヲ交織シタルモノ
四 輸出縮絹及輸出出ニシテ節絲ヲ交織シ
タルモノ但シ其ノ絹織物ノ兩端末ヨリ一
寸以上ノ所ニ於テ綠色絹織物ヲ以テ幅一
分以上ノ線ヲ織込ミタルモノヲ除ク
五 輸出絹織物ニシテ野蠻紡績絹ノミナラズ
製織シタルモノ又ハ野蠻紡績絹ヲ交織
シタルモノ但シ其ノ絹織物ノ兩端末ニ綠
色絹織物以上ヲ經緯シテ織込ミタル
モノヲ除ク

二 五分間ノ經緯又ハ緯線ノ密度左表ノ數
ニ滿タザル箇所多キモノ

Table with columns: 品, 種, 包, 附, 經緯數, 緯緯數, 備考. It lists specifications for various types of silk and cotton fabrics, including thread counts and density requirements.

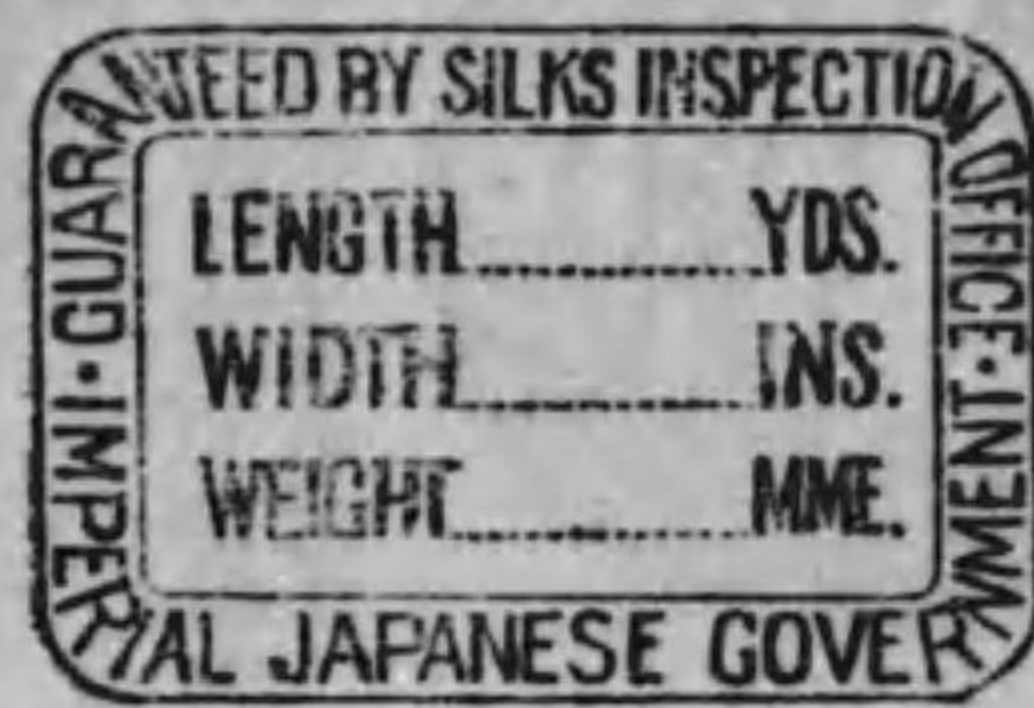
Table with columns for '品目' (Item), '主' (Main), '地' (Local), '合' (Combined), and '備考' (Remarks). It lists various textile products like '平琥珀' (Flat Amber), '縲縲' (Woolen), and '縲縲' (Woolen) with their respective specifications and standards.

Textual regulations regarding textile products, including sections on '第三章 増量其ノ他ノ取締' (Chapter 3: Increase in quantity and other regulations) and '第四章 精練及染色ノ取締' (Chapter 4: Regulations on refining and dyeing).

Textual regulations regarding textile products, including sections on '第三章 精練及染色ノ取締' (Chapter 3: Regulations on refining and dyeing) and '第四章 精練及染色ノ取締' (Chapter 4: Regulations on refining and dyeing).

Textual regulations regarding textile products, including sections on '第三章 増量其ノ他ノ取締' (Chapter 3: Increase in quantity and other regulations) and '第四章 精練及染色ノ取締' (Chapter 4: Regulations on refining and dyeing).

第二十七條 第一項第一號ノ印章(赤色ヲ用フ)



備考 LENGTHノ次ニハ長(碼) WIDTHノ次ニハ幅(吋) WEIGHTノ次ニハ量目(包)ニ相當スル數ヲアラビヤ文字ヲ以テ表示ス



四 不合格印章(黒色ヲ用フ)



備考 圓内ニハ第二十七條第二項ニ依ルル附ニ相當スル數ヲアラビヤ文字ヲ以テ表示ス



五 瑕疵、汚染及剛切ノ印章(黒色ヲ用フ)



取消ノ印章(赤色ヲ用フ) 数字取消印章 其ノ他ノ取消印章 終印章(赤色ヲ用フ) 剛切印章 汚染印章 輸出絹織物検査規程 輸出絹織物検査規程 輸出絹織物検査規程

規定ニ依リ出張検査ヲ許可セントスルトキハ商工大臣ノ指揮ヲ受ケベシ 第三條 輸出絹織物取締法第五項ノ規定ニ依リ認定シタルトキハ當該輸出絹織物ニ第四條 輸出絹織物取締法施行規則第十六條ノ検査未了品搬出證又ハ整理前検査済證ハ第五條 輸出絹織物検査所、支所及出張所ニ定章帳ヲ備フベシ 第六條 検査品ハ全部検査臺ニ掛ケ幅三十六吋未満ノモノニ在リテハ一分間五十碼以内ノ速力、幅三十六吋以上ノモノニ在リテハ一分間四十碼以内ノ速力ヲ以テ之ヲ通過セシメ左ノ點ニ付検査ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テ検査員ノ意見一致セザルトキハ他ノ検査員ノ意見ヲ參照シテ多數ニ依リ之ヲ決スベシ 第十三條 精練シタル輸出絹織物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ輸出絹織物取締法施行規則第二十四條第五號ノ品位劣等ナルモノトシテ之ヲ取扱フベシ 一 原絲又ハ原絲ノ加工者シテ不良ナルモノ

六 洗濯不足、香味過度若ハ硬軟不適度ナルモノ又ハ練斑、練寄、石鹼滓附著、紋若ハ原絲又ハ原絲ノ加工者シテ不良ナルモノ 七 二シテ青味附シタルモノ 八 六包附以上ノ輸出平羽二重ニシテ硬味附シタルモノ 九 前各號ノ一ニ該當スル程度ニ至ラザルモノ

織込ナキモノ又ハ間帯ナキモノトシテ之ヲ取扱フベシ 第十八條 合格品ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル程度ノ瑕疵アルトキハ之ヲ表示スベシ 一 原絲又ハ原絲ノ加工者シテ不良ナルモノ 二 原絲又ハ原絲ノ加工者シテ不良ナルモノ

在リテハ半折シタル片側ノ中央部ニ之ヲ押捺スベシ 第二十二條 合格印章ハ織物ノ一端ニ、長、幅及量目ノ印章ハ他ノ一端ニ各其ノ中央部ニ之ヲ押捺スベシ 第二十三條 原絲又ハ原絲ノ加工者シテ不良ナルモノ

第七條 病畜又は有害動物輸入又は移入スル者ハ其ノ病畜又は有害動物ニ感染シタル船舶ノ入港後速即チ本國稅關ニ申告シテ検査スル事ヲ以テ税關ニ検査ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ植物検査官定期間ヲ指定シテ輸入植物採取法第三條ノ規定ニ依リ許可書又ハ其ノ旨ノ提出ヲ命ジタルトキハ申請人ハ其ノ期間内ニ之ヲ提出スヘシ

第八條 植物検査官更ハ第二條又ハ前條第一項ノ申請書トシテ検査スルコトヲ得

第九條 第二條第三條若ハ第七條第一項ノ申請書ヲ受テヘキ者ハ植物検査官更ノ指示ニ從テ検査ヲ受テヘキ物又ハ受テタル物ノ運搬、荷役、貯蔵其ノ他ノ處置ヲ爲スル事ハ植物検査官更ノ指示ニ從テ爲ス

第十條 第一條第一項ノ植物検査官更ノ指示ニ從テ検査ヲ受テタル者ハ第五條第一項ノ規定ニ從テ検査スルコトヲ得

第十一條 輸出入植物採取法ニ依リ検査ヲ受テヘキ物ノ植物検査官更ノ指示ニ從テ検査スルコトヲ得

第十二條 小包郵便物ノ通關手續ヲ爲スヘキ郵便局又ハ特ニ指定シタル郵便局ハ輸出入植物採取法ニ依リ輸入又ハ移入ニ付検査ヲ受テヘキ物ヲ包含スル小包郵便物ノ通過ヲ受テタルトキハ其ノ旨ヲ税關ニ通知スヘシ

第十三條 第七條第二項ノ規定ハ小包郵便ニ依リ病畜又ハ有害動物輸入又ハ移入スル場合ニ於テ其ノ名宛人ニ付之ヲ準用ス

第十四條 輸出又ハ移出地ノ官憲ニ於テ病畜又ハ有害動物ニ感染セサルコトヲ證明シタル検査官更ノ指示ニ從テ輸入スルコトヲ得

第十五條 植物検査官更検査ノ結果取締上支障ナシト認めタルトキハ輸入又ハ移入スルモノニ在リテハ第六條第一項ノ規定又ハ證明書トシテ輸出スルモノニ在リテハ第七條第一項ノ規定ニ從テ輸入スルコトヲ得

第十六條 植物検査官更植物其ノ他ノ物ヲ検査、運搬若ハ貯蔵シテ又ハ其ノ輸入、移入若ハ輸出ヲ禁止スルコトキハ第二條第三條第七條第一項若ハ第十條ノ申請書ヲ爲シタル者、第四條若ハ第八條第二項ノ通告ヲ受テヘキ者、第十四條第一項ノ届出ヲ爲シタル者又ハ郵便物ノ名宛人ニ其ノ旨ヲ通告シ且運搬アル郵便局ニ之ヲ通知スヘシ

第十七條 警察官更輸出入植物採取法第八條第一項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ税關ニ通知スヘシ

第十八條 第二條第六條第二項、第七條第一項、第九條、第十條、第十一條第二項又ハ第十四條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十九條 運輸、荷役、貯蔵又ハ差押ニ關シテハ間接罰則則者處分法施行規則ヲ準用ス

附則
本則ハ輸出入植物採取法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本則ヨリ移入スル植物ニ付テハ當分ノ内検査ハ之ヲ省略シ第十一條ノ規定ハ之ヲ適用セ

第一號様式
植物検査(移)入検査申請書
左記ノ通關(移)入致度候ニ付検査相成度此段申請候也

年月日
何税關(何税關支署)御中

積載船舶ノ船種、船名
入港月日
輸(移)出港名
荷送人住所氏名
荷受人住所氏名
物 類 數 價額 産 地 備考

備考
一 植物ノ類別ハ(一)果樹(二)觀賞植物(三)森林植物(以上何レモ苗木ヲ含ム)(四)接穂、接芽、挿木類(五)種子(六)地下莖及根(七)根莖ノ果實(八)馬鈴薯(九)其ノ他ノ區別ニ依リ記載スルコト
一 價額ハ原價ニ檢(移)入諸掛費ヲ加算シタルモノヲ記載スルコト

第二號様式
植物輸出検査申請書
左記ノ通關出度候ニ付検査相成度此段申請候也

年月日
何税關(何税關支署)御中

積載船舶ノ船種、船名
出港月日
輸入國政府ノ輸入許可年月日及番號

住所 氏名
職業 氏名

荷送人住所氏名
荷受人住所氏名
物 類 數 價額 産 地 生産者住所氏名

備考
一 種類ハ柿、扁柏等植物ノ種類ノ名稱ヲ記載シ且苗、接穂、種子等ノ如キモノニ付テハ其ノ區別ヲ明ニスルコト
一 價額ハ輸出ノ時ニ於ケル原價ヲ記載スルコト
一 申請ノ際輸入國政府ノ輸入許可ヲ得サルモノ又ハ之ヲ要セザルモノハ許可年月日及番號ノ記載ヲ要セス

第三號様式
病畜(害蟲)検査(移)入許可申請書
左記ノ通關(害蟲)検査(移)入致度候ニ付許可相成度此段申請候也

年月日
農商務大臣 殿
住所 氏名
職業 氏名

病畜(害蟲)ノ普通名稱及學名
輸(移)入ノ目的
發送人ノ住所職名氏名
輸送方法(小包郵便以外ノ貨物ノ區別)ノ方法
輸送中培養(飼育)ノ方法
傳播防止ノ設備
輸(移)入ノ後
小包郵便以外ノ貨物トシテ輸入スル場合ニ於テハ其ノ輸(移)入姓名
其ノ備考トナルヘキ事項

年月日
何税關(何税關支署)御中

農商務大臣ノ輸(移)入許可年月日及番號
病畜(害蟲)ノ普通名稱及學名
種類 數
農商務大臣ノ許可ヲ得タル輸(移)入港名
積載船舶ノ船種、船名及入港月日

第五號様式
郵便ニ依ル植物検査(移)入検査申請書
左記ノ通關(移)入致度候ニ付検査相成度此段申請候也

年月日
何税關(何税關支署)御中

配達ヲ受ケタル月日
郵便物ノ種類
差出人ノ住所氏名
郵便物ヲ開キタルトキ又ハ郵便物ノ包装ヲ變更シタルトキハ其ノ事由

植物検査合格證票
植物検査合格證票
植物検査合格證印
植物検査合格證
植物検査官 検査印
何税關

住所 氏名
職業 氏名

第四號様式
病畜(害蟲)検査(移)入検査申請書
左記ノ通關(移)入致度候ニ付検査相成度此段申請候也

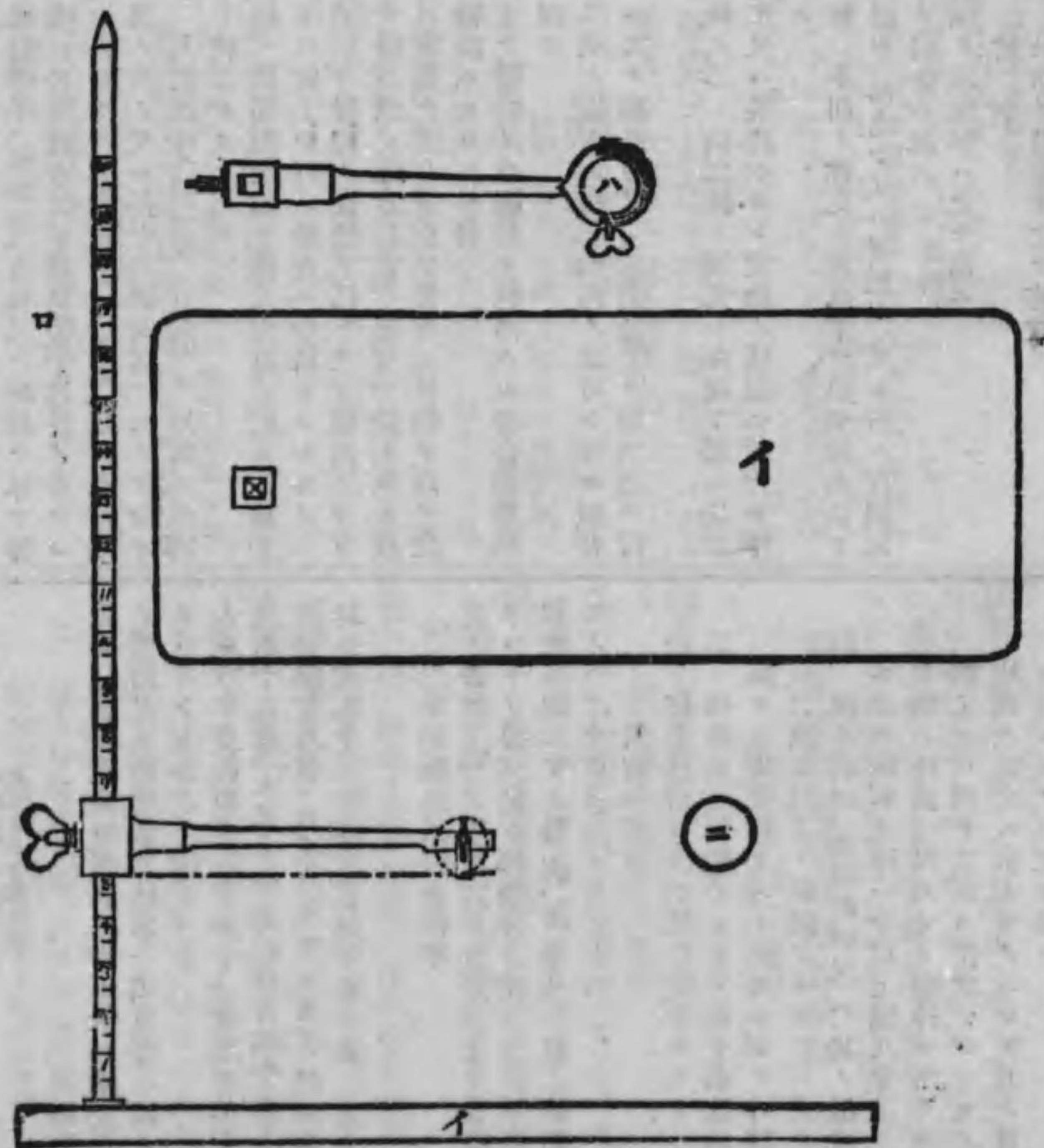
第十六條 產物 第二章 商業 第七款 商品検査及取締

植物検査合格證印
植物検査合格證票
植物検査合格證
植物検査官 検査印
何税關

- 一〇 朽腐シタルモノ
- 一一 乾燥不十分ナルモノ
- 一二 色澤均齊ナラザルモノ又ハ汚染ノ目立ツモノ
- 一三 麻質田又ハ麻ヲ主要原料トスル眞田ニシテ商標ニ反シ原料ノ合致セザルモノ
- 一四 麻質田又ハ麻ヲ主要原料トスル眞田ニシテ青色シタル物ヲ用キ結束シタルモノ
- 一 頭等ノ乾燥不完全ニシテ發火良好ナラザルモノ
- 二 火登良好ナラザルモノ
- 三 燃焼ノ際著シク煤煙ヲ發スルモノ
- 四 發火ノ際爆發スルモノ
- 五 黃燐燐寸及硫燐燐寸ノ頭等ニ在リテハ六時間、其ノ他ノ燐寸ノ頭等及廉價燐寸ニ在リテハ三時間燐寸四十度乃至四十一度ニ於テ水蒸氣ヲ飽和セル空氣中ニ放置シタル後完全ニ發火シ得ザルモノ
- 六 黃燐燐寸及硫燐燐寸ノ頭等ニシテ燐寸七十五度ニ於ケル空氣中ニ一時間放置スルトキ自然ニ發火スルモノ
- 七 軸木ノ五厘角以下ナルモノ、其ノ齊一ナラザルモノ又ハ汚損セルモノ
- 八 頭等ノ附著セザル軸木、頭等ノ附著不十分ナル軸木又ハ折軸ノ混入數一包ハ小

- 一 至形ナルモノ
- 二 冷シノ不十分ナルモノ
- 三 泡、筋又ハ節ノ多キモノ
- 四 素地透明ナラザルモノ
- 五 仕上不良ナルモノ
- 六 損傷アルモノ
- 七 鏡象ニシテ耐壓力一平方吋ニ付四十至五度未滿ノモノ
- 八 麥酒燐寸ニシテ燐寸六十五度、日本酒燐寸ニシテ燐寸百度ノ温度ニ耐ヘザルモノ
- 九 曹達燐寸又ハラム燐寸ニシテ耐壓力一平方吋ニ付百封度未滿ノモノ
- 一〇 模造眞珠又ハ光珠ニシテ時日ノ経過又ハ氣候ノ變化ニ因リ變色又ハ變色スルモノ
- 一 疋形ナルモノ
- 二 色澤鮮明ナラザルモノ
- 三 仕上不良ナルモノ
- 四 別記第一號樣式ノ檢定器ヲ用キ一尺五寸ノ高ヨリ重量五十知ノ鐵球ヲ落下セシムルトキ其ノ破損面ノ下附磁器全ク割落スルモノ
- 五 別記第一號檢定器ノ別記第二號樣式ノ標紙ヲ見易キ箇所ニ貼付セザルモノ
- 六 別記第一號檢定器ノ別記第三號樣式ノ標紙ヲ見易キ箇所ニ貼付セザルモノ

(別記) 第一號樣式



- 一 蓋板 厚八分
- 二 目盛棒 二尺迄目盛ヲ有スル鐵棒
- 三 支持環 内徑一寸二分二厘
- 四 鐵球 徑一寸二分ノ鋼鐵球

又ハ幅ノ不同著シキモノ但シ特殊ノ場合ニ於テ豫メ之ヲ表示シタルモノニシテ表示ノ數ニ滿ラズトキハ此ノ限ニ在ラズ

七 瑕疵、汚染其ノ他ノ缺點著シキモノ

八 前各號ノ一二該當スルニ至ラザルモノ前各號ヲ參照シテ不良ト認ムルモノ

九 人造眞珠

第二號樣式



長徑一寸
短徑六分五厘
輪ノ幅五厘
輪及文字ハ赤トス

第三號樣式

- 一 商標ニ合致セザル寸法ニ仕立タルモノ但シ正當ノ事由アルモノヲ除ク
- 二 組合物ニシテ品位、形狀又ハ大著シク不同ナルモノ
- 三 甚シク粗笨ナル生地又ハ不當ニ引延シタル生地ヲ使用シタルモノ
- 四 厚均等ナラザルモノ
- 五 精練、漂白、染色、起毛若ハ整理著シク不良ナルモノ又ハ容易ニ變色若ハ褪色スルモノ
- 六 瑕疵、汚染其ノ他ノ缺點目立ツモノ
- 七 縫目粗雑ナルモノ、縫目ナル縫線ヲ使用シタルモノ又ハ生地ノ伸度ニ耐ハザル縫合ヲ爲シタルモノ
- 八 人造絹絲ヲ使用シテ其ノ旨ヲ明示セザルモノ
- 九 無錫其ノ他ノ附屬品ノ品質著シク不良ナルモノ又ハ其ノ附方粗雑ナルモノ
- 一〇 著シク粗惡ナル原料ヲ使用シタルモノ又ハ不正ノ加工ヲ爲シタルモノ

- 一 前各號ノ一二該當スルニ至ラザルモノ前各號ヲ參照シテ實用ニ適セズト認ムルモノ
- 一 刷子
- 二 生地ニ龜裂アルモノ又ハ毛植穴ニ開アルモノ
- 三 生地ノ質ヲ詐リテ記號ヲ附シタルモノ
- 四 生地ニ生木其ノ他乾燥不十分ナル物ヲ使用シタルモノ
- 五 毛ノ軟弱キモノ
- 六 毛ノ折レ易キモノ
- 七 毛ノ折レ易キモノ
- 八 木製又ハセルロイド柄刷子ニシテ其ノ毛植ニ龜裂、三十四番ヨリ細キ眞鍮線若ハ亞鉛線線又ハ十番ヨリ細キカタン線若ハ麻線線ヲ使用シタルモノ但シ直徑三厘以下ノ細キ穴ノ刷子ニシテ三十五番又ハ三十六番ノ眞鍮線若ハ亞鉛線線ヲ使用シタルモノヲ除ク
- 九 刷子ノ毛植ニカタン線、麻線線又ハ眞鍮線線以外ノ線ヲ使用シタルモノ
- 一〇 刷子ニシテ毛植ニ龜裂、三十番ヨリ細キカタン線若ハ麻線線又ハ三十三番ヨリ細キ針金ヲ使用シタルモノ
- 一一 刷子ニシテ人造毛又ハ植物纖維ヲ使用シタルモノ
- 一二 刷子柄ニシテ毛植部生地甚ク薄キモノ
- 一三 セルロイド柄ノ刷子ニシテ頭部生地ノ甚ク薄キモノ
- 一四 前各號ノ一二該當セザルモノ實用ニ適セズト認ムルモノ
- 一 變形又ハ變色ノ廣アル生地其ノ他不良ノ生地ヲ使用シタルモノ
- 二 生地が製品ノ大ニ比シ薄キニ過ケルモノ
- 三 形體正シカラザルモノ
- 四 甚シク瑕疵アルモノ

- 一 裝飾物ノ脱落シ易キモノ
- 二 接合部ノ離レ易キモノ
- 三 仕上不良ナルモノ
- 四 離脱シ又ハ溶解シ易キ彩色ヲ施セルモノ
- 五 輪軸ニシテ長六寸未滿ナルモノ
- 六 輪ニシテ齒、齒元又ハ齒先ノ甚シク不揃ナルモノ
- 七 玩具ニシテ其ノ彩色有毒ナルモノ
- 八 玩具ニシテ彈力乏シキ接觸用護蓋紐又ハ不完全ナル附屬品ヲ使用シタルモノ
- 九 前各號ノ一二該當セザルモノ實用ニ適セズト認ムルモノ
- 一〇 鉛筆及鉛筆心
- 一一 心ノ折レタルモノ又ハ折レ易キモノ
- 一二 心ノ素質不均一ナルモノ
- 一三 心ノ硬實實用ニ適セザルモノ
- 一四 心ノ中心ニ在ラザルモノ
- 一五 心ノ折レタルモノ
- 一六 心ノ硬キニ過ケルモノ
- 一七 心ノ曲レタルモノ
- 一八 心ノ木口正シカラザルモノ
- 一九 心ノ塗ガ剥落又ハ變色スル廣アルモノ
- 二〇 心ノ塗ガ又ハ心ノ鍍金が著シク粗惡ナルモノ
- 二一 心ノ仕上不良ナルモノ
- 二二 心ノ瑕疵アルモノ其ノ他柄ノ不完全ナルモノ
- 二三 兩切普通鉛筆ニシテ長五寸六分未滿ナルモノ
- 二四 護蓋又ハ金具其ノ他附屬品ノ不完全ナルモノ
- 二五 前各號ノ一二該當スルニ至ラザルモノ
- 一 甚シク地合粗笨ナルモノ
- 二 地質ノ脆弱ナルモノ
- 三 製紙不良ナルモノ
- 四 染色不良ナルモノ
- 五 精練、漂白、整理其ノ他ノ加工不良ナルモノ
- 六 商標ニ反シ幅、長、量目不足ナルモノ

輸出石鹼取締規則

大正四年六月二十五日
農商部令第十號
改正 大正五年第六號

- 一 輸出石鹼取締規則左ノ通定ス
- 一 第一條 濃粉、乾粉、粘土其ノ他農商務大臣ノ指定スル物料ヲ混和シタル石鹼ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ非サレハ權利ノ目的ヲ以テ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ但シ本則施行後二年ヲ限リ混和物ノ量百分中二十未滿ノ石鹼ニ付ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 混和物ノ量百分中二十以上ノ石鹼ハ本則施行後二年ヲ限リ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ輸出スルコトヲ得
- 三 第二條 前條ノ規定ニ依リ認可申請書ニハ石鹼ノ名稱、商標、混和物料名及其ノ混和割合輸出先ヲ記載シ製品見本ヲ添付スヘシ認可申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セザトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受ケヘシ
- 三 第三條 第一條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受

ケ輸出スル石鹼ニ別記式ニ依リ標章ヲ各小箱ノ蓋ノ内面及外箱ノ表面ニ明瞭ニ表示ス...



●輸出飲食物標章取締規則 大正十三年農商省令第八號...

●輸出獸毛製刷子取締規則 大正十三年農商省令第八號...

●染料ノ輸入許可ニ關スル件 大正十三年農商省令第六號...

●「ラノラレカンパ」(積木)輸移出取締ニ關スル件 大正十二年二月二十七日...

大正十三年農商省令第八號第一條第一號及第二號ノ物品ノ關稅定率法輸入稅表中別表ノ香及品名ニ該當ス

●暴利ヲ目的トスル賣買ノ取締ニ關スル件 大正十三年農商省令第二十號...

●内地產物ノ輸出取締規則 大正十三年農商省令第八號...

●内地產物ノ輸出取締規則 大正十三年農商省令第八號...

●黃燐燐寸製造禁止法 大正十三年農商省令第八號...

●内地產物ノ輸出取締規則 大正十三年農商省令第八號...

●内地產物ノ輸出取締規則 大正十三年農商省令第八號...

●内地產物ノ輸出取締規則 大正十三年農商省令第八號...

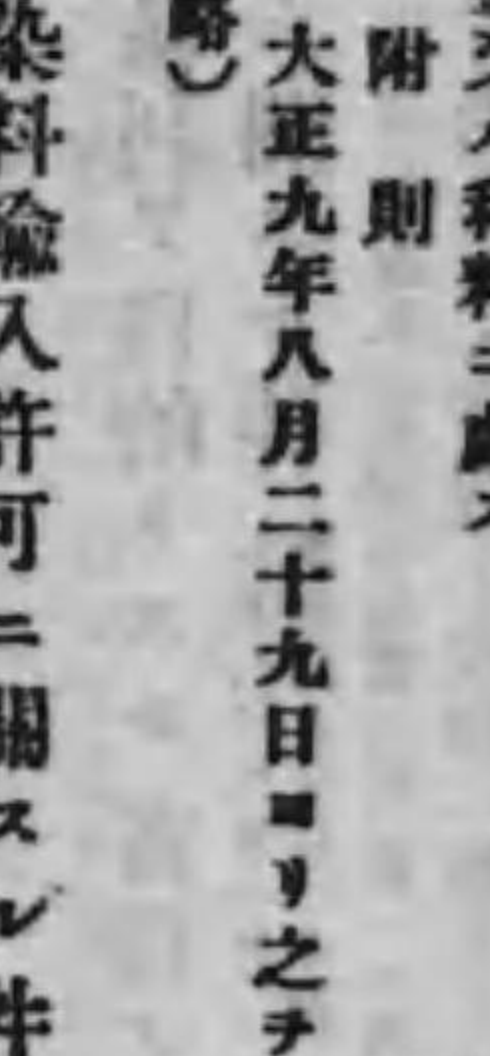
又ハ輸出出テ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス



甲號ハ朝鮮總督府管轄地以外ノ地ニ於テ、乙號ハ朝鮮總督府管轄地ニ於テ之ヲ使用ス

●植栽又ハ接木用果樹樹苗其ノ枝幹及根ノ輪移入取締ニ關スル件

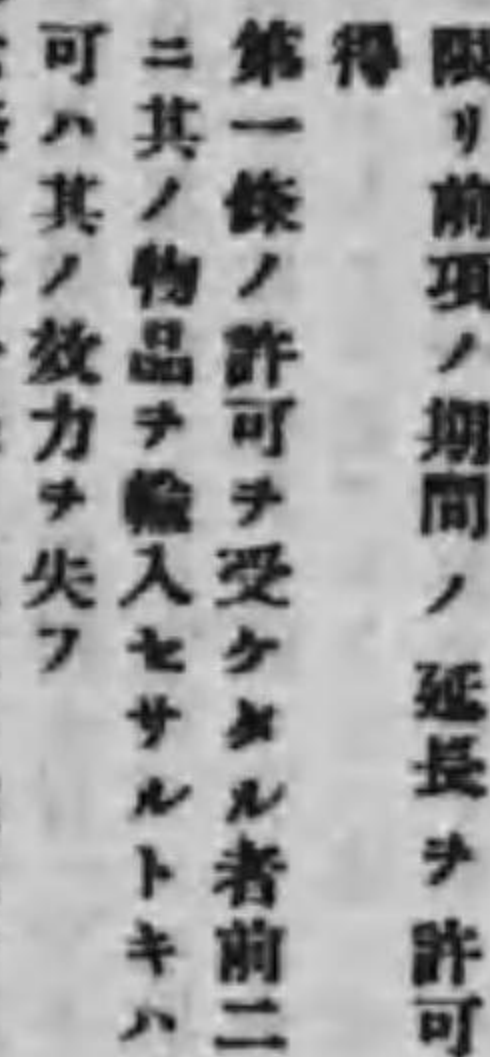
地ノ税關ニ於テ消毒ヲ爲シタルモノヲ除ク



本令ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

●染料輸入許可ニ關スル件

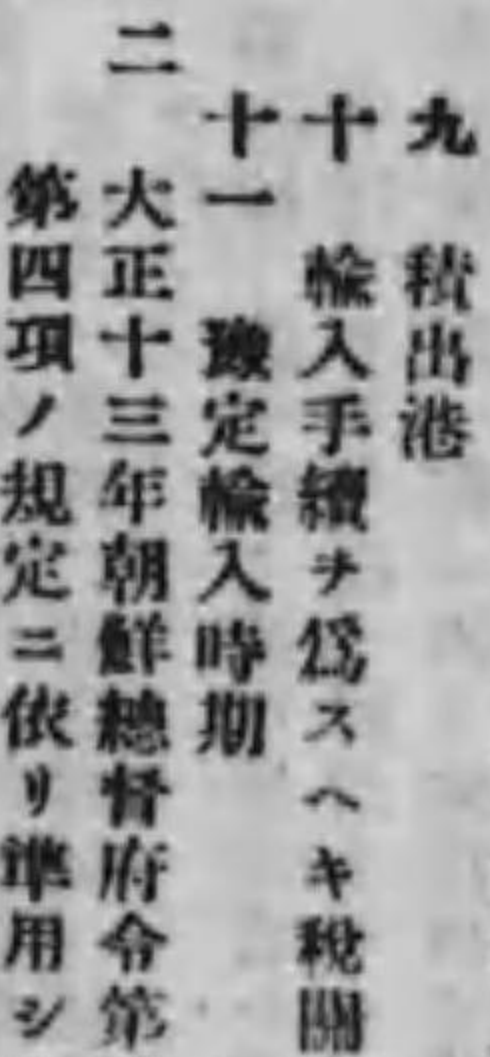
二届出ツヘシ



本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●肥料取締ニ關スル件

一 商品名



本令ハ大正十三年八月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

在リテハ五十枚、高サ三尺以内トス

●肥料取締ニ關スル件

一 肥料取締ニ關スル件

一 肥料取締ニ關スル件

一 肥料取締ニ關スル件

第一號様式 検査員ノ證

Form for inspection officer's certificate, including fields for name, position, and date.

第二號様式 検査証明(肉色一等赤、二等赤、等外黒)

Form for inspection certificate, featuring various regional seals and a date field.

Form for inspection certificate with regional seals for areas like 道南成, 道南安平, etc.

Form for inspection certificate with regional seals for areas like 道北安平, 道原江, etc.

Form for inspection certificate with regional seals for areas like 道南成, 道南安平, etc.

Form for inspection certificate with regional seals for areas like 道何, 道何.

Form for inspection certificate with regional seals for areas like 道何, 道何.

Form for inspection certificate with regional seals for areas like 道何, 道何.

●輸出入植物取締法施行規則

Regulations for the control of plant import and export, detailing procedures and requirements.

(別表)

Table listing specific plant species and their respective control measures.

●臺灣帽子検査規則

Regulations for the inspection of hats from Taiwan, including material and manufacturing standards.

Article 1: Domestic shipping regulations for plants and fruits.

Article 2: Regulations for plant inspection and certification.

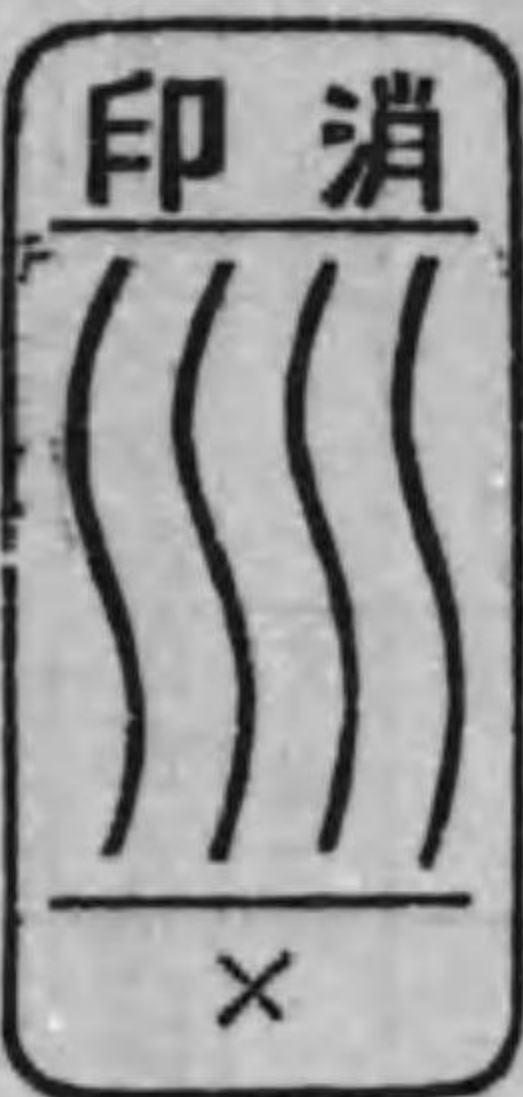
Article 3: Regulations for plant import and export control.

Article 4: Regulations for hat inspection and control.

第四號様式 (黒色) 横縦 一一・五釐



第五號様式 (赤色) 直徑七・六釐



Xハ検査所名トス



Xハ検査所名トス

第六號様式 第一四型 横 二〇釐

風梨罐詰検査證明書

備考	種	類	數	量	検査	印
右ハ本所ノ検査ニ合格シタルコトヲ證明ス						
年月日						

検査所 氏名
検査員 氏名
名印

GOVERNMENT OF FORMOSA CANNED-PINEAPPLE INSPECTION CERTIFICATE No. Place..... Date.....

Can Mark	Kind of Content	Packages	Inspector's stamp on the case

Summary

This is to certify that the above mentioned goods have been inspected and passed by the inspector of Government of Formosa and that they are suitable for food being not treated with chemical preservatives nor with any other else that is injurious to health.

President..... Inspector.....



染料輸入ニ關スル件

染料ノ輸入許可ニ關スル件左ノ通定ム
第一條 當分ノ内左ニ掲ケル物品ヲ輸入セムトスル者ハ別ニ定ムル手續ニ依リ...

城アトキハ所轄支廳長ニ差出スヘシ

第三條 第一條ノ規定ニ違反シタル者ハ七十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處シ同條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

ル者ハ運滯ナク其ノ物品ノ商品名及通稱又ハ學名、漢名、數量、關稅達到者見込價格並製...

記載シタル許可申請書又ハ届書ヲ臺灣總督ニ提出スヘシ
一 商品名及漢名
二 通稱又ハ學名
三 數量

第二二〇番 人造香料
第二二二番 人造香料
第二二九番 人造香料

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前第一條ノ許可ヲ受ケヘキ物品ノ註文ヲ發シタル者本令施行後二週内ニ別ニ定...

第一五八番ノ内 サリチール酸
第二〇三番ノ内 サツカリン
第二〇八番 コールタール分留物ヨリ誘導シタル化學的生成品...

木材ノ移出又ハ輸出ニ關スル件
第一條 移出又ハ輸出シタル丸太、角材又ハ板類...

關東州輸入果樹及櫻樹取締規則
第一條 左ニ該當スル果樹又ハ櫻樹ヲ輸入シ又ハ運付...

農商務省植物検査所ノ病害蟲ヲキムノ證
明アルモノハ前項ノ検査ヲ要セス但シ別記
第三號様式ニ依リ輸入果樹(櫻桃)申告書ヲ
最寄附検査場所ニ差出スヘシ

第二條 樹苗検査ハ樹苗検査場所在地ノ民
政署長、民政支署長及關東廳農事試驗場長
ノ管理ニ屬ス

樹苗検査場ヲ行フヘキ場所ハ別ニ之ヲ告示ス
第二條ノ二 樹苗検査官吏ハ第一條ノ二ノ規
定ニ依リ検査施行ノ結果樹苗ニ病害又ハ害
蟲附著スト認ムルトキハ直ニ之ヲ消毒シ又
他處ニシテ又ハ樹苗發送人ニ返送セシムヘ
シ

樹苗検査官吏ハ本令ノ規定ニ違反セル樹苗
ヲ所持シ又ハ植附シタルモノニシテ病害又
ハ害蟲附著スト認ムルトキハ之ヲ消毒シ又
ハ他處ニシムヘシ

第二條ノ三 本令ニ依リ検査ノ爲生シタル損
害ニ付テハ官ハ其ノ責任ニ任セス

第三條 左ノ各款ノ一ニ該當スル者ハ二百圓
以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第一條、第一條ノ二及第二條ノ二ノ規
定ニ違反シタル者

二 許諾ノ行爲ヲ以テ検査ヲ免レタル者

三 検査ヲ受ケルニ當リ詐欺ノ行爲アリタ
ル者

附則
本令ハ大正十二年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス
(別記様式略ス)

第三章 工業

工場法

明治四十四年三月二十九日
法律第四十九號
改正 大正十二年第三號
昭和四年第二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル工場法ヲ裁可シ茲
ニ之ヲ公布セシム(國務大臣署名)

工場法
第一條 本法ハ左ノ各款ノ一ニ該當スル工場
ニ之ヲ適用ス

一 常時十人以上ノ職工ヲ使用スルモノ
二 事業ノ性質危險ナルモノ又ハ衛生上有害
ノ虞アルモノ

本法ノ適用ヲ必要トセザル工場ハ勅令ヲ以
テ之ヲ除外スルコトヲ得

第二條 削除
第三條 工業主ハ十六歳未満ノ者及女子ヲシ
テ一日ニ付十一時間ヲ超エテ就業セシムル
コトヲ得ス

主務大臣ハ業務ノ種類ニ依リ本法施行後十
五年間ヲ限リ前項ノ就業時間ヲ二時間以内
延長スルコトヲ得

就業時間ハ工場ヲ異ニスル場合ト前二項
ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ通算ス

第四條 工業主ハ十六歳未満ノ者及女子ヲシ
テ午後十時ヨリ午前五時ニ至ル間ニ於テ就
業セシムルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可
ヲ受ケタルトキハ午後十一時迄就業セシム
ルコトヲ得

第五條 削除
第六條 削除
第七條 工業主ハ十六歳未満ノ者及女子ニ對
シ毎月少クとも二回ノ休日ヲ設ケ、一日ノ
就業時間六時間ヲ超ユルトキハ少クとも一
三十分、十時間ヲ超ユルトキハ少クとも一
時間ノ休憩時間ヲ就業時間中ニ於テ設ケハ
シ

前項ノ休憩時間ハ一齊ニ之ヲ與フヘシ但シ
行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ
在ラス

夏季ニ於テ一時間ヲ超ユル休憩時間ヲ設ケ
ル場合ニ於テハ工業主ハ行政官廳ノ許可ヲ
受ケルコトヲ得

シ工場ノ管理ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルト
キハ此ノ限ニ在ラス

工業主ハ第九條ニ依リ工業主ニ代ル者
ハ職工ノ年勤ヲ知ラザルノ故ヲ以テ本法ノ
處罰ヲ免ルルコトヲ得ス但シ工業主又ハ第
十九條ニ依リ工業主ニ代ル者及取扱者ニ過
失ナカリトシテハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 本法ニ依リ行政官廳ノ處分ニ不
服アル者ハ訴訟ヲ提起シ違法ニ權利ヲ侵害
セラレタルトシテハ行政訴訟ヲ提起ス
ルコトヲ得

第二十四條 主務大臣ハ第一條ニ該當セザル
工場ニシテ原動力ヲ用フルモノニ付テハ第
三條、第四條、第七條乃至第九條、第十一條、
第十三條、第十四條、第十六條及第十八條乃
至第二十三條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得但
シ第三條ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ其
ノ適用後二年以内同條ノ就業時間ヲ一時
間以内延長スルコトヲ得

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命
令ハ工場管理ニ關スル規定及罰則ヲ除ク
外官立又ハ公立ノ工場ニ之ヲ適用ス

官立工場ニ關シテハ所轄官廳ハ本法又ハ本
法ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政官廳ニ屬
スル職務ヲ行フ

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正五年勅令第五百五十六號ヲ
以テ同年九月一日ヨリ施行)
附則(大正十二年法律第三十三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法中十六歳トアルハ本法施行後三年間ハ之
ヲ十五歳トス

職工ニ二組以上ニ分テ案件ニ就業セシムル場
合ニ於テハ本法施行後三年間ハ第四條ノ規定
ヲ適用セズ

前項ノ規定ニ依リ十五歳未満ノ者及女子ヲシ
テ

受ケ其ノ超ユル時間以内就業時間ヲ延長ス
ルコトヲ得但シ其ノ延長時間ハ一時間ヲ超
ユルコトヲ得ス

第八條 天災事變ノ爲又ハ事變ノ虞アル爲必
要アル場合ニ於テハ主務大臣ハ事業ノ種類
及地域ヲ限リ第三條、第四條及前條ノ規定
ノ適用ヲ停止スルコトヲ得

避ケヘカラサル事由ニ因リ臨時必要アル場
合ニ於テハ工業主ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ
期間ヲ限リ第三條ノ規定ニ拘ラス就業時間
ヲ延長シ、第四條ノ規定ニ拘ラス十六歳以
上ノ女子ヲ就業セシムヘシ又ハ前條ノ休日ヲ廢
スルコトヲ得

臨時必要アル場合ニ於テハ工業主ハ其ノ都
度職ノ行政官廳ニ届出テ一月ニ付七日ヲ超
エサル期間就業時間ヲ二時間以内延長スル
コトヲ得

季節ニ依リ繁忙ナル事業ニ付テハ工業主ハ
一定ノ期間ニ付職ノ行政官廳ノ認可ヲ受ケ
其ノ期間中一年ニ付百二十日ノ割合ヲ超エ
サル限リ就業時間ヲ一時間以内延長スルコ
トヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ認可ヲ受ケタ
ル期間内ハ前項ノ規定ヲ適用セズ但シ急遽
ニ腐敗シ又ハ變質スル原料又ハ材料
ノ損失ヲ防ク爲必要ナル場合ニ於テハ繼續
四日以上ニ亘ラス且一月ニ付七日ヲ超エサ
ル限リ行政官廳ノ許可ヲ受ケルコトヲ得セ
ス

第九條 工業主ハ十六歳未満ノ者及女子ヲシ
テ運轉中ノ機械若ハ動力傳導裝置ノ危險ナ
ル部分ノ掃除、注油、検査若ハ修繕ヲ爲サシ
メ又ハ運轉中ノ機械若ハ動力傳導裝置ニ調
整、調整ノ取附若ハ取外シヲ爲サシメ其
ノ他危險ナル業務ニ就カシムルコトヲ得ス
第十條 工業主ハ十六歳未満ノ者ヲシテ毒藥、
劇藥其ノ他有毒物品又ハ爆發性發火性若ハ
引火性ノ物品ヲ取扱フ業務及若シク塵埃、

粉末ヲ飛散シ又ハ有害瓦斯ヲ發散スル場所
ニ於ケル業務其ノ他危險又ハ衛生上有害ナ
ル場所ニ於ケル業務ニ就カシムルコトヲ得
ス

第十一條 前二條ニ掲ケタル業務ノ範圍ハ主
務大臣ノ規定ニ依リ之ヲ定ム

第十二條 主務大臣ハ病者又ハ産前産後若ハ
生兒哺育中ノ女子ノ就業ニ付制限又ハ禁止
ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第十三條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ
工場及附屬建設物並設備力危害ヲ生シ又ハ
衛生、風紀其ノ他公益ヲ害スル虞アリト認
ムルトキハ豫防又ハ除害ノ爲必要ナル事項
ヲ工業主ニ命令シ必要ト認ムルトキハ其ノ全
部又ハ一部ノ使用ヲ停止スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ工業主ニ命
ジタル事項ニ付必要ナル事項ヲ職工又ハ徒
弟ニ對シ命スルコトヲ得

第十四條 當該官吏ハ工場若ハ其ノ附屬建設
物ニ臨檢シ又ハ就業ノ禁止制限ヲ爲スヘキ
疾病若ハ傳染ノ虞アル疾病ニ罹レル疑アル
職工若ハ徒弟ノ檢診ヲ爲スコトヲ得此ノ場
合ニ於テハ其ノ證明ヲ携帯スヘシ

第十五條 工業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ職
工業務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタ
ル場合ニ於テ本人又ハ其ノ遺族若ハ本人ノ
死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル
者ヲ扶助スヘシ

第十六條 職工徒弟、職工徒弟ヲラトスル
者若ハ工業主又ハ其ノ法定代理人若ハ工場
管理ニ關スル職工徒弟又ハ職工徒弟ヲラトス
ル者ノ戸籍ニ關シテ事務ヲ管掌スル者又
ハ其ノ代理人ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムル
コトヲ得

第十七條 職工ノ雇入、解雇、周旋ノ取締及徒

弟ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 工業主ハ工場ニ付一切ノ權限ヲ有
スル工場管理ニ付任スルコトヲ得

工業主ハ本法施行區域内ニ居住セザルトキハ
工場管理ニ付任スルコトヲ得

工場管理ニ付任スル者ハ行政官廳ノ認可ヲ受
クヘシ但シ法人ノ理事、會社ノ業務ヲ執行ス
ル社員、會社代表者、社員、取締役、業務
擔當社員其ノ他法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代
表スル者及支配人ノ中ヨリ選任スル場合ハ
此ノ限ニ在ラス

第十九條 前條ノ工場管理ニ付任スル者ハ本法
ニ基キテ發スル命令ノ適用ニ付テハ工業主ニ
代ルモノトス但シ第十五條ニ付テハ此ノ限
ニ在ラス

工業主營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有
セザル未成年者若ハ精神障害者ナル場合又ハ
法人ナル場合ニ於テ工場管理ニ付任スル者
其ノ法定代理人又ハ理事、業務ヲ執行スル
社員、會社代表者、社員、取締役、業務擔當
社員其ノ他法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表ス
ル者ニ付亦前項ニ同シ

第二十條 工業主又ハ前條ニ依リ工業主ニ代
ル者若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ
之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ千
圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 正當ノ理由ナクシテ當該官吏ノ
職權ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ
對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又
ハ職工若ハ徒弟ノ檢診ヲ妨ケタル者ハ五百
圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條 工業主又ハ第九條ニ依リ工業
主ニ代ル者若ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、
雇人其ノ他ノ從業者ニ付テハ本法若ハ本法ニ
基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分
ニ違反シタルトキハ自己ノ指彈ニ出テサ
ルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得

シ工場ノ管理ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルト
キハ此ノ限ニ在ラス

工業主又ハ第九條ニ依リ工業主ニ代ル者
ハ職工ノ年勤ヲ知ラザルノ故ヲ以テ本法ノ
處罰ヲ免ルルコトヲ得ス但シ工業主又ハ第
十九條ニ依リ工業主ニ代ル者及取扱者ニ過
失ナカリトシテハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 本法ニ依リ行政官廳ノ處分ニ不
服アル者ハ訴訟ヲ提起シ違法ニ權利ヲ侵害
セラレタルトシテハ行政訴訟ヲ提起ス
ルコトヲ得

第二十四條 主務大臣ハ第一條ニ該當セザル
工場ニシテ原動力ヲ用フルモノニ付テハ第
三條、第四條、第七條乃至第九條、第十一條、
第十三條、第十四條、第十六條及第十八條乃
至第二十三條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得但
シ第三條ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ其
ノ適用後二年以内同條ノ就業時間ヲ一時
間以内延長スルコトヲ得

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命
令ハ工場管理ニ關スル規定及罰則ヲ除ク
外官立又ハ公立ノ工場ニ之ヲ適用ス

官立工場ニ關シテハ所轄官廳ハ本法又ハ本
法ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政官廳ニ屬
スル職務ヲ行フ

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正五年勅令第五百五十六號ヲ
以テ同年九月一日ヨリ施行)
附則(大正十二年法律第三十三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法中十六歳トアルハ本法施行後三年間ハ之
ヲ十五歳トス

職工ニ二組以上ニ分テ案件ニ就業セシムル場
合ニ於テハ本法施行後三年間ハ第四條ノ規定
ヲ適用セズ

第一條第一項第二號ニ該當スルモノトス

一 海劑物又ハ海劑藥ノ製造

二 動物ノ製煉

三 水銀ヲ用フル計器ノ製造

四 水銀筒ヲ用フル魔法鏡ノ製造

五 鉛ヲ用フル鏡ノ製造

六 玻璃製器又ハ玻璃藥ノ製造

七 糖料、顔料、印刷用インキ又ハ繪具ノ製
造

八 亞硫酸瓦斯、ククロール、瓦斯又ハ水素
瓦斯ヲ用フル事業

九 硫磺ノ精製

一〇 「チアソ」加里又ハ硝酸鹽ヲ用フル金
屬ノ熱處理

一一 「フアクチス」ノ製造

一二 脂肪油ノ精製

一三 「ボイル」油ノ製造

一四 乾燥油又ハ溶劑ヲ用フル撥革紙布又
ハ防水紙布ノ製造

一五 溶劑ヲ用フル保護製品ノ製造

一六 溶劑又ハ「ラバーセメント」ヲ用フル
保護製品ノ製造

一七 溶劑ヲ用フル油脂ノ採取

一八 溶劑ヲ用フル芳香油ノ製造

一九 溶劑ヲ用フル野草毒ノ殺滅

二〇 溶劑ヲ用フル模造眞珠ノ製造

二一 溶劑ヲ用フル「ドライクリ」ニシテ
(單ニ拂拭スルモノヲ除ク)

二二 溶劑ヲ用フル材料ノ製造

二三 「タンニン」酸ノ製造

二四 合成染料又ハ其ノ中間物ノ製造

二五 「セルロイド」ノ製造、加熱加工又ハ
銅機ヲ用フル加工

二六 硝化綿ノ製造

二七 「コロナム」ヲ用フル紙製製品ノ製
造

二八 「エーテル」ノ製造

第二十九條 工場主前條第四條ノ認可ヲ申請スルニハ左ノ事項ヲ具備スヘシ
 一 徒弟ノ年令
 二 指導者ノ資格
 三 教育ノ事項及期間
 四 就業ノ方法及一日ニ於ケル就業ノ時間
 五 休日及休息ニ關スル事項
 六 品性修養ニ關スル監督ノ方法
 七 罰則ノ方法
 八 第三十條ノ規定ニ依リ設ケル規程
 九 徒弟契約ノ條項
 第十條 徒弟未成年者又ハ女子ナル場合ニ於テハ其ノ就業ニ付十六歳未満ノ者又ハ女子ニ關スル工場法ノ規定ニ準據シテ危險ヲ避ケ及衛生上ノ害ヲ防クノ方法ヲ定ムヘシ
 第三十一條 地方長官ハ工業主ニ於テ第二十八條第四號ノ規程ニ遵ハシ又ハ徒弟教育ノ目的ヲ完クスルコト能ハスト認ムルトキハ之ヲ修正スルニ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ第二十八條第四號ノ認可ヲ取消スルコトヲ得
 第三十二條 第二十八條ノ條件ヲ具備セザル者ニ對シテハ工業主ニ於テ徒弟ノ名義ヲ用ルルニ拘ラス職工ニ關スル工場法及本令ノ規定ヲ適用スル第二十八條第四號ノ認可ヲ取消スルコトキ從來ノ徒弟ニ付亦同シ
 第五節 罰則
 第三十三條 工業主ヲシテ不正ニ扶助義務、賃金支拂ノ義務、職工ノ貯蓄金返還ノ義務若ハ第二十七條第一項ノ規定ニ依リ義務全部若ハ一部ヲ免レシメタル者又ハ第二十七條ノ二ノ規定ニ違反シテ雇傭契約ヲ解除セシメタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ其ノ者ノ所爲ニ付工場法第二十二條ノ規定ニ依リ工業主又ハ之ニ代ル者ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
 第三十四條 罰則
 第三十五條 罰則
 第三十六條 罰則
 第三十七條 本令ハ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十八條 第二十四條ノ規定ハ本令施行後一年間本令施行前ノ契約ニ之ヲ適用セス
 賃金ノ支拂期ニ關シテ第二十二條ノ規定ニ異ル慣習アルトキハ工業主ハ地方長官ノ許可ヲ受ケ本令施行後三年內其ノ慣習ニ依リ支拂期ヲ延長セサル限度ニ於テ支拂期ヲ定ムルノ契約ヲ爲スコトヲ得
 第三十九條 本令施行ノ際工場法ノ適用ヲ受ケル工場ノ工業主ハ本令施行ノ日ヨリ四月內ハ第十九條第二十一條、第二十二條、第二十五條及第二十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得
 本令施行ノ際職工ノ貯蓄金ヲ管理シ又ハ尋常小學校ノ教科ヲ修了セサル學齡兒童ヲ雇傭シ若ハ徒弟トシテ收容スル工業主前項ノ期間內ニ第二十五條、第二十六條又ハ第三十條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ申請シタルトキハ之ニ對シテ行政處分アル迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得
 第四十條 現行ノ命令ハ工場法又ハ本令ニ抵觸セザル限リ本令施行ノ爲メ其ノ效力ヲ妨ケラズルコトナシ
 第四十一條 本令ニ定ムルモノノ外主務大臣及地方長官ハ職工ノ雇入、解雇、周旋ノ取締其ノ他本令施行ノ爲メ必要ナル事項ニ關シ命令ヲ發スルコトヲ得
 第四十二條 本令中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ府廳廳長トス
 附則(大正五年勅令第五百五十三號)
 第一條 本令ハ大正十二年法律第三十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第二條 從前ノ規定ニ依リ扶助ヲ受ケル者本令施行後引續キ扶助ヲ受ケルコトキ本令施行前ニ扶助ヲ受ケテ治療シタル負債又ハ疾病カ本令施行後再發シテ扶助ヲ受ケルコトキ亦同シ
 第三條 本令施行ノ際大正十二年法律第三十三號又ハ本令ノ規定ニ依リ新ニ工場法ノ適用ヲ受ケル工場ノ工業主カ本令施行前ニ適

シタル契約ニ付テハ第二十四條ノ規定ハ本令施行後一年間之ヲ適用セス
 前項ノ工業主ハ賃金ノ支拂期ニ關シテ第二十二條ノ規定ニ異ル慣習アルトキハ地方長官ノ許可ヲ受ケ本令施行後二年內其ノ慣習ニ依リ支拂期ヲ延長セサル限度ニ於テ支拂期ヲ定ムルノ契約ヲ爲スコトヲ得
 第四條 尋常小學校ノ教科ヲ修了セサル學齡兒童ヲ使用スル場合ニ於テハ工業主ハ遲滞ナク就業ニ關シ必要ナル事項ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受ケハシ
 第五條 附則第三條第一項ノ工業主ハ本令施行ノ日ヨリ四月內ハ第二十二條、第二十五條及前條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得
 附則第三條第一項ノ工業主職工ノ貯蓄金ヲ管理シ又ハ尋常小學校ノ教科ヲ修了セサル學齡兒童ヲ引續キ使用スル場合ニ於テ前項ノ期間內ニ第二十五條又ハ前條ノ認可ヲ申請シタルトキハ之ニ對シテ行政處分アル迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得
 第六條 本令中第十六條トアルハ本令施行後三年間ハ之ヲ十五歲トス
 ●工場法施行規則 大正五年八月三日
 改正 大正五年內務省令第三號
 工場法施行規則ノ制定
 第一條 工場法施行令第一條ノ規定ニ依リ原動機ハ蒸汽機、蒸汽タービン、瓦斯機、石油機、タービン水車、ベルト水車及電動機トス
 第二條 工場法第四條及第七條ノ規定ニ依リ許可ノ申請ハ地方長官ニ之ヲ爲スヘシ同法第八條ノ規定ニ依リ許可若ハ認可ノ申請又ハ届出ニ付亦同シ
 第三條 機械生絲製造ノ業務、紡績ノ業務及地方長官ノ告知シタル工場ニ於ケル輸送機、織機ノ業務ニ付テハ工業主ハ大正二十年八月三十一日ニ至ル間ハ十六歳未満ノ者及女子

子ノ一日ノ就業時間ヲ十二時間迄延長スルコトヲ得但シ職工ヲ二組以上ニ分テ交替ニ就業セシムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
 第四條 工場法第八條第二項但書ノ規定ニ依リ工業主行政官廳ノ許可ヲ受ケシテ就業時間ヲ延長シ、十六歳以上ノ女子ヲ就業セシメ又ハ休日ヲ廢シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
 第五條 工場法第九條ニ掲ケル業務ノ範圍左ノ如シ
 一 原動機、電氣機械其ノ他ノ機械又ハ動力傳導裝置ニ附屬スル勢輪、曲柄、連桿、桿、聯桿、嚙子桿、發電機ノ「コンミューター」、轉子、銳利ナル刃物、齒輪、鋼帶車、車軸、車軸接手又ハ之ニ準スヘキ危險ナル部分ヲ其ノ運轉中ニ掃除、注油、検査又ハ修繕スル業務
 二 危險ナル方法ニ依リ運轉中ノ機械又ハ動力傳導裝置ニ調整、調整ノ取附又ハ取外シタル業務
 三 汽機ノ焚火、給水弁、阻汽弁ノ開閉又ハ安全弁ノ取附
 四 發電機、電動機、發電機ノ抵抗器若ハ變壓器ノ取附又ハ高壓電線ノ接續
 五 危險ナル齒輪、鋼帶車、勢輪、調整器ニシテ完全ナル範圍其ノ他危險防禦裝置ナキモノ又ハ之ニ準スヘキモノニ接近シテ行フ業務
 六 完全ナル範圍其ノ他ノ危險防禦裝置ナキ車軸道、足場其ノ他之ニ準スヘキ場所ニ於ケル業務
 第七條 工業法第十條ニ掲ケル業務ノ範圍左ノ如シ
 一 磁素若ハ水銀又ハ其ノ化合物、黃燐、硫化燐、水素酸、硝酸、アンモニア、フッ化水素、水素酸、硫酸、硝酸、鹽酸、苛性ナトリウム、石炭酸其ノ他之ニ準スヘキ毒劇性物品ヲ取扱フ業務
 二 「カドミウム」、「ナトリウム」、過酸化ナトリウム、エーテル、石油ベンゼン、ア

ルコホルム、二硫化炭素其ノ他之ニ準スヘキ發火性又ハ引火性ノ物品ヲ取扱フ業務
 三 壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯ヲ取扱フ業務
 四 火藥、爆藥又ハ火工品ヲ取扱フ場所ニ於ケル業務
 五 金屬、鑛物、土石、骨、角、皮革、獸毛、綿、麻、蠶等ノ塵埃、粉末ヲ著シテ飛散スル場所ニ於ケル業務
 六 磁素、水銀、黃燐、鉛、チアソ水素酸、フッ化水素、アンモニア、硝酸、アンモニア、若ハ「アール」又ハ其ノ化合物其ノ他之ニ準スヘキ有害物品ノ粉塵、蒸氣若ハ瓦斯又ハ酸性瓦斯ヲ發散スル場所ニ於ケル業務
 七 多量ノ高熱物體ヲ取扱フ業務又ハ金屬、鑛物、土石類ノ熔融若ハ假令之ニ準スル熱ノ場所、高熱ノ乾燥室其ノ他之ニ準スヘキ場所ニ於ケル業務
 第七條 工場法第十條ノ規定ハ前條第六號及第七號ニ掲ケル業務ニ關シテ十六歳以上ノ女子ニ付之ヲ適用ス
 第八條 工業主ハ左ニ掲ケル疾病ニ罹レル者ヲシテ就業セシムルコトヲ得但シ第四號又ハ第五號ニ掲ケル疾病ニ罹レル者ニ付傳染預防ノ處置ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 一 精神病
 二 癩、肺結核、喉頭結核
 三 丹毒、再發熱、麻疹、流行性腦脊髄膜炎其ノ他之ニ準スヘキ急性熱性病
 四 瘧疾、疥癬其ノ他傳染性皮膚病
 五 膿漏性結核、トウホム(若シテ傳染ノ虞アルモノ)其ノ他之ニ準スヘキ傳染性眼病
 工業主ハ助眼炎、心臟病、脚氣、關節炎、癩癩、急性濕尿生毒器病其ノ他ノ疾病ニ罹レル者ニシテ就業セシムルコトヲ得
 工業主ハ傳染病又ハ重大ナル疾病ニ罹レル者ニシテ其ノ症候消失シタル後ト雖健康ノ回復セザル場合ハ之ヲ就業セシムルコトヲ

得ズ但シ醫師ノ意見ヲ徵シテ支障ナシト認ムル業務ニ就カシムル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 第九條 工業主ハ四週日以内ニ出生スルコトアルヘキ者休業ヲ求メタルトキハ其ノ者ヲシテ就業セシムルコトヲ得
 工業主ハ産後六週日ヲ超過セザル者ヲシテ就業セシムルコトヲ得但シ産後四週日ヲ超過シタル者就業セシムルコトヲ求メタル場合ニ於テ醫師ノ支障ナシト認メタル業務ニ就カシムルコトヲ得
 第九條ノ二 生後滿一年ニ達セザル生兒ヲ哺育スル女子ハ就業時間中ニ於テ一日二回各十分以内ヲ限リ其ノ生兒ヲ哺育スヘキ時間ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ工業主ハ哺育時間中其ノ女子ヲシテ就業セシムルコトヲ得
 第十條 地方長官ハ前二條ニ掲ケル場合ノ外工業主ニ對シ病者又ハ產婦ノ就業ノ制限又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得
 第十一條 工場法第十四條ノ規定ニ依リ設置スル第一號ニ依リ
 第十二條 工業主ハ就業規則ヲ適宜ノ方法ヲ以テ職工ニ周知セシムヘシ
 第十三條 工業主ハ就業規則ヲ適宜ノ方法ヲ以テ職工ニ周知セシムヘシ
 第十四條 職工就業中又ハ工場及附屬建設物內ニ於テ負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ工業主ハ遲滞ナク醫師ヲシテ診斷又ハ検査ヲ爲シムヘシ
 第十五條 工場法施行令第十六條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項第二號ノ賃金總額ニ包含セラレザルモノノ左ノ如シ
 一 三月ヲ超ヘル期間毎ニ支給スル賞與
 二 賞與ハ善行其ノ他特別ノ行爲ニ對スル
 第十六條 工場法施行令第十七條ノ給與ノ算

出方法ニ關シ契約又ハ慣習ナキ場合ニ於テ年ヲ以テ定メタルトキハ三百六十日分月ヲ以テ定メタルトキハ三十日分シテ一日ノ賃金又ハ給與ヲ定ム
 第十六條 職工名簿ノ記載ハ様式第二號ノ定ムル所ニ依ルヘシ
 第十七條 職工名簿ノ用紙ハ職工ノ死亡又ハ解雇後五年間之ヲ保存スヘシ
 第十八條 工業主カ其ノ職工ニ付工場間ニ又ハ工場外トシテ職工名簿ノ記載ニ付雇入又ハ解雇アリタルモノト看做ス
 第十九條 職工ノ雇入、解雇及扶助ニ關スル書類ハ工場毎ニ之ヲ備置クヘシ
 第二十條 雇入及解雇ニ關スル書類ハ職工ノ解雇又ハ死亡ノ日ヨリ三年間、扶助ニ關スル書類ハ扶助ヲ終リタル日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ
 第二十一條 工場法施行令第二十三條ノ規定ニ依リ工業主カ賃金ヲ支拂ヒ又ハ職工ノ貯蓄金ヲ返還スヘキ場合左ノ如シ
 一 職工カ一月以上ニ涉リテ歸郷スルトキ
 二 職工カ結婚又ハ葬儀ヲ行フ費用ニ充ツルトキ
 三 其ノ他地方長官ノ命令ヲ以テ定メタル場合
 第二十二條 工業主工場管理入選任ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ其ノ履歷書ヲ添ヘテ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ
 第二十三條 工業主ハ左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク地方長官ニ届出ツヘシ
 一 工場法第十八條第三項但書ニ依リ工場管理入選任シタルトキ
 二 工場管理入死亡シ又ハ之ヲ解任シタルトキ
 第二十四條 又ハ第十九條第二項ノ規定ニ依リ保存スヘキ書類ヲ滅失又ハ毀損シタルトキ
 第二十五條 當時五十八歳以上ノ職工ヲ使用スル工場ニ於ケル職工ノ疾病、負傷又ハ死亡ニ付テハ工業主ハ様式第三號ノ定ムル所ニ

依リ毎月取極メ翌月二十日迄ニ地方長官ニ届出ツヘシ
 第二十五條 職工就業中又ハ工場若ハ附屬建設物內ニ於テ負傷シ、窒息又ハ急性中毒ニ罹リ死亡シタルトキ又ハ療養ノ爲三日以上ノ休業ヲ要スヘキ見込ノトキハ工業主ハ事故發生後遲滞ナク様式第四號ニ依リ地方長官ニ届出ツヘシ事故發生當時休業三日以内ノ見込ノ者療養ノ爲休業三日以上ニ及ビタルトキ亦同シ
 第二十六條 工場又ハ附屬建設物內ニ於テ左ニ掲ケル事故發生シタル場合ニ於テハ工業主ハ遲滞ナク様式第五號ニ依リ地方長官ニ届出ツヘシ
 一 火災又ハ爆發
 二 汽機其ノ他内壓力ヲ有スル容器ノ破裂
 三 勢輪又ハ高速迴轉機ノ破裂
 四 起重機又ハ昇降機ノ鎖若ハ索ノ切斷又ハ起重機ノ梁若ハ支柱ノ折損
 五 工場附屬建設物、煙突又ハ高架橋ノ倒壊
 六 其ノ他一時ニ五人以上ノ死傷者ヲ生シタル事故
 第二十七條 罰則
 第二十八條 本令ハ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
 第二十九條 本令施行ノ際工場法ノ適用ヲ受ケル工場ノ工業主ハ本令施行ノ日ヨリ四月內ハ第十九條、第二十三條及第二十四條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得
 第三十條 工場法施行令第十條以上十二歳未満ノ者ヲ引續キ就業セシムル工業主ハ大正五年九月三十日迄ニ其ノ氏名、男女別、生年月日及雇入年月ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
 前項ノ届出ヲ怠リタル者又ハ其ノ届書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 第三十一條 本令中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ府廳廳長トス

(様式第一號)

大正 年 月 日交付

官 廳 職 員 氏 名

工場法第十四條 實業官吏ハ工場若ハ其ノ附屬建築物ニ檢査シ又ハ試業ノ

禁止制限ヲ爲スヘキ疾病若ハ傳染ノ虞アル疾病ニ罹レル疑アル職工若ハ從弟ノ檢査ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ證據ヲ携帶スヘシ
工場法第二十一條 正當ノ理由ナクシテ當該官吏ノ職權ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ職工若ハ從弟ノ檢査ヲ妨ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
暨八センチメートル横十センチメートル中央點線ノ所ヨリ二ツ折ト爲シ表面ニ「工場檢査票」ト記ス

(様式第二號)

Table with columns: 姓名, 性別, 生年, 住居, 職歴, 入職, 解雇, 職名. Includes a small table for 職工種數 (職工種別, 男, 女).

職工名簿記載心得
一 職工名簿ハ職工毎ニ少クトモ用紙一枚ヲ備ヘ其ノ體裁ハカード式其ノ他ノ方式ニ依リ工業主ノ便宜ニ從ヒ之ヲ定ムヘシ
二 工業主ノ都合ニ依リ本様式各欄ノ間隔ヲ伸縮シ、各欄内ニ別ニ欄ヲ設ケ又ハ各欄以外ノ欄ヲ設ケルコトヲ妨ケス

告報傷死工職

Table for reporting injuries and deaths. Columns include: 工場名, 工場所在地, 工場主, 工場管理人, 死者姓名, 性別, 生年, 職名, 事故發生日時, 年月日, 時間, 事故發生場所, 被害部位, 原因, 災害.

職工負傷疾病月報記載心得
一 本月報用紙一頁ハ半紙半折大トス
二 本月報ニハ業務上ト否トテ問ハス負傷又ハ疾病ノ爲引續キ三日又ハ夫レ以上休業シタル者ニ限リ記載スヘシ但シ死亡シタル者ニ付テハ休業三日ニ滿タサルトキト雖モ之ヲ記載スヘシ
三 同一職工ニ付同一月内ニ二回以上月報ニ記載スヘキ事由ヲ生シタルトキハ各別ニ記載スヘシ
四 負傷及疾病ハ各別ニ取纏メテ記載スヘシ負傷ト疾病ト用紙別ニスルモ妨ナシ
五 職工總數ニハ其ノ月ノ末日ニ使用スル職工ノ總數ヲ記載スヘシ
六 業務別男女別ニハ例ヘハ紡績工場ニ於テハ混棉部男工、精紡部女工、製紙工場ニ於テハ紙料部男工、織布工場ニ於テハ整理部女工等ニ準シ記載スヘシ
七 休業日數ニハ其ノ月ニ於ケル休業日數ヲ記載スヘシ
八 月末ノ休業日數カ三日ニ滿タサルモ翌月ノ分ト合算シテ三日又ハ夫レ以上トナリタル場合ニ於テハ之ヲ通算シテ翌月ノ月報ニ記載スヘシ
九 未治癒ノ爲翌月ヘ繰越シテ翌月ノ月報ニ記載スヘシ
十 於ケル休業三日ニ滿タスト雖モ仍之ヲ翌月ノ月報ニ記載スヘシ
十一 病名又ハ負傷ノ種類、發病又ハ負傷ノ日附列明セサルトキハ「不明」ト記載スヘシ
十二 結末欄ニ於テハ其ノ月内ニ治癒シタル者ハ治癒ノ日附、其ノ月内ニ死亡シタル者ハ治癒ニ至ラズシテ解雇シタル者ハ死亡又ハ解雇ノ日附ヲ記載シ其ノ月内ニ治癒セサル者ニ付テハ未治癒ノ爲翌月ヘ繰越シテ翌月ノ月報ニ記載スヘシ

各欄ノ位置ハ本様式ニ掲ケル順序ニ依ルヘシ但シ本則施行ノ際使用スル職工名簿ニ付テハ新名簿調製ニ至ル迄ノ間從前ノ順序ニ依ルコトヲ得
一 職工名簿ハ職工ノ業務別、男女別又ハ女工及十六歳未満ノ男工ト其ノ他ノ職工トヲ區別スル等便宜ニ從ヒ各別ニ之ヲ調製スルコトヲ妨ケス
二 履歴欄ニハ職工ノ學業及業務上ノ履歴ノ概略ヲ記載スヘシ職工十六歳未満ノ者ナル場合ニ於テハ尋常小學校ノ教科ヲ修了シタル者ニ在リテハ其ノ修了シタル尋常小學校名及修了年月ヲ、尋常小學校ノ教科ヲ修了セサル者ニ在リテハ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス
三 雇入欄ニハ雇入又ハ雇入更新ノ年月日、雇入期間ノ定アルモノハ其ノ期間其ノ他雇入ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スヘシ
四 解雇欄ニハ解雇ノ年月日、事由其ノ他解雇ニ關シ重要ナル事項ヲ記載スヘシ
五 職工死亡シタルトキハ本欄ニ其ノ年月日、死亡ノ原因、死亡ニ至ル迄ノ經過ヲ記載スヘシ
六 職工ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
七 女工及十六歳未満ノ男工カ同一日ニ於テ他工場ニモ就業スル場合ニ於テハ他工場ニ於ケル就業時間(工場法第三條第三項)
八 職工カ遺族扶助料ヲ受クヘキ者ヲ豫告シタルトキハ其ノ氏名、住所、職工トノ關係及豫告ノ年月日(工場法施行令第十二條但書)
九 尙本欄ニハ工業主ニ於テ必要ト認ムル條件ヲ記載スルモノトス
十 各票作成ノ當務者ハ難關其ノ他便宜ノ場所ニ作成ノ年月日ヲ記載シ署名又ハ捺印スヘシ

Table for monthly injury and disease reports. Columns include: 大正 年 月 分, 職工種數 (男, 女), 職名, 氏名, 生年月, 業務別, 休業日數, 病名又ハ發病又ハ負傷ノ種類, 治癒ノ日, 死亡ノ日, 解雇ノ日, 未治癒ノ爲翌月ヘ繰越シタル者.

職工死傷報告記載心得

一 本報告用紙一頁ハ美濃紙半折大トス
二 本報告ハ職工死亡シタル者又ハ療養ノ爲休業二週以上ト要スヘキ見込ノ場合ニ於テハ二週其ノ他ノ場合ニ於テハ一通テ差出スヘシ
三 本報告ニ付テハ其ノ寫ヲ作成シ届出後五年間之ヲ保存スヘシ
四 本報告ハ死者一名毎ニ用紙別ニスヘシ同一ノ事故ニ依リ數人ノ死傷者ヲ生シタル場合ニ於テハ其ノ中一枚ノ報告ニ詳細記入シテ他ノ報告ニハ其ノ重複スル部分ヲ省略スルコトヲ得
五 工業主ノ都合ニ依リ本様式各欄ノ間隔ヲ伸縮シ各欄内ニ別ニ欄ヲ設ケ又ハ各欄以外ノ欄ヲ設ケルコトヲ妨ケス
六 工業主又ハ工場管理人欄ニハ届出人ノ姓名又ハ工場管理人ノ氏名ヲ記入シ捺印スヘシ
七 事業ノ種類欄ニハ例ヘハ毛織物業、綿紡績業、機械製造業、自轉車製造業、造船業、洋傘骨製造業、メント製造業、製糖業、菓子製造業等ヲ記入スヘシ
八 主要ナル事業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ職工總數ニハ最近ノ調査ニ依リ員數ヲ記入スヘシ
九 事故發生場所欄ニハ事故ノ發生シタル場所ニ於テ行ハル作業ノ性質ヲ明示シ得ル名稱(例ヘハ機關室、鍛工場、木工場、乾燥室、原料粉砕室、荷性賣場等)ヲ記載シ、即解作業室、機關室ト貯炭所ト間ノ軌道、入渠中ノ修理船何丸ノ足場等)ヲ記入スヘシ
十 當日被害者ノ作業開始時刻欄ニハ被害者ノ當日作業開始時刻ヲ記入スヘシ
十一 死亡者欄中
(一) 業務又ハ職名欄ニハ被害者ノ適當ノ業務又ハ職名(例ヘハ旋工、修繕工、建築工、雜役夫等)ヲ記入スヘシ
(二) 雇入年月欄ニハ當該工場ニ於テ被害者ヲ雇入シタル年月ヲ記入スヘシ
(三) 賃金欄ニハ被害者ノ日給(稼高)ノ場合其ノ他收入一定セサル場合ニ於テハ最近ニ於ケル通常一日ノ賃金額ヲ記入スヘシ
(四) 被害ノ部位及症狀欄ニハ例ヘハ頭部打撲、右ノ上膊骨折、左第三指及第四指挫傷、電擊、腹部火傷、瓦斯中毒、窒息等ヲ記載スヘシ
(五) 死亡日時又ハ休業見込日數欄ニハ死亡シタル者ニ付テハ死亡ノ日時、生命危險ノ者ニ付テハ其ノ旨、其ノ他ノ者ニ付テハ治癒ノ爲休業シタル日數ヲ其ノ後ノ休業見込日數ト合算日數ヲ記入スヘシ
十二 災害ノ原因及發生狀況欄ニハ災害發生前ノ被害者ノ動作、操作、災害發生位置ノ高サ又ハ深サ、災害力機械又ハ設備ニ依リテ發生シタル場合ニ於テハ其ノ大サ、能力、高サ、壓力、電壓又ハ溫度其ノ他災害ノ原因及狀況ヲ明瞭ナラシムルニ必要ナル事項ヲ記載シテ其ノ順序ヲ記載スヘシ但シ動力ニ依リ運轉中ノ機械又ハ動力傳導裝置ニ依リ災害ヲ發生シタルトキハ左方ノ記入欄ニ記入スル場合ニ於テハ其ノ機械又ハ動力傳導裝置ニ付テハ前略ニ記載スヘシ
第十三條ニ規定セル事故ニ因リ死亡者又ハ治療ノ爲休業三日以上ト要スヘキ者ヲ生シタルトキハ其ノ原因ヲ簡略ニ記載シ様式第五號ノ工場災害事故報告トノ關係ヲ明ニスヘシ

京府ニ於テハ警視廳以下之ニ同シノ許
可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
第十八條 危險ナル箇所ニハ適當ナル標示ヲ
爲スベシ
第十九條 職工ハ體ニ危險ヲ防シテ取外
シ又ハ其ノ效力ヲ失ハシムル行爲ヲ爲スコ
トヲ得ズ
第二十條 地方長官ハ爆發性、發火性若ハ引
火性材料ノ製造又ハ取扱ヲ爲ス作業場、貯
藏倉庫、貯槽類又ハ貯藏ニ付危險物貯
藏ニ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得
第二十一條 爆發性、發火性若ハ引火性材料
ノ製造、取扱若ハ貯藏ヲ爲ス場所、瓦斯、蒸
氣若ハ粉塵ヲ發散シ得ル場所、瓦斯、蒸
氣若ハ危險物貯藏場所ニ於テハ直接作業
ニ必要ナル場合ノ外火氣ヲ使用シ又ハ火花
ヲ發シシムルコトヲ得ズ但シ安全燈、電燈
其ノ他危險ナキモノノ使用ハ此ノ限ニ在ラ
ズ
前項ノ場所ニハ喫煙其ノ他不必要ナル火氣
使用禁止ノ旨ヲ標示スベシ
第二十二條 油又ハ印刷用インキ類ニ依リ注
染シタル機械、紙屑等ハ不燃性ノ容器ニ收
メ其ノ他適當ナル處理ヲ爲スベシ
第二十三條 爆發性、發火性若ハ引火性材料
ノ製造若ハ取扱ヲ爲ス作業場又ハ常時五十
人以上ノ職工ノ就業スル作業場ニハ火災等
ノ場合ニ於テ容易ニ安全ナル場所ニ避難シ
得ル爲メ適當ナル二以上ノ出口ヲ設ケルコ
トヲ得
常時十人以上ノ職工ガ二階以上ニ於テ就業
スル場合ニハ各階ニ適當ニ配置セラルベシ
二階外ノ安全ナル場所ニ通ズル二以上ノ階
間ヲ設ケルコトヲ得
二階以上ニ於テ就業スル職工ガ常時五十人
以上ナルトキハ前項ノ階段ハ左ノ條件ヲ具
備スルコトヲ要ス
一 階高七寸以上七寸以下ト爲スコト
二 勾配ヲ水平ニ對シ四十度以內ト爲スコ
ト
三 高サ十二尺ヲ超ユル場合ニハ高サ十二
尺以內毎二階場ヲ設ケルコト

(七) (六) (五) (四)
幅内法三尺五寸以上ト爲スコト
廻段ヲ設ケザルコト
外側ニハ二尺七寸以上ノ扶欄ヲ設ケル
コト
各段ヨリ高サ五尺七寸以內ニ障礙物ナ
キコト
作業ノ性質、建設物ノ構造設備等ノ關係上
其ノ必要ナル場合又ハ本令施行前既ニ設ケ
タル建設物ニ付已ムテ得ザル場合ニ於テ地
方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ノ規
定ニ依ラザルコトヲ得
第二十四條 地方長官ハ火災等ノ場合ニ於テ
ル避難ノ爲メ作業場ノ通路、階段及出口ノ設
置構造ニ付必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得
第二十五條 第二十三條ノ規定ニ依リ出口、
前項ニ依リ設置シタル出口及之ニ
通ズル通路若ハ階段ニ付常時使用セザル
モノニハ適當ナル標示ヲ爲シ何時ニテモ避
難シ得ル標有ヲ保持スベシ
第二十六條 瓦斯、蒸氣又ハ粉塵ヲ發散シ得
ル生上有害ナル場所又ハ爆發、火災等ノ場
所ニハ之ガ危害ヲ防シタル爲メ其ノ排出管閉其ノ
他適當ナル設備ヲ爲スベシ
第二十七條 左ニ掲グル場所ニハ必要ナル者
以外ノ者ノ立入ルコトヲ禁止シ其ノ旨ヲ示
スベシ
一 爆發性、發火性又ハ引火性材料ノ製造、
取扱又ハ貯藏ヲ爲ス場所
二 毒劇藥、毒劇物又ハ其ノ他ノ有害材料
ノ製造又ハ取扱ヲ爲ス場所
三 瓦斯、蒸氣又ハ粉塵ヲ發散シ得ル生上有
害ナル場所
四 多量ノ高熱物體ヲ取扱フ場所
前項ニ依リ禁止セラルベシ場所ニハ職工ハ
直リニ立入ルコトヲ得ズ
地方長官ハ第一項ノ場所ニ於ケル作業ニ關
シ他種ノ作業ノ禁止其ノ他必要ナル事項
ヲ命ズルコトヲ得
第二十八條 研磨機ニ依リ金屬研磨、炭酸含
有清涼飲料水ノ罐詰其ノ他粉塵ノ飛來ノ虞

アル作業、高熱物體又ハ毒劇藥、毒劇物ノ製
造又ハ取扱ヲ爲ス作業、有害光線ニ曝露ス
ル作業、多量ノ粉塵又ハ有害ノ瓦斯、蒸氣若
ハ粉塵ヲ發散スル場所ニ於ケル作業、他
危險ノ虞アリ又ハ衛生上有害ナル作業ニ於
テハ之ニ從事スル職工ニ使用セシムル爲メ適
當ナル保護具ヲ備フベシ
職工ハ作業中前項ノ保護具ヲ使用スルコト
ヲ要ス
第二十九條 衛生上有害ナル瓦斯、蒸氣又ハ
粉塵ヲ發散スル工場ニ於テハ該職工ノ爲
メ適當ナル食事ノ場所ヲ設ケルベシ但シ當該職
工ガ工場内ニ於テ食事ヲ爲サザル場合ニハ
此ノ限ニ在ラズ
第三十條 毒劇藥、毒劇物其ノ他有害材料ノ取扱ヲ爲
ス工場、多量ノ粉塵ヲ發散スル工場其ノ他
ノ工場ニシテ作業ノ爲メ身體汚染スル工場
ニ於テハ適當ナル洗面装置ヲ設ケ必要ナル
設備ヲ備フベシ
前二項ノ工場又ハ高熱物體ヲ取扱フ工場ニ
於テハ地方長官必要ナル認ムルトキハ飲料水
供給又ハ食事ノ場所、更衣所、含嗽装置若ハ
浴槽ノ設置ヲ命ズルコトヲ得
第三十一條 機械、打ガ行通ノ爲メ噴出スル
要アルモノニ在リテハ噴引出具ヲ備フベ
シ
職工ハ行通ノ爲メ噴出スルカガラク
第三十二條 地方長官ハ衛生又ハ危險物防上
ノ必要ナル認ムルトキハ工場及附屬建設物ノ採
光、換氣ノ爲メ窓面ノ增加又ハ照明裝置其ノ
他適當ナル設備ヲ命ズルコトヲ得
第三十三條 工場ニハ負傷者ノ救護ニ必要ナル
救急用具及材料ヲ備フベシ但シ作業ノ性
質上傷害ノ虞ナキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在
ラズ
救急用具及材料ノ備附場所及使用方法ハ之
ヲ從業者ニ周知セシムルベシ
第三十四條 食堂、炊事場及食器ハ常に清潔
ニ保ツベシ
職工ハ行通ノ爲メ噴出スルカガラク
第三十五條 地方長官ハ衛生又ハ危險物防上
ノ必要ナル認ムルトキハ工場及附屬建設物ノ採
光、換氣ノ爲メ窓面ノ增加又ハ照明裝置其ノ
他適當ナル設備ヲ命ズルコトヲ得
第三十六條 工場ニハ負傷者ノ救護ニ必要ナル
救急用具及材料ヲ備フベシ但シ作業ノ性
質上傷害ノ虞ナキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在
ラズ
救急用具及材料ノ備附場所及使用方法ハ之
ヲ從業者ニ周知セシムルベシ
第三十七條 食堂、炊事場及食器ハ常に清潔
ニ保ツベシ

第三十四條 更衣所及浴場ハ之ヲ男女別ニ區
別スベシ
第三十五條 地方長官ハ前各條ニ定ムルモノ
ノ外工場及附屬建設物ノ設備ハ危險ヲ生シ
又ハ衛生、風紀其ノ他公益ヲ害スル虞アリ
ト認ムルトキハ該職工ハ除害ノ爲メ必要ナル
事項ヲ命ズルコトヲ得
第三十六條 第十九條ノ規定ニ違反シタル者
又ハ第二十一條ノ場所ニ於テ喫煙ヲ爲シ其
ノ他違反シタル者ハ料科ニ處
ス
附則
本令ハ昭和四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十六條、第二十八條第一項及第三十條ノ規
定ハ本令施行後一年間、第八條、第二十三條第
一項乃至第三項、第二十九條第二項及第三十
四條ノ規定ハ本令施行前既ニ設ケタルモノニ
付本令施行後一年間、第二條、第三條第一項、
第四條乃至第七條、第十條乃至第十三條、第十
五條、第十六條及第二十九條第一項ノ規定
ハ本令施行前既ニ設ケタルモノニ付本令施行
後二年間ニ適用セズ
本令施行前既ニ設ケタルモノニ付第二十三條
第四項ノ許可ヲ受ケタルモノ若ハ本令施行後
四月以內ニ其ノ申請ヲ爲スベシ
●工場附屬寄宿舍規則
昭和二年四月六日
內務省令第二十六號
工場附屬寄宿舍規則ノ通稱定ム
第一條 本令ハ工場法ノ適用ヲ受ケル工場ニ
附屬スル寄宿舍ニ之ヲ適用ス
第二條 左ノ各條ノ一ニ該當スル作業場アル
トキハ保安上又ハ衛生上ノ害ヲ避ケル爲メ寄
宿舍ノ設置ハ之ノ別建設物ト爲スベシ但シ除
害、救護又ハ避難ノ設備アル場合ニ於テ地
方長官(東京府ニ在リテハ警視廳)以下之
ニ同シノ許可ヲ受ケタルトキハ別建設物ト
爲スコトヲ要ス
一 爆發性、發火性若ハ引火性材料又ハ多
量ノ可燃性材料ヲ取扱フ作業場
二 窒煤ヲ使用スル作業場

三 瓦斯、蒸氣若ハ粉塵ノ發散ノ衛生上有
害ナル作業場

地方長官前項ノ規定ニシテ保安上危險ノ虞
アリ又ハ衛生上有害ナルト認ムルトキハ除
害、救護又ハ避難ノ設備ヲ命ズル必要ナル
モノトキハ其ノ全部又ハ一部ノ使用ノ停止ヲ
命ズルコトヲ得
第三條 寢室ハ建物ノ三階以上ニ之ヲ設ケル
コトヲ得ズ但シ建物ノ外壁、床、屋根、階段
及柱等市街地建築物法施行規則第一條ニ規
定スル耐火構造ト爲シタル場合又ハ本令施
行ノ際現存スル寄宿舍ニ付地方長官ノ許可
ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第四條 寄宿舍ノ地下ヨリ屋外ニ通ズル出入
口ノ戸ハ外開戸又ハ引戸ト爲スベシ
寄宿舍ハ何時ニテモ容易ニ外部ニ避難シ得
ル標ニ爲シ置クコトヲ要ス
第五條 寢室、食堂、病室其ノ他職工(從業者
含ム)以下之ニ同シノ居住ノ用ニ供スル室
ノ天井高ハ七尺以上ト爲スベシ但シ本令施
行ノ際現存スル寄宿舍ニ付地方長官ノ許可
ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
第六條 寢室及病室ニハ屋根小屋組ヲ露出セ
ザル様天井ヲ設ケベシ但シ本令施行ノ際現
存スル寄宿舍ニシテ防鼠ノ爲メ屋根小屋組ヲ
露出シタルモノニ付地方長官ノ許可ヲ受ケ
タルトキハ此ノ限ニ在ラズ
第七條 寢室及病室ノ外窓ニハ少クとも兩戸
及障子ヲ設ケ又ハ兩子戸及重掛ヲ設ケベシ
寢室及病室ト地下ト間ニ障子、壁ノ類
ノ設ケナキ場合ニ於テ其ノ地下ノ外窓ニ付
亦同シ
第八條 寢室及病室ト地下ト間ニ障子ノミヲ設
ケル場合ニ於テハ其ノ地下ノ外窓ニ兩戸又
ハ兩子戸ヲ設ケベシ
第九條 食堂及炊事場ノ床ハ土間(石敷)又ハ
三和土間ノ類ヲ含マズト爲スコトヲ得ズ

第九條 寢室ハ收容人員一人ニ付室面積(押
入及床ノ間ヲ除ク)〇.七五坪ヲ下ルコトヲ
得ズ但シ臨時必要ナル場合ニ於テ地方長官
ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 寢室ノ收容定員ハ一室ニ付十六人ヲ
超ユルコトヲ得ズ但シ本令施行ノ際現存ス
ル寄宿舍ニシテ構造上同仕切ヲ爲スコトヲ
不適當トスルモノニ付地方長官ノ許可ヲ受
ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
第十一條 寢室ニハ之ノ收容スル者ノ氏名及定員ヲ入
口ニ掲ゲベシ
第十二條 交拜就業ノ爲メ就寝時間ヲ異ニスル
二組以上ノ寄宿舍工同一ノ寢室ニ收容ス
ルコトヲ得ズ但シ十六歳未満ノ者及女子ヲ
收容セザルモノニシテ地方長官ノ許可ヲ受
ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
第十三條 寄宿舍ニハ職工毎ニ専用セシムル
必要ナル寢具ヲ備附セシムルコトヲ要ス
第十四條 寄宿舍ニハ職工毎ニ専用セシムル
寢具ハ少クとも其ノ裾布ヲ白布ニテ被包シ
且敷布ヲ備フベシ
第十五條 寄宿舍ニハ清潔ニ保チ時時之日光ニ曝シ
且其ノ白布及敷布ハ時時之ヲ洗濯スベシ
第十六條 食堂ニハ職工ヲシテ坐食ヲ爲サシ
ムル場合ヲ除クノ外必要ナル履掛又ハ椅子
ヲ備附セシム
第十七條 寄宿舍ニ於テ使用スル食器ハ常に
清潔ニ保チ時時消毒スベシ
第十八條 寄宿舍ニハ工場法施行規則第八條
第一項ノ疾病ニ罹レル者ヲ使用スルコトヲ
得ズ
第十九條 寄宿舍ニ收容スル職工及寄宿舍ニ
使用スル者ニ對シテハ少クとも一年二回健
康診断ヲ施行スベシ
前項ノ健康診断ニ關スル記録ハ其ノ施行後
三年間之ヲ保存スベシ
第二十條 寄宿舍ニハ液體ヲ入レタル適當箇
數ノ噴霧機ヲ配設スベシ

附則
本令ハ昭和二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四條及第十三條ノ規定ハ本令施行後一年
間、第七條、第八條及第十二條ノ規定ハ
本令施行後二年間、第六條及第九條乃至第十
一條ノ規定ハ本令施行後三年間ニ適用セズ
第三條又ハ第五條ノ規定ニ依リ許可ノ申請ハ
本令施行ノ日ヨリ二月以內ニ之ヲ爲スベシ
●工業労働者最低年齡法
大正十二年三月三十日
法律第三十四號
朕帝國議會ノ協贊ヲ經テ工業労働者最低年
齡法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
附則
本法ニ於テ工業労働者ニハ左ニ掲グ
ル事業ヲ謂フ
一 鐵業、砂鐵業、石切業其ノ他土地ヨリ礦
物ヲ採取スル事業
二 物品ノ製造、改造、淨洗、修理、裝飾、仕
上、販賣ノ爲ニスル仕立、破壊若ハ解體ヲ
爲シ又ハ材料ノ變造ヲ爲ス事業(造船業
及電氣又ハ各種動力ノ發生、變更及傳導
ヲ爲ス事業含ム)
三 土木、建築其ノ他工作物ノ建設、改造、
保存、修理、變更、解體又ハ其ノ準備若ハ
基礎工事
四 道路、鐵道、軌道又ハ平水航路ニ於ケル
旅客又ハ貨物ノ運送但シ主トシテ人力ニ
依リ運送ヲ除ク
五 船渠、岸壁、波止場又ハ倉庫ニ於ケル貨
物ノ取扱
第六條 本令第二條、第三條、第四條第一
項、第五條、第六條、第八條、第十條、第十一
條及第十六條ノ規定ハ常時十人未満ノ職工
ヲ收容スル寄宿舍ニ之ヲ適用セズ

本令ハ昭和四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十六條、第二十八條第一項及第三十條ノ規
定ハ本令施行後一年間、第八條、第二十三條第
一項乃至第三項、第二十九條第二項及第三十
四條ノ規定ハ本令施行前既ニ設ケタルモノニ
付本令施行後一年間、第二條、第三條第一項、
第四條乃至第七條、第十條乃至第十三條、第十
五條、第十六條及第二十九條第一項ノ規定
ハ本令施行前既ニ設ケタルモノニ付本令施行
後二年間ニ適用セズ
本令施行前既ニ設ケタルモノニ付第二十三條
第四項ノ許可ヲ受ケタルモノ若ハ本令施行後
四月以內ニ其ノ申請ヲ爲スベシ
●工場附屬寄宿舍規則
昭和二年四月六日
內務省令第二十六號
工場附屬寄宿舍規則ノ通稱定ム
第一條 本令ハ工場法ノ適用ヲ受ケル工場ニ
附屬スル寄宿舍ニ之ヲ適用ス
第二條 左ノ各條ノ一ニ該當スル作業場アル
トキハ保安上又ハ衛生上ノ害ヲ避ケル爲メ寄
宿舍ノ設置ハ之ノ別建設物ト爲スベシ但シ除
害、救護又ハ避難ノ設備アル場合ニ於テ地
方長官(東京府ニ在リテハ警視廳)以下之
ニ同シノ許可ヲ受ケタルトキハ別建設物ト
爲スコトヲ要ス
一 爆發性、發火性若ハ引火性材料又ハ多
量ノ可燃性材料ヲ取扱フ作業場
二 窒煤ヲ使用スル作業場

使用スル事業又ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ工
業ニ關スル學校ニ於テ児童ニ爲シタル作
業ニ之ヲ適用セシムル事

第三條 十六歳未満ノ者ヲ工業ニ使用スル場
合ニ於テハ使用者ハ其ノ住所ノ氏名、生年月
日及學歷ヲ記載シタル名簿ヲ製シ作業場
ニ備付クルコトヲ要ス但シ工場法施行令又
ハ續業法ニ依ル名簿ノ備付アル場合ニ於テ
ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 當該官吏ハ作業場又ハ其ノ附屬建設
物ニ臨檢スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其
ノ職務ヲ擔當スル事

第五條 工業ニ就業シ若ハ就業セムトスル者
又ハ使用者ハ就業シ又ハ就業セムトスル者
ノ戸籍ニ關シ戸籍事務ヲ管掌スル者又ハ其
ノ代理者ニ對シ無償ニ證明ヲ請求スルコト
ヲ得

第六條 第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓
以下ノ罰金ニ處ス

第七條 第三條ノ規定ニ違反シタル者又ハ正
當ノ理由ヲナクシテ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ、
妨ク若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辭ヲ
爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百
圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 使用者營業ニ關シ成年者ト同一ノ能
力ヲ有セザル未成年者若ハ禁治產者ナル者
會又ハ法人ナル場合ニ於テ使用者ニ適用ス
ルニ依リ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

第九條 使用者ハ其ノ從業者ニシテ本法ニ違
反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ
由リテ之ヲ懲罰スルコトヲ得

第十條 本法ニ於テ使用者ニ關スル規定ハ工
場法ノ適用ヲ受ケル工場ニ在リテハ工業主
ニ、工場管理人アル場合ニ於テハ工場管理
人ニ適用ス

四 燃料及原料
燃料ノ比重、粘度、乾燥度、色澤又ハ透
明度ノ試験 二百グラム以上
原料ノ測定又ハ乾燥度ノ試験
二百グラム以上
燃料又ハ原料ノ應用試験
四百グラム以上

五 紙
紙ノ耐接度又ハ強度伸度ノ試験
十枚以上(二十五センチ
ノモ)
紙ノ原料ノ應用試験
四キログラム以上

六 纖維、絲及織布
纖維又ハ絲ノ伸度、強度伸度、漂白又
ハ染色ノ試験
二百グラム以上
織布ノ伸度、強度伸度、漂白、染色又
ハ仕上ノ試験
幅三十センチメートル
長二メートル以上

七 染料及媒染劑
染料又ハ媒染劑ノ應用試験
四百グラム以上

八 前各條ニ掲ケタル分析又ハ試験
前各條ノ規定ニ準ス
ハ前條ノ割合ニ準シ工業試験所長之ヲ指定
ス

第四條 工業試験所長必要ト認ムルトキハ更
ニ相當分量ノ現品ヲ差出サシムルコトヲ得
第五條 分析、試験又ハ鑑定ノ爲差出シタル
現品ハ之ヲ還付セズ但シ差出ノ際豫メ申出
テ置タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六編 産業 第三章 工業

人ニ、就業ニ在リテハ就業權者ニ、就業代理
人アル場合ニ於テハ就業代理人ニ之ヲ適用
ス

第十一條 本法ハ同則ヲ除ク外、府縣、市
町村其ノ他之ニ準スル者ノ使用者タル場
合ニ之ヲ適用ス

附則
本法施行ノ期日ハ附令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ際十二歳以上ノ者ヲ引續キ使用ス
ル場合ニ於テハ其ノ者ニ付第二條ノ規定ハ之
ヲ適用ス

工業労働者最低年齢法施行規則
第一條 工業労働者最低年齢法第二條第二項
ニ規定スル行政官廳ハ地方長官(東京府ニ
在リテハ警視總監以下ノ之ニ同シ)、礦業及砂
礦業ニ付テハ礦山監督局長トス

第二條 工業労働者最低年齢法第三條ノ規定
ニ依リ名簿中學歷ニ付テハ尋常小學校ノ教
科ヲ修了シタル者ニ在リテハ其ノ修了シタ
ル尋常小學校名及修了年月ヲ、尋常小學校
ノ教科ヲ修了セザル者ニ在リテハ其ノ旨ヲ
記載スルコトヲ要ス

第三條 工業労働者最低年齢法第四條ノ規定
ニ依リ證明ハ別記様式ニ依リ

附則
本令ハ工業労働者最低年齢法施行ノ日ヨリ之
ヲ施行ス
工業労働者最低年齢法施行ノ際同法附則第二
項ノ規定ニ依リ十二歳以上十四歳未満ノ者ニ
シテ尋常小學校ノ教科ヲ修了セザル者ヲ引續
キ使用スル場合ニ於テハ使用者ハ其ノ住所、
氏名、生年月日及雇入年月日ヲ本令施行ノ日
以前
大正十五年六月七日
內務省令第四十四號

前項但書ノ場合ニ於テ現品還付ニ要スル費
用ハ依頼者之ヲ負擔スヘシ

第六條 工業試験所ニ分析、試験又ハ鑑定ヲ
通常ノ依頼ニ先テ急遽ニ又ハ日時ヲ限リ施
行スルコトヲ依頼スル者ハ依頼書ニ其ノ旨
ヲ明記スヘシ但シ工業試験所ノ都合ニ依リ
遅延スルコトアルモ異議ヲ申立タルコトヲ
得ス

第七條 削除

第八條 工業試験所長分析、試験又ハ鑑
定ヲ受ケタル物品ニ對シ所定ノ封緘又ハ證
印ヲ使ハシタル者ハ第四條様式ノ依頼書ヲ差
出スヘシ

第九條 工業ニ關スル分析又ハ試験ノ爲開放
研究室以外ノ工業試験所ノ設備ヲ使用セム
トスル者ハ其ノ履歷書ヲ添ヘ第五條様式ノ
願書ヲ差出スヘシ

第十條 當該官吏ハ貼付印紙ノ手数料金額ニ
相當スルコトヲ確認シタル後書類ノ紙面ト
印紙ノ裏面トニ掛ケ黒肉ヲ用井消印ヲ捺捺
スヘシ但シ納付者ニ於テ自己ノ便宜上消印
ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

附則
本則ハ大正七年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
第一號様式
分析依頼書

貼付シタル收入印紙ノ額
一 品名
二 産地又ハ製造地名及製造者名
三 定性又ハ定量スヘキ物質名
右分析及依頼候也

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

工業試験所分析、試験及鑑定規則
第一條 工業試験所分析、試験又ハ鑑定ノ依
頼ヲ爲ス者ハ第一號様式又ハ第二號様式ノ
依頼書ニ現品ヲ添ヘテ之ヲ差出スヘシ

第二條 分析又ハ試験一件毎ニ差出スヘキ現
品ノ分量左ノ如シ

一 分析
定性又ハ定量分析 百グラム以上
二 土石及其ノ製品
土石又ハ其ノ製品ノ耐火度、軟縮度
又ハ膨脹度ノ試験
四百グラム又ハ二百箇
以上

粘土ノ機械分析
八百グラム以上
陶磁器、硝子、玻璃、煉瓦、瓦又ハハ
メントノ原料ノ應用試験
十キログラム以上
炭素ノ應用試験
二キログラム以上

「セメント」ノ比重、一定容量ノ重量、
凝結時間、粉末ノ細度、膨脹又ハ龜裂
ノ試験
「キログラム」以上
「セメント」ノ耐伸強、耐壓強又ハ透
透力ノ試験 二十キログラム以上
石材、煉瓦又ハ瓦ノ吸水量、耐伸強、
耐壓強、耐撓強又ハ凍害作用
八箇以上(石材ハ五センチ
以上)

土管ノ耐壓強ノ試験 八箇以上
三 油脂、蠟、精油及蠟油
油脂、蠟、精油又ハ蠟油ノ比重、粘度、
凝結、融點、沸點、引火點、燃點、光
度、沈降度、酸價、鹼化價、酸若ハ
ルカリノ作用又ハ金屬ニ對スル作
用ノ試験 五十センチメートル
又ハ四百グラム以上
油脂、蠟、精油又ハ蠟油ノ應用試験ニ

工業試験所開放研究室使用規則
第一條 東京工業試験所及大阪工業試験所ニ
開放研究室ヲ置キ工業ニ關スル試験ヲ爲ス
爲メ公衆ニ之ヲ利用セシム

第二條 開放研究室ヲ使用セントスル者ハ別
記様式ノ願書ヲ差出スヘシ
願人會社其ノ他ノ團體ノ推薦ニ係ル場合ニ
於テハ其ノ團體ヲ身元保證人ト爲スベシ

第三條 開放研究室使用ノ許可ヲ受ケタル者
ハ其ノ研究ニ關シ工業試験所職員ノ指導ヲ
受ケルコトヲ得

第四條 開放研究室使用ノ許可ヲ受ケタル者
使用期間内ニ其ノ研究ヲ完了スルコト能ハ
ザルトキハ少クとも期間満了一週間前ニ其
ノ事由ヲ具シ工業試験所長ニ對シ使用期間
ノ延長ヲ申請スルコトヲ得

第五條 開放研究室ノ使用料ノ納付ノ意ヲ表
ルトキハ工業試験所長ハ開放研究室ノ使用
ヲ停止スルコトアルベシ

第六條 開放研究室使用ノ許可ヲ受ケタル者
ニシテ其ノ研究ヲ遂行スル見込ナキモノト
認メタルトキハ工業試験所長ハ其ノ許可ヲ
取消スルコトヲ得

第七條 開放研究室使用ノ許可ヲ受ケタル者
其ノ研究ヲ完了シタルトキハ其ノ旨工業試
験所長ニ届出シテシ、使用期間満了前ニ研
究ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第八條 本則ニ規定スルモノノ外開放研究室
ノ使用ニ關シ必要ナル事項ノ細目ハ工業試
験所長之ヲ定ム

附則

何工業試験所長宛
住 依願者 氏 名
年月日

（含ム）

- 一 数量
- 一 製品ノ引渡ヲ受ケルキ期日
- 一 其ノ他製作上必要ナル事項

備考

製作上特ニ必要ナルト認めル場合ノ外形、寸法、構造及裝飾ノ方法等ヲ示スベキ圖面ヲ添付スベシ

燃料研究所受託試験規則

大正十五年五月八日

農工省令第五五號

燃料研究所受託試験規則ノ通定ム

燃料研究所受託試験規則

第一條 燃料研究所ニ試験ノ依頼ヲ爲ス者ハ

別記様式ノ依頼書ヲ提出スベシ

第二條 依頼者ハ試験一件毎ニ左表ニ依リ現

品ヲ提出シ且手数料ヲ納ムベシ

試験ノ種類	現品ノ数量	手数料
一 パパコックエンジン	三十機	百圓
二 汽機又ハエンジン	三十機	百圓
三 汽機ニ依リ燃料供給機	三十機	百圓
四 汽機ニ依リ燃料供給機	三十機	百圓
五 直立式汽機乾燥機	三十機	百圓
六 汽機乾燥機	三十機	百圓
七 汽機乾燥機	三十機	百圓
八 パパコックエンジン	三十機	百圓
九 汽機乾燥機	三十機	百圓
十 汽機乾燥機	三十機	百圓
十一 汽機乾燥機	三十機	百圓
十二 汽機乾燥機	三十機	百圓
十三 汽機乾燥機	三十機	百圓
十四 汽機乾燥機	三十機	百圓
十五 汽機乾燥機	三十機	百圓
十六 汽機乾燥機	三十機	百圓
十七 汽機乾燥機	三十機	百圓
十八 汽機乾燥機	三十機	百圓
十九 汽機乾燥機	三十機	百圓
二十 汽機乾燥機	三十機	百圓

十一 炭質性試験

十 瓶三十四

燃料研究所長必要ト認めルトキハ前表ノ數量ノ外更ニ相當數量ノ現品ヲ提出シタルコトヲ得

現品ノ差出ニ付テハ燃料研究所長ノ指揮ヲ待ツベシ

第三條 試験ノ爲差出シタル現品ハ之ヲ還付スルモ燃料研究所長ニ於テ特別ノ事情アリト認めルトキハ之ヲ還付スルコトアルヘシ

第四條 依頼者其ノ試験報告書ノ複本ヲ請求スルトキハ紙數一枚毎ニ二十錢ノ手数料ヲ納ムベシ

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記様式）

試験依頼書

一 試験ノ種類

二 現品ノ種類、數量及產地、礦山名、坑名及シ又ハ製造所

三 手数料金 圓ヲ添ヘ右試験及依頼候也

年 月 日

住所

依頼者 氏 名

燃料研究所長宛

臺灣總督府中央研究所依頼試験規則

第一條 産業及衛生ニ關スル物件ノ分析、試験、検査、檢定又ハ鑑定ヲ出願セントスル者ハ供試品及手数料ヲ添ヘ別記第一號書式ノ圖面ヲ提出スベシ

砂糖ニ關シテハ光學器械類ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ現物及手数料ヲ添ヘ別記第一號書式ノ圖面ヲ提出スベシ

藥品ノ試験又ハ小分封緘ヲ受ケントスル者ハ別記第二號書式ノ圖面ヲ添ヘ現品及手数料ヲ提出スベシ

八 紙、纖維、糸、織布類 每一件 金一圓

七 燃料及燃料ノ品質、品位等ノ檢定

六 油脂、蠟、精油、燻油及瀝青質類

五 石油、煤油、燻油、燻油、燻油、燻油

四 比重、粘度、凝點、融點、沸點、燻油上昇溫度、揮發損失、約熱減量、引火點、燃點

三 沃度價、酸價、鹼化價、酸又ハアルカリノ作用若ハ金屬ニ對スル作用ノ試験

二 百立方センチ以上五百

一 百立方センチ以上五百

分留試験

五 百「リットル」以上

四 百「リットル」以上

三 百「リットル」以上

二 百「リットル」以上

一 百「リットル」以上

抗伸強ノ試験

十本 無疵通直ニ長サ三十厘米

九 抗剪強ノ試験

十箇 無疵通直ニ長サ七厘米

四 抗制強ノ試験

十箇 無疵通直ニ長サ二十五厘米

三 硬度及比重ノ試験

十箇 無疵通直ニ長サ二十五厘米

二 鐵釘保持力ノ試験

相當（無疵通直ニ）

一 相當（無疵通直ニ）

紙ノ品種、性質、品位等ノ檢定

相當分量 每一件 金一圓以上五圓以下

強度、耐伸強度、伸張度、耐折度、纖維、染料、色料、サイズ、耐水度、耐濕度、吸水性、透明度等ノ檢定

材料ノ組織、強度、伸度又ハ染色ニ對スル日光、摩擦、水、石鹼、酸若ハアルカリノ作用試験

九 水、氷及鐵泉

定性分析

二「リットル」以上

一「リットル」以上

工業用水試験

十「リットル」以上

九 灌漑用水試験

十「リットル」以上

一〇 飲食物、化粧品、色料及飲食物器具

類

飲食物又ハ化粧品類ノ定量分析

酒類、醬油又ハ清涼飲料水類ハ「リットル」以上

乳汁類ハ六百立方センチ、人乳ハ百立方センチ以上其他食品類ハ三百「グラム」以上

八 紙、纖維、糸、織布類 每一件 金一圓

七 燃料及燃料ノ品質、品位等ノ檢定

六 油脂、蠟、精油、燻油及瀝青質類

五 石油、煤油、燻油、燻油、燻油、燻油

四 比重、粘度、凝點、融點、沸點、燻油上昇溫度、揮發損失、約熱減量、引火點、燃點

三 沃度價、酸價、鹼化價、酸又ハアルカリノ作用若ハ金屬ニ對スル作用ノ試験

二 百立方センチ以上五百

一 百立方センチ以上五百

土壌ノ理學的性質、試驗、檢定

二「キログラム」以上 每一件 金二圓以上十圓以下

一 農産物、農産製造品及飼料

定量分析

三百「グラム」以上 每一件 金一圓

二 主要成分又ハ全成分ノ定量分析

三百「グラム」以上 每一件 金五圓以上十圓以下

三 砂糖及砂糖關係物

砂糖

三百「グラム」以上 每一件 金一圓

二 糖蜜及糖水

二百「グラム」以上 每一件 金一圓

一 砂糖關係物

二百「グラム」以上 每一件 金一圓

四 土石及其ノ製品

土石又ハ其ノ製品ノ耐火度、收縮度又ハ膨脹度ノ試験

「キログラム」以上 每一件 金三圓

二 磚以上

一 磚以上

五「キログラム」以上 每一件 金三圓以上五圓以下

四 陶磁器ノ原料及其ノ應用試験

五「キログラム」以上 每一件 金三圓以上五圓以下

以上

飲食物又ハ化粧品類ノ主要成分又ハ全成分ノ定量分析

前同量 每一件 金五圓以上十圓以下

飲食物中毒物ノ試験

三百「グラム」以上 每一件 金十圓

飲食物ノ衛生上ノ害否試験

三百「グラム」以上 每一件 金五圓以上十圓以下

飲食物中防腐劑、人工甜味質又ハ有害金屬ノ試驗

「リットル」以上 每一件 金二圓

三 着色料、化粧品又ハ飲食物器具類ノ衛生上ノ適否試験

二百「リットル」以上 每一件 金二圓

二 細菌、寄生蟲又ハ血清其ノ他病毒

細菌又ハ寄生蟲ノ顯微鏡檢査

「リットル」以上 每一件 金五十錢

一 「ワイダー」反應檢査又ハ類似ノモノ

相當分量 每一件 金五十錢

「ワッセルマン」反應檢査又ハ類似ノモノ

相當分量 每一件 金一圓

細菌ノ培養試驗

相當分量 每一件 金一圓

狂犬病毒ノ有無試驗

可檢體ノ圖若ハ脊髓ノ標頭大テ

「リットル」以上 每一件 金五圓

消毒藥ノ殺菌效力試驗

相當分量 每一件 金二圓以上十圓以下

八 紙、纖維、糸、織布類 每一件 金一圓

七 燃料及燃料ノ品質、品位等ノ檢定

六 油脂、蠟、精油、燻油及瀝青質類

第百八條 礦業條例ニ依リ試掘ノ認可ハ試掘ノ登帳ト爲ス
第百九條 日本法ニ依リ舊區ノ許可及礦業條例ニ依リ採掘ノ特許ハ採掘權ノ發給ト爲ス

●礦業法施行細則

附則(大正十三年法律第二十二號)
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
(大正十五年勅令第九十九號)
(大正十五年七月一日ヨリ施行)

第四條 本則ノ規定ニ依リテ爲サレタル手續其ノ他ノ行爲ハ礦業法出願セザルニシテ其ノ礦業出願人ハ礦業權ノ土地所有者又ハ關係人ノ承認ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第十三條 礦業法第七條第一項ノ規定ニ依リ「礦山監督署長」代表者ヲ指定シタルトキハ之ヲ共同礦業出願人又ハ共同礦業權者ニ通知ス

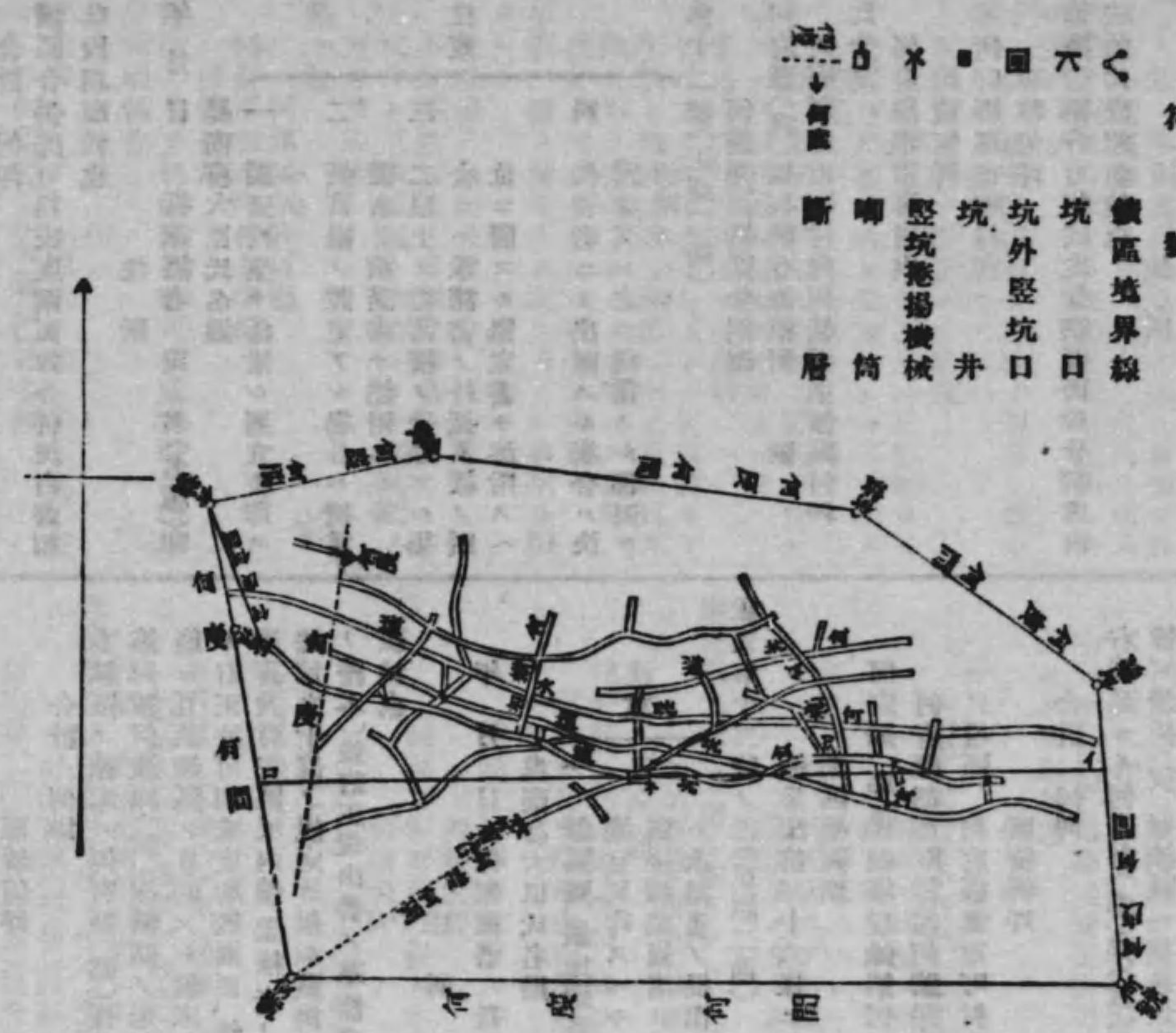
ノ距離ヲ設ケハシ但シ該接續業者ノ承諾ヲ得タルトキハ試掘區ノ範圍内ニ於テ採掘ノ出願ヲ爲ストキハ礦業法第三十三條ノ規定ニ依リ礦業出願ヲ爲ストキハ此ノ規定ニ在ラス

附シ出願人ニ礦業ノ設備ニ關スル設計書ノ提出ヲ命スルコトヲ得
前項ノ命令ニ依リテ設計書ヲ提出シタル試掘出願人ハ出願ノ許可後其ノ設計ヲ變更シテ作業セムトスルトキハ「礦山監督署長」ノ許可ヲ受クヘシ

第二十七條 共同礦業出願人脫退シタルトキハ代表者若シ代表者ナキニ至リタルトキハ共同出願人ハ脫退ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ理由ヲ附シテ書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ「礦山監督署長」ニ提出ス

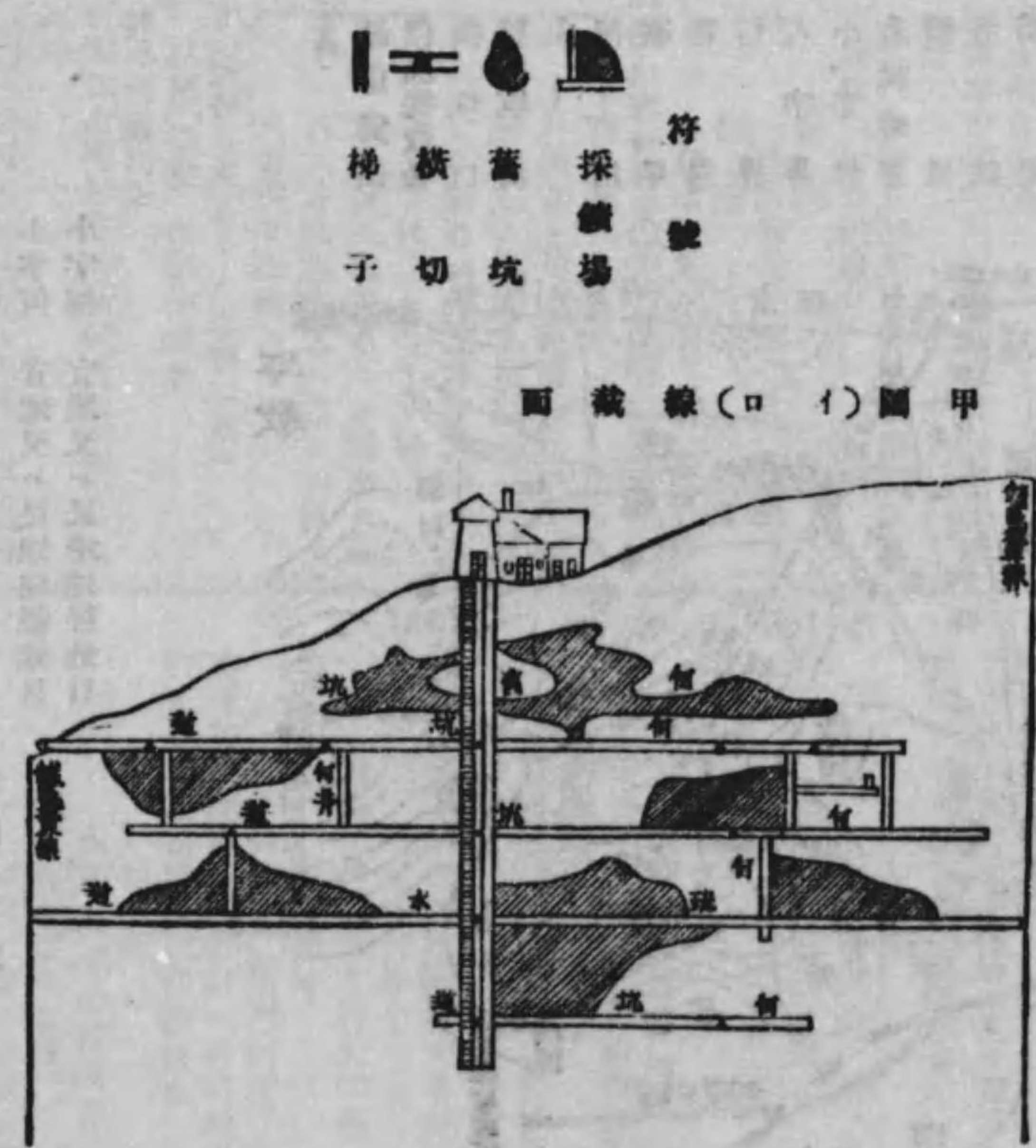
第三十六條 礦業出願地ノ名稱及種目、境界、面積、走向、傾斜、出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他礦業法第十條又ハ第十一條ニ記載シタル事項ハ出願人ハ其ノ願書ニ記載セム

六 縮尺ハ三千分の一又ハ六千分の一ニ調製スヘシ但シ鐵務署長ノ公告シタル地域ニ在リ
 テハ二千五百分の一又ハ五千分の一ニ調製スヘシ
 標式第十五號甲
 何縣(何郡)探掘權登錄第何號(又ハ特許第何號)
 何府何國何郡何村何鐵山
 坑内實測平面圖 縮尺 何分の一



住所 氏名
 探掘者 氏名
 測量者 氏名
 名印

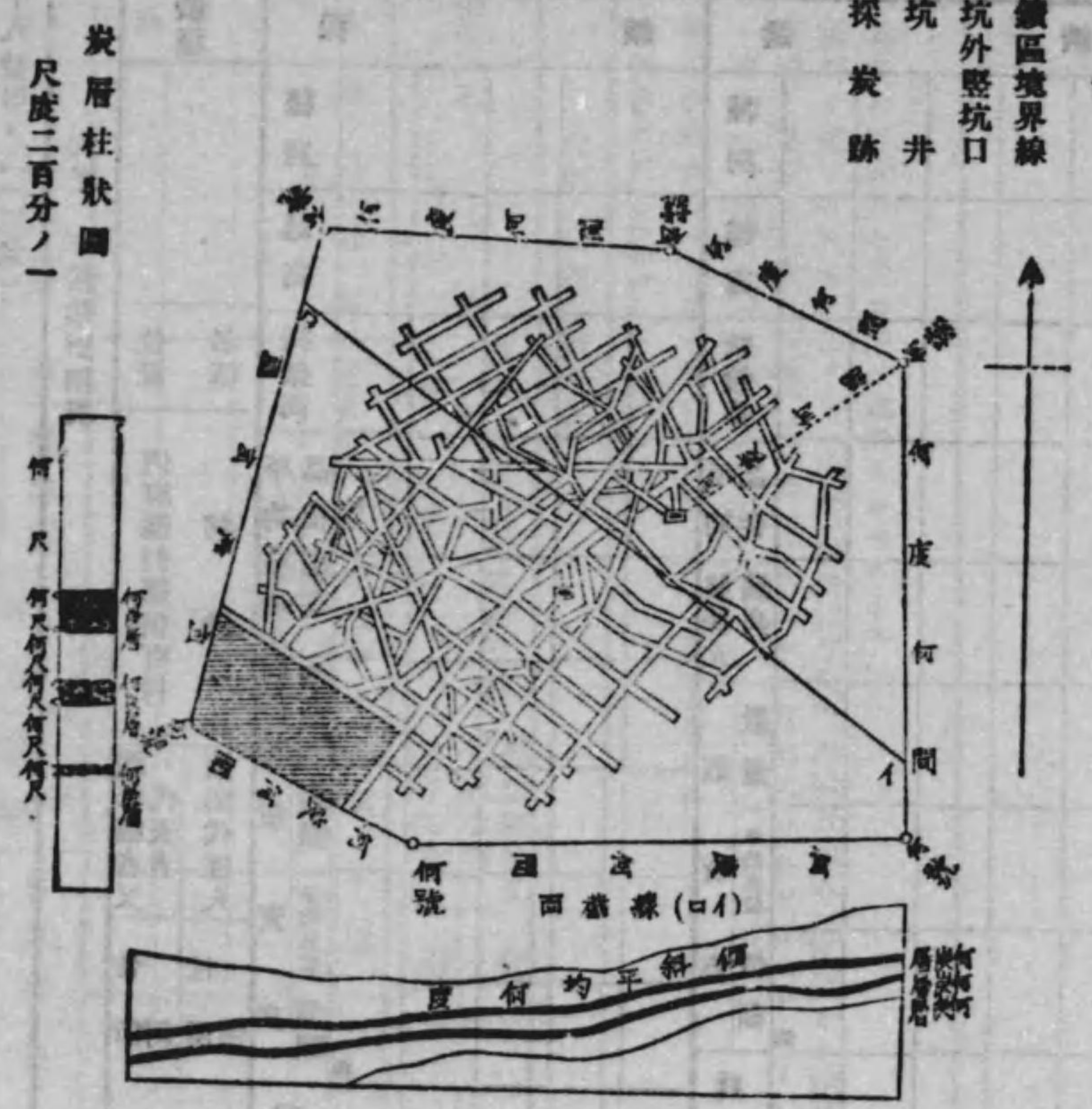
注意
 一 坑道ノ上下段ハ色分ヲ以テ區別スヘシ
 二 軌道ヲ敷設シタル坑道又ハ機械等設置ノ場所ニシテ本圖ノ尺度ニテ圖上ニ顯シ難キモ
 ノハ適宜ノ尺度ヲ用フヘシ
 三 圖面縮尺ハ千二百分の一ニ調製スヘシ
 四 木造堰ハ黃色ニ煉瓦堰ハ赤色ニ色分チナスヘシ
 標式第十五號乙
 何縣(何郡)探掘權登錄第何號(又ハ特許第何號)
 何府何國何郡何村何鐵山
 坑内實測平面圖 縮尺 何分の一



住所 氏名
 探掘者 氏名
 測量者 氏名
 名印

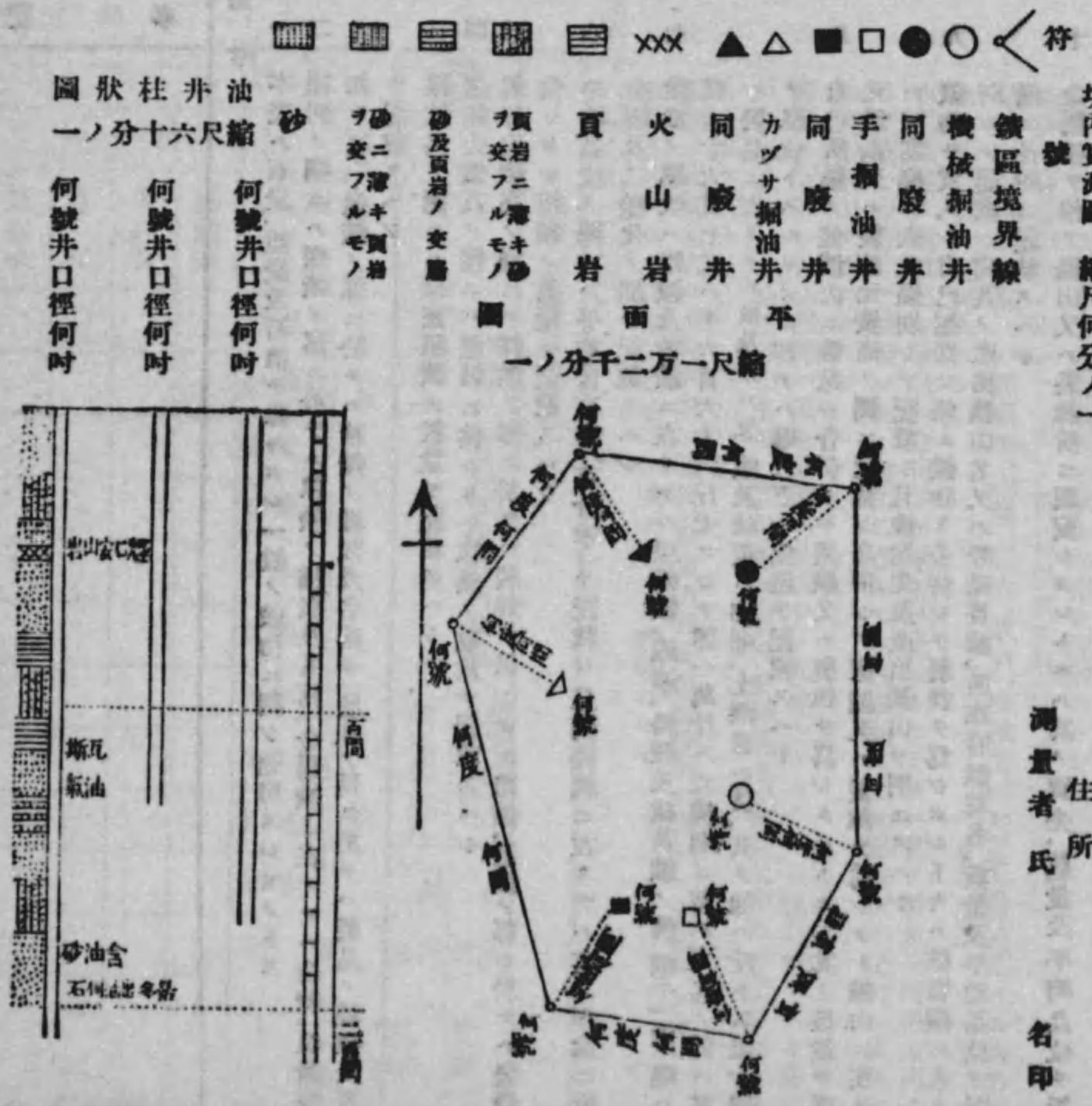
注意
 一 坑道ノ上下段ハ色分ヲ以テ區別スヘシ

一 軌道ヲ敷設シタル坑道又ハ機械等ニシテ本圖ノ尺度ニテ圖上ニ顯シ難キモノハ適宜ノ
 尺度ヲ用フヘシ
 二 圖面縮尺ハ千二百分の一ニ調製スヘシ
 三 木造堰ハ黃色ニ煉瓦堰ハ赤色ニ色分チナスヘシ
 標式第十六號(石炭鐵ノ分)
 何縣(何郡)探掘權登錄第何號(又ハ特許第何號)
 何府何國何郡何村何鐵山
 坑内實測平面圖 縮尺 何分の一



住所 氏名
 探掘者 氏名
 測量者 氏名
 名印

注意
 一 平面圖ニハ坑道ヲ著色シテ各炭層ヲ區別スヘシ
 二 探掘セシ部分ハ坑道ト同色ノ平行線ヲ以テ顯スヘシ
 三 炭層中ニハサミ物アラハ柱狀圖ニテ顯スヘシ
 四 圖面縮尺ハ千二百分の一ニ調製スヘシ
 五 木造堰ハ黃色ニ煉瓦堰ハ赤色ニ色分チナスヘシ
 六 捲揚機械、噴筒、扇風器及軌道其ノ他特種ノモノチ設置セル場合ニハ適宜ノ符號ヲ用ヒ
 テ之ヲ明示スヘシ
 標式第十七號
 何縣(何郡)探掘權登錄第何號(又ハ特許第何號)
 何府何國何郡何村何鐵山
 坑内實測平面圖 縮尺 何分の一



住所 氏名
 探掘者 氏名
 測量者 氏名
 名印

號	第 條 登 載											
	外						內					
	計	雜夫其 ノ他	工作夫	機械夫	運搬夫	製煉夫	探礦夫	探礦夫	製煉夫	運搬夫	機械夫	工作夫
合	計											
探	計											
選	計											
製	計											
煉	計											

備考
 一 本表ハ石炭、亞炭及石油ヲ除キタル一般ノ礦物ニ關シ適用スルモノトス
 二 礦夫ノ員數ハ六月三十日現在ニ依リ記載スヘシ但シ休業中ノ礦山又ハ七月一日以後
 事業ヲ開始シタル礦山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ
 旨記事補ニ記載スヘシ
 三 坑ノ内外ニ防ル作業ニ從事スル者又ハ二以上ノ作業ニ從事スル者ニ付テハ其ノ主ナ
 ル一方ニ記載スヘシ
 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ作業ニ從事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ之ヲ記
 載スルコトヲ得
 五 礦業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スヘシ

號	第 條 登 載											
	外						內					
	計	雜夫其 ノ他	工作夫	機械夫	運搬夫	製煉夫	探礦夫	探礦夫	製煉夫	運搬夫	機械夫	工作夫
合	計											
探	計											
選	計											
製	計											
煉	計											

備考
 一 本表ハ石油(可燃質天然瓦斯ヲ含ム)ニ關シ適用スルモノトス
 二 礦夫ノ員數ハ六月三十日現在ニ依リ記載スヘシ但シ休業中ノ礦山又ハ七月一日以後
 事業ヲ開始シタル礦山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ
 旨記事補ニ記載スヘシ
 三 以上ノ作業ニ從事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スヘシ
 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ作業ニ從事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ之ヲ記
 載スルコトヲ得
 五 礦業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スヘシ

號	第 條 登 載											
	外						內					
	計	雜夫其 ノ他	工作夫	機械夫	運搬夫	製煉夫	探礦夫	探礦夫	製煉夫	運搬夫	機械夫	工作夫
合	計											
探	計											
選	計											
製	計											
煉	計											

備考
 一 本表ハ石炭及亞炭ニ關シ適用スルモノトス
 二 礦夫ノ員數ハ六月三十日現在ニ依リ記載スヘシ但シ休業中ノ礦山又ハ七月一日以後
 事業ヲ開始シタル礦山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ
 旨記事補ニ記載スヘシ
 三 坑ノ内外ニ防ル作業ニ從事スル者又ハ二以上ノ作業ニ從事スル者ニ付テハ其ノ主ナ
 ル一方ニ記載スヘシ
 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ作業ニ從事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ之ヲ記
 載スルコトヲ得
 五 礦業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スヘシ

號	第 條 登 載											
	外						內					
	計	雜夫其 ノ他	工作夫	機械夫	運搬夫	製煉夫	探礦夫	探礦夫	製煉夫	運搬夫	機械夫	工作夫
合	計											
探	計											
選	計											
製	計											
煉	計											

備考
 一 本表ハ石油(可燃質天然瓦斯ヲ含ム)ニ關シ適用スルモノトス
 二 礦夫ノ員數ハ六月三十日現在ニ依リ記載スヘシ但シ休業中ノ礦山又ハ七月一日以後
 事業ヲ開始シタル礦山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ
 旨記事補ニ記載スヘシ
 三 以上ノ作業ニ從事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スヘシ
 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ作業ニ從事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ之ヲ記
 載スルコトヲ得
 五 礦業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スヘシ

分析試驗ノ項目

右分析、試驗被成下度及御依頼候也
大正 年 月 日
住 所
依頼者
備考 石炭類ノ分析及試驗ニ付テハ
本形式ニ依ルベシ

第三號
モノト試験依頼書
製造所
一試料ノ項目
右試験被成下度及御依頼候也
大正 年 月 日
住 所
依頼者

礦業登録令

明治三十八年六月二十日
勅令第百八十三號
大正二年五月十四日
廢礦業登録令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
(大田國重)

第一章 總則
第一條 礦業ニ關スル登録ハ礦務署ニ於テ之ヲ爲ス
第二條 同一ノ礦業權ニ關シテ登録シタル權利ノ順位ニ付テハ法令ニ別段ノ定メナキトキハ其ノ順位ハ登録ノ前後ニ依ル
第三條 附記登録ノ順位ハ主登録ノ順位ニ依ル但シ附記登録間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル
第四條 假登録ヲ爲シタルモノニ付本登録ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登録ノ順位ニ依ル
第二章 礦業原簿
第五條 礦業原簿ハ試掘原簿、採掘原簿ノ二種トス
共同礦業權者ニ付テハ共同人名簿、礦區圖ニ付テハ礦區圖、信託ニ付テハ信託原簿、信託原簿ノ一部トス
第六條 何人トシテ手數料ヲ納付シテ礦業原簿ノ原本、抄本ノ交付ヲ請求シ又ハ礦業原簿若ハ其ノ附屬書類ノ閲覧ヲ請求スルコトヲ得
第七條 外郵便切手ヲ納付シテ礦業原簿ノ原本、抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
第八條 礦業原簿ノ全部又ハ一部ノ滅失シタル場合ニ於テ其ノ複製ニ關スル手續ハ農商務大臣ニ付テス
第九條 前條礦業原簿ノ複製ヲ爲シタルトキハ其ノ登録ノ際本又ハ抄本ヲ登錄名義人ニ交付スルコトヲ要ス
第三章 登録手續
第一節 通則
第九條 登録ハ法令ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外申請、囑託又ハ命令アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
第十條 登録ニ關スル規定ヲ準用ス
第十一條 登録ハ登録權利者及登錄義務者又ハ其ノ代理人ハ出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ申請スルコトヲ要ス
第十二條 列決又ハ相續ニ因ル登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
第十三條 登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ハ登録名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
第十四條 左ノ登録ニ付テハ官廳又ハ公署ハ囑託書ニ登錄原因ヲ記シテ書面ヲ添付シテ之ヲ爲スコトヲ要ス
一 處分ノ制限ノ登録

二 公賣處分ニ因ル礦業權移轉ノ登録
第十四條 礦業權ヲ取消シタルトキハ取消處分ノ取消ヲ爲シタルトキハ農商務大臣ハ其ノ登録ヲ命スルコトヲ要ス
第十五條 登録申請スルモノハ左ノ書類ヲ提出スルコトヲ要ス
一 申請書
二 登録原因ヲ記スル書面
三 登録原因ニ付テハ之ヲ證明スル書面
四 代理人ニ依リテ登録申請スルモノハ其ノ權限ヲ記スル書面
採掘權ノ設定、變更ニ關スル試掘權ノ抹消、廢業登録ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス
登録原因ヲ記スル書面ハ執行力アル判決ナラシキハ第一項第三號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要ス
法人ノ代表者又ハ共同礦業ノ代表者ニ依リテ申請スル場合ニ於テハ第一項第四號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス
第十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人ノ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス
一 礦區所在地
二 礦業權ノ登録種類
三 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
四 代理人又ハ代表者ニ依リテ登録申請スルモノハ其ノ氏名及住所
五 登録原因及其ノ日附
六 登録ノ目的
第十七條 第二項ノ規定ニ依リテ登録申請ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ記載ヲ要ス
第十八條 前條第二項ノ規定ニ依リテ登録申請ノ申請ニ付テハ第一項第五號ノ記載ヲ要ス
第十六條ノ二 權限者ハ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リテ權限者ニ代位シテ登録申請スルモノハ之ヲ爲スコトヲ要ス

スルニハ第十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外代位原因ヲ記スル書面ヲ提出シ且申請書ニ第十六條第一項ニ記載シタル事項ノ外權限者ノ氏名又ハ名稱及住所代位原因ヲ記載シ之ノ署名捺印スルコトヲ要ス
第十七條 左ノ場合ニ於テハ申請人ハ申請書ニ其ノ事實ヲ記スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス
一 申請人ハ相續人ナルトキ
二 登録名義人ハ其ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録申請スルコトヲ要ス
三 死亡ニ因ル共同礦業權者ノ退却ノ登録申請スルコトヲ要ス
第十八條 申請書ニ第三號ノ許可、同意又ハ承諾ヲ記スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス
第十九條 申請書ニ第三號ノ許可、同意又ハ承諾ヲ記スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス
第二十條 同一ノ礦業權ノ管轄ニ關スル數箇ノ礦區ニ關シテ登録ノ設定ノ登録申請スル場合ニ於テハ登録原因及登録ノ目的ノ一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ登録申請スルコトヲ得
第二十一條 規定ノ礦業權又ハ採掘權ノ處分ノ制限ノ登録申請スル場合ニ於テハ申請書ニ之ヲ準用ス
第二十二條 事件力管轄ニ屬セザルトキ
一 事件力管轄ニ屬セザルトキ
二 事件力管轄ニ屬セザルトキ
三 當事者ハ出頭セズ又ハ申請書ヲ書留郵便ヲ以テ提出スルコトヲ要ス
第二十三條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人ノ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス
一 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人ノ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス
二 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人ノ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス
三 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人ノ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス
四 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人ノ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス
五 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人ノ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス
六 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人ノ之ヲ署名捺印スルコトヲ要ス

表者ノ表示方礦業原簿ト符合セザルトキ又ハ申請人タル者カ登録名義人タル場合ニ於テ其ノ表示方礦業原簿ト符合セザルトキ
七 申請書ニ掲ケタル事項カ登録原因ヲ記シタル書面ト符合セザルトキ
八 申請ニ必要ナル書面ヲ提出セザルトキ
九 登録費ヲ納付セザルトキ
第二十條 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ハ共同礦業權者退却及其ノ代表者ノ改定ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス
第二十一條 行政區畫又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ礦業原簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト爲ス
第二十二條 前項ノ變更アリタルトキハ礦務署長ハ礦業權ノ表示ニ付テハ其ノ變更ヲ記載スルコトヲ要ス
第二十三條 登録完了シタル後其ノ登録ニ付テハ又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スルコトヲ要ス第十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之ヲ爲スコトヲ要ス
第二十四條 登録完了シタル後其ノ登録ニ付テハ又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スルコトヲ要ス第十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之ヲ爲スコトヲ要ス
第二十五條 抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テハ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三號ノ者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ原本ヲ添付シタルトキニ限り附記ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十六條 申請書其ノ他登録ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス
第二十七條 登録ノ日、月、日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用ウルコトヲ要ス
第二十八條 文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、補入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ヲ註明シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尚讀得ヘキ爲字體ヲ存スルコトヲ要ス
第二十九條 第二節 礦業權ニ關スル登録手續
第二十七條 礦業ノ出頭許可スヘキモノト決定シタル場合ニ於テ登録費ノ納付アリタルトキハ礦務署長ハ礦業權ノ設定又ハ變更ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス礦業權ノ表示ノ變更又ハ礦業權名更正ニ係ル表示ノ更正ノ場合亦同シ
第二十八條 死亡、破産又ハ禁治産ニ因ル共同礦業權者退却ノ登録ハ登録權利者又ハ登錄義務者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
第二十九條 附則
第三十條 礦業法第三十五條第二項ノ場合ニ於テ採掘權設定ノ登録ヲ爲サムトスルモノハ其ノ旨ヲ採掘權者ニ通知スルコトヲ要ス
第三十一條 前項ノ採掘權者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ採掘權設定ノ登録申請スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ採掘權ノ順位ハ前項ノ順位ニ依ル
第三十二條 前項ノ申請ニ付テハ最後ニ通知ヲ受ケタル者ニ對シテ採掘權ノ期間満了ノ日ノ翌日ニ於テ採掘權設定ノ登録ト共ニ其ノ登録費ヲ爲スコトヲ要ス
第三十三條 期間満了ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス
第三十四條 第三節 礦業法第三十五條第二項ニ基キ

爲シタル承諾及協定ニ因ル採掘權設定ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
第三十二條 採掘權設定ノ登録申請スル場合ニ於テハ申請書ニ採掘權設定ノ理由若シ登録原因ニ採掘權ノ設定ノ理由、利息ニ關スル定アルトキハ其ノ發生時期若ハ支拂時期ノハ之ヲ記載スルコトヲ要ス
第三十三條 採掘權設定ノ登録申請スル場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス
第三十四條 採掘權移轉ノ登録申請スル場合ニ於テハ申請書ニ採掘權移轉ノ理由若シ登録原因ニ採掘權移轉ノ理由、利息ニ關スル定アルトキハ其ノ發生時期若ハ支拂時期ノハ之ヲ記載スルコトヲ要ス
第三十五條 採掘權一部ノ讓渡又ハ代位採掘權ニ因ル採掘權移轉ノ登録申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位採掘權ノ理由若シ登録原因ニ讓渡又ハ代位採掘權ノ理由、利息ニ關スル定アルトキハ其ノ發生時期若ハ支拂時期ノハ之ヲ記載スルコトヲ要ス
第三十六條 採掘權變更ノ登録申請アリタル場合ニ於テハ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三號ノ者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ原本ヲ添付シタルトキニ限り附記ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第三十七條 採掘權ノ移轉ノ順位ノ變更ニ因ル採掘權ノ變更及其ノ處分ノ制限ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第三十八條 抹消ニ關スル登録手續
第三十八條 期限ノ満了ニ因ル礦業權力消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス
第三十九條 廢業ニ因ル礦業權消滅ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第四十條 礦區ノ合併又ハ分割ニ因ル採掘權設定ノ登録ヲ爲シタルモノニ因リ其ノ合併又ハ分割前ノ採掘權消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス
第四十一條 採掘權ノ登録アル採掘權ニ關シテ廢業ニ因ル抹消ノ申請アリタルトキハ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス同時ニ礦業ノ目的ノ範圍内ニ於テ存存續スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス
第四十二條 採掘權者カ請求ヲ爲サザルトキハ礦務署長ハ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スルコトヲ要ス
第四十三條 採掘權力ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證明スル書面ヲ添付シタルトキハ其ノ旨ヲ登錄權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第四十四條 登録權利者カ登録義務者ノ行方ノ知レザルニ因リ之ト共ニ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ依リテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得
第四十五條 前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ原本ヲ添付シ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第四十六條 前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ原本ヲ添付シ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第四十七條 前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ原本ヲ添付シ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第四十八條 前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ原本ヲ添付シ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第四十九條 前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ原本ヲ添付シ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第五十條 前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ原本ヲ添付シ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ要ス

抹消申請の場合ニ於テ其ノ抹消ニ付
 登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキ
 ハ第二十五條ノ規定ヲ準用ス
 債權ニ依リ登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於
 テ假令登録又ハ廣告登録ヲ爲シタル第三者
 アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗
 スルコトヲ得ヘキ裁判ノ際本テ添附スルコ
 トヲ要ス
 第四十六條 第十三條ノ規定ニ依リ公賣處分
 ニ因リ債權移轉ノ登録ノ囑託アリタル場
 合ニ於テハ處分ノ制限ノ登録ヲ抹消シ若シ
 抵當權ノ登録アルトキハ其ノ登録ヲ抹消ス
 ルコトヲ要ス
 第五節 信託ニ關スル登録手續
 第四十七條 債權ノ信託ノ登録ニ付テハ受
 託者ヲ登録権利者トシ委託者ヲ登録義務者
 トス
 第四十八條 信託法第十四條ノ規定ニ依リテ
 信託財産ニ關スル債權ノ信託ノ登録ハ受
 託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
 前項ノ規定ハ信託法第二十七條ノ規定ニ基
 キ信託財産ノ復舊ノ場合ニ之ヲ準用ス
 第四十九條 受益者又ハ委託者ノ受益者ニ代
 位シテ信託ノ登録ヲ申請スルコトヲ得
 第十六條ノ二ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ代
 位登録ノ申請ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テ
 ハ申請書ニ尙登録ノ目的タル債權移轉力信託
 財産タルコトヲ證明スル書面ヲ添附スルコト
 ヲ要ス
 第五十條 信託ノ登録ノ申請ハ信託ニ因リ
 債權移轉ノ登録ノ申請ト同一ノ書面ヲ以
 テ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ前條ノ規定ニ依
 リテ受益者又ハ委託者ノ受益者ニ代位シテ
 信託ノ登録ヲ申請スル場合ハ此ノ限ニ在ラ
 ス
 前項ノ規定ハ信託法第十四條ノ規定ニ依リ
 テ信託財産ニ關スル債權ノ信託ノ登録ヲ
 申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條 受託者更迭ノ場合ニ於テ債權
 移轉ノ登録ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ更
 迭ノ登録ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス
 前項ノ規定ハ信託法第五十條第二項ノ場合
 ニ於テ爲スヘキ變更ノ登録ニ之ヲ準用ス
 第五十二條 受託者ノ任務カ死亡、破産、禁治
 産、禁治産又ハ裁判所若ハ主務官廳ノ解
 任命令ニ因リテ終了シタルトキハ前條ノ登
 録ハ新受託者又ハ他ノ受託者ノミニテ之ヲ
 申請スルコトヲ得受託者タル法人ノ任務カ
 解散ニ因リテ終了シタルトキ亦同シ
 第五十三條 信託ノ登録ノ申請書ニハ第十六
 條ニ掲ケル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコ
 トヲ要ス
 一 委託者、受託者、受益者及信託管理人ノ
 氏名又ハ名稱及住所
 二 信託ノ目的
 三 信託財産ノ管理方法
 四 信託終了ノ事由
 五 其ノ他信託ノ條項
 前項ノ規定ハ債權ノ信託管理人ヲ選任シ又
 簿ニ之ヲ登録スルコトヲ要ス
 第五十四條 裁判所カ信託管理人ヲ選任シ又
 ハ解任シタルトキハ選任シタル債權信託原簿
 ノ登録ヲ債權移轉ニ關シテ信託ノ要ス主
 務官廳カ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同
 シ
 第五十五條 前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官
 廳カ受託者ヲ解任シタル場合ニ之ヲ準用ス
 第五十六條 裁判所カ信託財産ノ管理方法ヲ
 變更シタルトキハ選任シタル債權信託原簿ノ
 登録ヲ債權移轉ニ關シテ信託ノ要ス
 前項ノ規定ハ主務官廳カ信託ノ條項ヲ變更
 シタル場合ニ之ヲ準用ス
 第五十七條 第五十一條又ハ第五十二條ノ場
 合ニ於テ債權移轉ノ登録ヲ爲シタルトキハ
 債權移轉長ハ債權ヲ以テ債權信託原簿ノ登録
 ヲ爲スコトヲ要ス

第五十八條 第五十一條、第五十二條及第五
 十四條乃至第五十六條ノ場合ニ於テ外第
 五十三條第一項ニ掲ケタル事項ノ變更ニ關
 スル債權信託原簿ノ登録ハ受託者ノミニテ
 之ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其
 ノ變更ヲ證明スル書面ヲ添附スルコトヲ要
 ス
 受益者又ハ委託者ノ受益者ニ代位シテ前項
 ノ申請ヲ爲スコトヲ得
 第十六條ノ二ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ代
 位登録ノ申請ニ之ヲ準用ス
 第五十九條 第五十五條ニ規定スル登録ヲ爲
 シタルトキハ債權移轉長ハ債權ヲ以テ債權原
 簿ニ其ノ旨ヲ附記スルコトヲ要ス
 第六十條 信託財産ニ關スル債權移轉力移轉
 ニ因リテ信託財産ニ關セザルニ至リタル場
 合ニ於テ爲スヘキ信託登録抹消ノ申請ハ移
 轉登録ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲ス
 コトヲ要ス
 前項ノ規定ハ信託終了ニ因リ信託財産ニ關
 スル債權移轉力移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス
 第六十一條 第五條第二項及第四十七條乃至
 前條ノ規定ハ探掘權ノ目的タル抵當權ノ
 信託ノ登録ニ之ヲ準用ス
 第四章 假登録及廣告登録
 第六十二條 假登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲
 スモノトス
 一 債權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定、移轉、
 變更若ハ消滅ノ登録ノ申請ニ必要ナル
 手續上ノ條件カ具備セザルトキ
 二 前項ノ事項ニ關シテ請求權保全セムト
 スルトキ
 第六十三條 假登録ハ次條ノ場合ニ於テ外
 假登録權利者ノ申請ニ因リ其ノ目的タル債
 權ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ囑託書
 ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ囑託スルコ
 トヲ要ス
 前項ノ假處分命令ハ假登録權利者カ假登録

原因ヲ證明シタルトキハ區裁判所之ヲ發ス
 ルコトヲ要ス
 申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告
 ヲ爲スコトヲ得
 前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ
 規定ヲ準用ス
 第六十四條 假登録ハ假登録義務者ノ承諾
 書ニ關シテ其ノ承諾書ヲ添附シテ假
 登録權利者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得
 第六十五條 假登録ノ抹消ハ假登録義務者
 ノ申請ニ依リ之ヲ申請スルコトヲ得
 申請書ニ假登録義務者ノ承諾書又ハ之ニ對
 抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ際本テ添附シ
 ルトキハ登録上ノ利害關係人ヨリ假登録ノ
 抹消ヲ申請スルコトヲ得
 第六十六條 廣告登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ
 爲スコトヲ得
 一 登録原因ノ無効又ハ取消ニ因リ登録ノ
 抹消又ハ回復ノ訴訟ノ提起アリタルト
 キ但シ登録原因ノ無効又ハ取消ヲ以テ
 善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場
 合ニ限リ
 二 債權法第八十九條ノ規定ニ依リ債權
 二關スル出願ノ許可ニ對シテ訴訟又ハ行
 政訴訟ノ提起アリタルトキ
 第六十七條 廣告登録ハ前條ニ掲ケタル訴訟
 又ハ訴訟ヲ受理シタル官廳ヨリ囑託書又ハ
 命令書ニ對シテ若ハ訴訟原簿ノ原本又ハ抄本ヲ
 添附シテ囑託又ハ命令書ニ關シテ要ス
 第六十八條 第五十一條第一項ニ掲ケタル訴
 下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ
 對シテ敗訴ヲ言明シタル裁判カ確定シタル
 トキハ訴ノ取下アリタルトキハ請求ノ地業ア
 リタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリ
 タルトキハ第一審裁判所ノ囑託書ニ對シテ
 本若ハ抄本又ハ訴ノ取下ノ請求ノ地業若ハ
 和解ヲ證明スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ
 廣告登録ノ抹消ヲ囑託スルコトヲ要ス

第六十九條 第五十一條第二項ニ掲ケタル訴
 願又ハ行政訴訟ヲ却下シ、請求ヲ否認シ若
 ハ其ノ取下アリタルトキハ農商務大臣ハ登
 告登録ノ抹消ヲ命シ行政裁判所ノ之ヲ囑託
 スルコトヲ要ス
 第五章 異議
 第七十條 登録ニ關スル處分ヲ不當トスル
 者ハ處分ノ了リタル日ヨリ三十日以内ニ農
 商務大臣ニ異議ヲ爲スコトヲ得
 第七十一條 異議ハ債權移轉長ニ異議狀ヲ差出
 シテ之ヲ爲ス
 第七十二條 異議ハ新ナル事實及證據方法ヲ
 以テ其ノ證據ト爲スコトヲ得
 第七十三條 債權移轉長異議ノ理由ナシトスル
 トキハ意見ヲ附シテ事件ヲ農商務大臣ニ送
 付スルコトヲ要ス
 債權移轉長異議ノ理由アリトスルトキハ相當
 ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ登録完了ノ後
 ナルトキハ假令登録ヲ爲シ之ヲ登録上ノ利害
 關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ
 要ス
 異議ノ取下アリタルトキハ債權移轉長ハ前項
 ノ假登録ヲ抹消シ之ヲ登録上ノ利害關係人
 ニ通知スルコトヲ要ス
 第七十四條 異議ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有
 セス
 第七十五條 農商務大臣ハ登録上ノ利害關係
 人ニ決定ノ際本テ送付スルコトヲ要ス
 農商務大臣異議ノ理由アリトスルトキハ債
 權移轉長ニ相當ノ處分ヲ命シ異議ノ理由ナシ
 トスルトキハ假令登録ヲ爲シタルモノニ付テ
 ハ其ノ抹消ヲ命スルコトヲ要ス
 附則
 第七十六條 本令施行前ニ於ケル債權移轉ニ付
 タル債權ニ關スル原簿及舊入登録簿ヲ以テ
 舊債權原簿トス
 第七十七條 本令施行前ニ於ケル官廳所屬ノ
 探掘區域ニ關シテハ本令施行ノ日ニ於テ探

掘權設定ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス
 第七十八條 本令施行前ニ認可若ハ特許ノ債
 權又ハ登録ノ抵當權ニ付債權ノ抹消ヲ
 除クノ外登録ノ申請アリタル場合ニ於テ登
 録ヲ爲スコトキハ債權原簿ニ舊債權原簿中抹
 消ニ係ラザル登録ヲ抹消スルコトヲ要ス
 原簿ニ移シタル登録ヲ抹消スルコトヲ要ス
 第七十九條 舊債權原簿ニ記載スル債權
 ニ付テハ抹消登録ノ申請アリタルトキハ其
 ノ原簿ニ其ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス期限満
 了ニ因リ抹消ノ登録ヲ爲ス場合亦同シ
 第八十條 債權條例ニ依リ差出シタル債權
 届ニ付テハ舊債權原簿ニ郵便差出ノ日時ニ
 於テ廢棄ヲ爲シタルコトノ記載ヲ爲スコト
 ヲ要ス
 第八十一條 債權條例ニ依リ差出シタル債權
 特許證書換領、探掘權書入登録願又ハ登録
 シタル抵當權ノ變更、移轉若ハ取消願ニ付
 テハ舊債權原簿ニ其ノ登録ヲ爲スコトヲ要
 ス
 前項ノ場合ニ於テハ願書ヲ差出シタル日ヲ
 以テ申請ノ日ト看做ス
 第八十二條 本令施行前ニ相續ニ因リテ債權
 人ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ
 變更シタル債權人ハ本令中相續又ハ變更ノ
 申請ニ關スル規定ニ準シテ調整シタル願書
 ヲ差出スコトヲ要ス
 前項ノ願書出アリタルトキハ舊債權原簿ニ相
 續又ハ變更ノ記入ヲ爲スコトヲ要ス
 第八十三條 本令ハ明治三十八年七月一日
 ノ之ヲ施行ス

債權登録令施行細則

明治三十八年六月二十一日
 農商務大臣 陸奥宗光
 大正二年二月二十六日
 農商務大臣 陸奥宗光
 昭和二年五月五日
 農商務大臣 陸奥宗光

第一章 登録ニ關スル原簿
 第一條 債權原簿ハ第一號及第二號ノ様式ニ
 依リ之ヲ製スルヘシ
 第二條 債權原簿ハ府縣ノ區畫ニ依リ北海道
 ニ付テハ國ノ區畫ニ依リ別冊ト爲スヘシ但
 シ登録事件多ナル府縣又ハ國ニ付テハ農
 商務大臣ノ認可ヲ得テ二冊以上ノ別冊ト爲
 スコトヲ得
 第三條 債權原簿ハ一區區ニ付一冊用紙ヲ備
 フ
 第四條 債權原簿ヲ分設シタル數箇ノ區畫ニ
 防ルトキハ其ノ一箇ノ區畫ノ債權原簿ニ
 ミ其ノ區畫ニ關スル用紙ヲ備フ
 第五條 共同人名簿ハ第三號及第四號ノ様式
 ニ、債權信託原簿ハ第八號様式ニ依リ之ヲ
 製スルヘシ
 第六條 共同人名簿ハ數區畫ヲ通シテ一冊ト
 爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ債權原簿ヲ
 分設シタル區畫毎ニ見出テ附スヘシ
 第七條 債權原簿ハ各區畫ニ登録者數及
 登録年月日ヲ記載シ登録番號ノ順序ニ依リ
 テ之ヲ編製シテ丁數ヲ附スヘシ
 第七條乃至第十條 削除
 第十一條 登録受附帳ハ第七號様式ニ依リ毎
 年之ヲ製シテ受附番號ヲ更新スヘシ
 第十二條 債權移轉ニハ登録事務ニ關シ債權原
 簿、共同人名簿、債權信託原簿、債權區畫込
 帳及登録受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ
 一 申請書囑託書附屬書類送込帳
 二 通知書送込帳
 三 通知簿
 四 債權原簿原本送込帳
 五 債權原簿複寫登錄通知簿
 六 異議書類決定原本送込帳
 七 債權原簿原本送込帳
 八 債權原簿原本送込帳
 九 債權原簿原本送込帳
 第十條 前條第三號及第五號ノ通知簿ニハ
 通知事項ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ

第十四條 債權原簿ノ原本、抄本若ハ債權區
 畫原本ノ交付又ハ債權原簿若ハ附屬書類ノ回
 覽ヲ請求スル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書
 面ヲ提出スヘシ
 一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
 二 債權所在地及登録番號又ハ債權ヲ表示
 スルニ足ルヘキ事項
 三 申請ノ範圍
 第十五條 前條ノ申請アリタルトキハ第十二
 條第七號ノ帳簿ニ請求ノ範圍、申請人ノ氏
 名又ハ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ記
 載シタル上相當ノ處分ヲ爲スヘシ
 第十六條 債權原簿ノ原本ハ債權原簿同一
 様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作成シ給付アルトキ
 ハ之ニ朱線ヲ施シ其ノ末尾ニ左ノ認許文ヲ
 記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ債權
 移轉長之年月日ヲ記載シテ記名捺印スヘ
 シ
 此ノ原本ハ債權原簿ト相違ナキコトヲ認
 證ス
 前項ノ規定ハ債權區畫ノ原本及債權原簿ノ抄
 本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス
 第十七條 債權原簿ノ原本、抄本又ハ債權區
 畫原本ノ交付ノ年月日ヲ記載シ原本又ハ抄本
 ト契印スヘシ
 前項ノ規定ハ債權原簿ノ原本ヲ他ノ債權移
 轉ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス
 第十八條 債權原簿ヲ分設シタル區畫カ他ノ
 債權移轉ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ全部ノ場
 合ニ在リテハ其ノ區畫ニ關スル債權原簿及
 其ノ附屬書類ヲ、一部ノ場合ニ在リテハ其
 ノ部分ニ於ケル債權移轉ニ關スル債權原簿ノ
 原本及附屬書類若ハ其ノ原本ヲ移送スヘシ
 第二章 申請手續
 第十九條 登録申請書カ數葉ニシタルトキハ申
 請人ノ每葉ノ目ニ契印スヘシ但シ登録權

表示圖ニ記載シテ表示番號ニ記載シテ
 事項區ニ在リテハ事項圖ニ前鑛業簿ノ順
 位番號ニ依リテ現在ノ權利者ニ關スル事項
 尾ニ記載原簿ノ原因ノ記載シテ各記載ノ末
 年月日ヲ記載シテ當該職員捺印スルヘシ
 第七條 共同人名簿、鑛區圖、及鑛業信
 託原簿ノミノ複製ニ係ルトキハ複製終了ト
 同時ニ鑛業原簿中各相當ノ記載ヲ訂正シ餘
 白ニ滅失原因ノ記載シタル旨及年月日ヲ附
 記ニ依リ記載シテ當該職員捺印スルヘシ
 第八條 鑛業原簿ノ複製完了シタルトキハ鑛
 務局長ハ鑛業原簿ノ前書中ニ滅失ノ原因及
 年月日ヲ記載シテ年月日ヲ記入スルヘシ
 第九條 鑛業原簿ノ複製完了シタルトキハ農
 商務大臣ハ其ノ旨ヲ告示ス
 第十條 鑛業原簿ノ複製完了セザル間ニ於テ
 滅失シタル鑛業原簿ニ登錄アリタル鑛業權
 又ハ之ヲ目的トスル抵當權ニ關シタル登錄
 チ爲スヘキトキハ假設鑛業原簿ニ其ノ登錄
 チ爲スヘシ
 第十一條 鑛業原簿ニ於テ登錄済ニ假設鑛業登
 録簿ニ登錄チ爲シタル旨ヲ記載スルヘシ
 第十二條 假設鑛業原簿ニ登錄チ鑛業原簿ニ
 移シタルトキハ登錄權利者ニ對シテ之本登
 録簿ニ登錄シタル旨ヲ通知シ若シ鑛業原簿
 複製ノ登錄記載ト假設鑛業原簿ニ移シタル
 旨ヲ通知スルヘシ
 第十三條 鑛業原簿ノ複製完了シタルトキハ
 鑛務局長ハ其ノ旨ヲ告示ス
 第十四條 鑛業原簿ノ複製完了シタルトキハ農
 商務大臣ハ其ノ旨ヲ告示ス

本令ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行
 明治三十三年勅令第百五十五號ハ之ヲ廢止ス

**探掘ノ出願及鑛產物ノ價格ノ
 檢定ニ關シ(鑛山監督署長)**
 委任ノ件 明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行
 探掘ノ出願及鑛產物ノ價格ノ檢定ニ關シ(鑛
 山監督署長)ノ委任ノ件ノ左ノ通定ス
 一 出願地方鑛區ト重疊スル場合ニ於テ其
 ノ重疊スル部分ノ出願ノ不許可ニ關ス
 ル件
 二 出願地方他ノ出願地ト重疊スル場合ニ
 於テ鑛業法第三十三條及第三十三條ノ
 二ニ依リ優先權ヲ有セザル部分ノ出願
 ノ不許可ニ關スル件
 三 探掘鑛區ノ減價ノ分割、合併及分合圖
 地ノ増價ノ許可ニ關スル件
 四 出願地方他人ノ鑛區ト十間以上ノ距離
 ナル部分ノ出願ノ不許可ニ關スル件
 五 出願地方鑛區ト重疊シ其ノ重疊部分又
 ハ十間ノ距離除去ノ爲メ殘餘ノ區域カ
 鑛業法第九條ノ面積ニ滿タサル場合ノ
 出願ノ不許可ニ關スル件
 第六條 鑛產物ノ價格ノ檢定ニ付テハ特ニ指
 示シタルモノヲ除外ノ外之ヲ鑛山監督署
 長ニ委任ス

本令ハ明治十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 大正五年八月三日
 農商務大臣 田代三喜助

鑛夫勞務扶助規則
 第一章 總則
 第一條 鑛業法第七十五條ノ規定ニ依リ鑛業
 者手前鑛山監督局長ニ其ノ許可ヲ申請スヘ
 キ事項ノ種類
 一 鑛夫ノ補給
 二 鑛夫ノ手帳
 三 解雇ノ事由及手續
 四 解雇ノ場合ニ於ケル應得費支給ニ關
 スル事項
 五 賃金ノ支拂方法及支拂期日
 六 鑛夫ノ貯蓄金ノ他ノ積立金ヲ管理スル
 トキハ其ノ方法、抽戻ノ事由及手續
 七 鑛夫ノ負擔ニ關スル作業用品
 八 鑛務別就業時間及就業時ノ轉換方法
 九 尋常小學校ノ教科ヲ終了セザル學齡
 兒童ヲ雇傭スルトキハ就學ニ關シ必要
 ナル事項
 十 賞與及制裁ノ定アルトキハ之ニ關ス
 ル事項
 十一 鑛務勞務規則ヲ變更セムトスルトキハ鑛山
 監督局長ノ許可ヲ受ケルヘシ
 十二 鑛務勞務規則ニ變更セムトスルトキハ鑛山
 監督局長ノ許可ヲ受ケルヘシ
 第十三條 探掘鑛區ノ變更若シハ變更ノ虞アル爲
 ヲ場合ニ於テハ就業時間、就業時、轉換方
 法及休日ニ關スル事項ニ付鑛務勞務規則ニ
 依リテ規定ニ依リ就業セシメタルトキハ返
 還ナク其ノ事由ヲ具シ鑛山監督局長ニ提出
 シヘシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十一年海軍省令第十號ハ之ヲ廢止ス
 附則
 一 本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 二 海軍省所管鑛業權登錄官吏指
 定 昭和四年六月三日
 海軍省令第二十號(大正十一年十月二十三日農商
 省告示第二四四十一號參看)

官吏指定
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ニ就キ
 其ノ所屬鑛區ニ關スル登錄申請ニ就キ本官ノ代
 理トシテ製鐵所長官ヲ指定ス
 二 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手
 數料ノ件 明治三十八年六月二日
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ノ手續料ノ件
 一 試掘出願地ノ變更 每一件 金五十圓
 二 鑛區又ハ増減區 每一件 金三十圓
 三 試掘鑛區ノ變更 每一件 金五圓

細則第三十二條ノ規定ヲ準用ス
 第十三條 鑛業原簿登錄用紙中ノ一部カ磨
 滅、汚損其ノ他ノ事由ニ因リテ滅失シ又ハ
 滅失ノ虞アルトキハ鑛務局長ハ之ヲ補充シ
 又ハ他ノ用紙ニ登錄チ爲シタルヘシ
 第十四條 鑛務局長ハ鑛務局長ハ之ヲ補充シ
 前項ノ補綴登錄簿ニ登錄スルニ於テハ鑛業登
 録令施行細則第五十二條ノ規定ヲ準用ス
 第十五條 鑛務局長ハ鑛務局長ハ之ヲ補充シ
 前項ノ補綴登錄簿ニ登錄スルニ於テハ鑛業登
 録令施行細則第五十二條ノ規定ヲ準用ス
 第十六條 鑛務局長ハ鑛務局長ハ之ヲ補充シ
 前項ノ補綴登錄簿ニ登錄スルニ於テハ鑛業登
 録令施行細則第五十二條ノ規定ヲ準用ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十一年海軍省令第十號ハ之ヲ廢止ス
 附則
 一 本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 二 海軍省所管鑛業權登錄官吏指
 定 昭和四年六月三日
 海軍省令第二十號(大正十一年十月二十三日農商
 省告示第二四四十一號參看)

官吏指定
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ニ就キ
 其ノ所屬鑛區ニ關スル登錄申請ニ就キ本官ノ代
 理トシテ製鐵所長官ヲ指定ス
 二 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手
 數料ノ件 明治三十八年六月二日
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ノ手續料ノ件
 一 試掘出願地ノ變更 每一件 金五十圓
 二 鑛區又ハ増減區 每一件 金三十圓
 三 試掘鑛區ノ變更 每一件 金五圓

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十一年海軍省令第十號ハ之ヲ廢止ス
 附則
 一 本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 二 海軍省所管鑛業權登錄官吏指
 定 昭和四年六月三日
 海軍省令第二十號(大正十一年十月二十三日農商
 省告示第二四四十一號參看)

官吏指定
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ニ就キ
 其ノ所屬鑛區ニ關スル登錄申請ニ就キ本官ノ代
 理トシテ製鐵所長官ヲ指定ス
 二 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手
 數料ノ件 明治三十八年六月二日
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ノ手續料ノ件
 一 試掘出願地ノ變更 每一件 金五十圓
 二 鑛區又ハ増減區 每一件 金三十圓
 三 試掘鑛區ノ變更 每一件 金五圓

本令ハ明治十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 大正五年八月三日
 農商務大臣 田代三喜助

鑛夫勞務扶助規則
 第一章 總則
 第一條 鑛業法第七十五條ノ規定ニ依リ鑛業
 者手前鑛山監督局長ニ其ノ許可ヲ申請スヘ
 キ事項ノ種類
 一 鑛夫ノ補給
 二 鑛夫ノ手帳
 三 解雇ノ事由及手續
 四 解雇ノ場合ニ於ケル應得費支給ニ關
 スル事項
 五 賃金ノ支拂方法及支拂期日
 六 鑛夫ノ貯蓄金ノ他ノ積立金ヲ管理スル
 トキハ其ノ方法、抽戻ノ事由及手續
 七 鑛夫ノ負擔ニ關スル作業用品
 八 鑛務別就業時間及就業時ノ轉換方法
 九 尋常小學校ノ教科ヲ終了セザル學齡
 兒童ヲ雇傭スルトキハ就學ニ關シ必要
 ナル事項
 十 賞與及制裁ノ定アルトキハ之ニ關ス
 ル事項
 十一 鑛務勞務規則ヲ變更セムトスルトキハ鑛山
 監督局長ノ許可ヲ受ケルヘシ
 十二 鑛務勞務規則ニ變更セムトスルトキハ鑛山
 監督局長ノ許可ヲ受ケルヘシ
 第十三條 探掘鑛區ノ變更若シハ變更ノ虞アル爲
 ヲ場合ニ於テハ就業時間、就業時、轉換方
 法及休日ニ關スル事項ニ付鑛務勞務規則ニ
 依リテ規定ニ依リ就業セシメタルトキハ返
 還ナク其ノ事由ヲ具シ鑛山監督局長ニ提出
 シヘシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十一年海軍省令第十號ハ之ヲ廢止ス
 附則
 一 本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 二 海軍省所管鑛業權登錄官吏指
 定 昭和四年六月三日
 海軍省令第二十號(大正十一年十月二十三日農商
 省告示第二四四十一號參看)

官吏指定
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ニ就キ
 其ノ所屬鑛區ニ關スル登錄申請ニ就キ本官ノ代
 理トシテ製鐵所長官ヲ指定ス
 二 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手
 數料ノ件 明治三十八年六月二日
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ノ手續料ノ件
 一 試掘出願地ノ變更 每一件 金五十圓
 二 鑛區又ハ増減區 每一件 金三十圓
 三 試掘鑛區ノ變更 每一件 金五圓

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十一年海軍省令第十號ハ之ヲ廢止ス
 附則
 一 本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 二 海軍省所管鑛業權登錄官吏指
 定 昭和四年六月三日
 海軍省令第二十號(大正十一年十月二十三日農商
 省告示第二四四十一號參看)

官吏指定
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ニ就キ
 其ノ所屬鑛區ニ關スル登錄申請ニ就キ本官ノ代
 理トシテ製鐵所長官ヲ指定ス
 二 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手
 數料ノ件 明治三十八年六月二日
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ノ手續料ノ件
 一 試掘出願地ノ變更 每一件 金五十圓
 二 鑛區又ハ増減區 每一件 金三十圓
 三 試掘鑛區ノ變更 每一件 金五圓

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十一年海軍省令第十號ハ之ヲ廢止ス
 附則
 一 本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 二 海軍省所管鑛業權登錄官吏指
 定 昭和四年六月三日
 海軍省令第二十號(大正十一年十月二十三日農商
 省告示第二四四十一號參看)

官吏指定
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ニ就キ
 其ノ所屬鑛區ニ關スル登錄申請ニ就キ本官ノ代
 理トシテ製鐵所長官ヲ指定ス
 二 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手
 數料ノ件 明治三十八年六月二日
 一 鑛業ニ關スル登錄申請ノ手續料ノ件
 一 試掘出願地ノ變更 每一件 金五十圓
 二 鑛區又ハ増減區 每一件 金三十圓
 三 試掘鑛區ノ變更 每一件 金五圓

一 製煉作業ニ於テ熱灼若ハ熔解セル礦物又ハ礦滓ノ取扱
 有テハ其ノ煙塵ノ堆積セル煙道又ハ煙突ノ掃除
 十二 磁素、水銀、鉛若ハ亞鉛又ハ其ノ化合物其ノ他之ニ準スヘキ有害物品ノ粉塵、蒸氣又ハ瓦斯ヲ發散セル場所ニ於ケル業務
 十三 電解精鍊ヲ爲ス場所ニ於ケル業務
 第十四 礦石、燃料其ノ他ヲ燒煉シ又ハ入スル業務
 第十五 礦業權者ハ十六歳未滿ノ者ヲシテ左ニ掲ケル業務ニ就カシムルコトヲ得ス
 一 磁素若ハ水銀又ハ其ノ化合物、チアソカリウム、硫酸、硝酸、亞酸、苛性カリ、苛性ナトリウム其ノ他之ニ準スヘキ毒性又ハ劇性物品ノ取扱
 二 揮發油、二硫化炭素其ノ他之ニ準スヘキ發火性又ハ引火性物品ノ取扱
 三 土石又ハ礦物ノ粉塵ヲシテ飛散スル場所ニ於ケル業務
 第十六條 礦業權者ハ左ニ掲ケル疾病ニ罹ル者ヲシテ就業セシムルコトヲ得ズ但シ第四條又ハ第五條ニ掲ケル疾病ニ罹ル者ニ付傳染預防ノ處置アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 一 精神病
 二 癩、肺結核、喉頭結核
 三 丹毒、再發熱、麻疹、流行性腦脊髄膜炎其ノ他之ニ準スヘキ急性熱性病
 四 梅毒、疥癬其ノ他傳染性皮膚病
 五 膿漏性結膜炎、トウホム(若シク傳染性眼病)
 礦業權者ハ助眼炎、心臟病、脚氣、關節炎、癱瘓、急性泌尿生殖器病其ノ他ノ疾病ニ罹ル者ニシテ就業ノ爲病増進ノ虞アル場合ハ之ヲ就業セシムルコトヲ得ズ但シ第四條又ハ第五條ニ掲ケル疾病ニ罹ル者ニ付傳染預防ノ處置アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 第十七條 礦業權者ハ左ニ掲ケル疾病ニ罹ル者ヲシテ就業セシムルコトヲ得ズ但シ第四條又ハ第五條ニ掲ケル疾病ニ罹ル者ニ付傳染預防ノ處置アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 一 精神病
 二 癩、肺結核、喉頭結核
 三 丹毒、再發熱、麻疹、流行性腦脊髄膜炎其ノ他之ニ準スヘキ急性熱性病
 四 梅毒、疥癬其ノ他傳染性皮膚病
 五 膿漏性結膜炎、トウホム(若シク傳染性眼病)
 礦業權者ハ助眼炎、心臟病、脚氣、關節炎、癱瘓、急性泌尿生殖器病其ノ他ノ疾病ニ罹ル者ニシテ就業ノ爲病増進ノ虞アル場合ハ之ヲ就業セシムルコトヲ得ズ但シ第四條又ハ第五條ニ掲ケル疾病ニ罹ル者ニ付傳染預防ノ處置アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 該當スル期間アルトキハ其ノ日數及其ノ期間ニ於テ賃金ハ前項ノ期間及賃金總額ヨリ之ヲ控除ス
 一 業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リ療養ノ爲ニ休業シタル期間
 二 産前又ハ産後ノ女子第十五條ノ規定ニ依リ休業シタル期間
 三 試用期間
 四 礦業權者ノ都合ニ依リ礦業臨時ニ休業シタル期間
 第一項第二號ノ賃金總額ニハ三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賃金及發明善行其ノ他特別ノ行為ニ對スル賞與又ハ手當ヲ包含セズ
 第三十條 規定ニ依リ扶助料及葬祭料算出ノ標準トスヘキ賃金算出スルコトヲ得ザル場合ニ於テハ扶助規則ノ定ムル所ニ依ル但シ扶助規則ニ定ムルキハ礦山監督局長ノ決定ニ付ス
 第三十一條 礦山監督局長ハ職權ヲ以テ又ハ申請ニ因リ礦夫ノ負傷、疾病又ハ死亡ノ原因、第二條各號ニ掲ケル身體障害ノ程度其ノ他扶助ニ關スル事項ニ付之ヲ審査シ及事件ノ場合ニ於テ必要ト認ムルコトヲ得
 第三十二條 礦業權者ハ扶助規則ヲ作成シ扶助ノ金額手續其ノ他扶助ニ關シ必要ナル事項ヲ定メ礦業者手前ニ於テ礦山監督局長ニ届出ツヘシ
 第三十三條 礦業權者ハ扶助規則ヲ作成シ扶助ノ金額手續其ノ他扶助ニ關シ必要ナル事項ヲ定メ礦業者手前ニ於テ礦山監督局長ニ届出ツヘシ
 第三十四條 礦夫就業中又ハ事業場内ニ於テ負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ礦業權者ハ遺滞ヲ醫治シテ診斷又ハ檢
 一 遺族扶助料ヲ受ケヘキ者ハ礦夫ノ配偶者ナキ場合ニ於テ遺族扶助料ヲ受ケヘキ者ハ礦夫ノ直系卑屬又ハ直系尊屬トシ其ノ順位ハ親等ノ近キ者ヲ先ニ卑屬トシ其ノ親等相同シキハ卑屬ヲ先ニス
 第二十四條 前條第二項ニ定ムル順位者ノ間ニ在リテハ其ノ順位ハ左ノ規定ニ依ル
 一 礦夫ノ家督相続人又ハ戸主ハ之ヲ他ノ者ヨリ先ニス
 二 男ハ之ヲ女ヨリ先ニス
 三 直系卑屬ニ付テハ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニ庶出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス
 四 前二號ニ掲ケル事項ニ付相同シキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス
 第二十五條 第二十三條ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ左ニ掲ケル者ノ中一人ニ遺族扶助料ヲ支給スヘシ但シ礦夫ノ遺言又ハ礦業權者ノ對シテ爲シタル豫言ニ依リ左ニ掲ケル者ノ中一人ヲ特ニ指定シタルトキハ之ニ從フヘシ
 一 礦夫ノ家督相続人又ハ戸主
 二 礦夫ノ兄弟姉妹ニシテ礦夫死亡當時之同一ノ家ニ在ル者
 三 礦夫死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者
 礦業權者ニ對シテ爲シタル豫言ニ依リ指定アリタルトキハ礦業權者遺滞ナク之ヲ礦夫名簿ニ記載スヘシ
 第二十六條 規定ニ依リ本人ニ支給スル費用及休業扶助料ハ毎月一回以上之ヲ支給スヘシ
 遺滞ナク、遺族扶助料及葬祭料ハ礦夫ノ死亡後遺滞ナク之ヲ支給スヘシ但シ障害扶助料及遺族扶助料ハ礦山監督局長ノ許可ヲ受ケ數回ニ分割シテ之ヲ支給スルコトヲ得
 第二十七條 礦夫健康保險法(第四十八條第一項第二號ノ規定ニ依リ)ニ依リ療養ノ給付又ハ療養費ノ支給ヲ受ケヘキトキハ其ノ期間第十八條ノ扶助ハ之ヲ爲スコトヲ要ス健康保險法ニ依リ傷病手当金ノ支給ヲ受ケヘキトキ休業扶助料ノ支給ニ付亦同
 礦夫ノ死亡ニ關シ健康保險法ニ依リ埋葬料又ハ埋葬費ニ要シタル費用ノ支給アルヘキトキハ葬祭料ノ支給ハ之ヲ爲スコトヲ要ス
 健康保險法第六十二條第一項第二號、第六十四條又ハ第六十五條第二項ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケル場合ニ於テハ前二項ノ

鑛業權者ハ坑内ニ於テ就業スル鐵夫ニ付テハ入坑ノ時刻及出坑ノ時刻並休日ニ關スル事項ヲ定メ見易キ場所ニ揭示スベシ...

前項ノ記録ハ事由ノ發生シタル日ヨリ三年以上ノ保存スベシ...

(様式第四號)

Table with columns: 種別, 位置, 姓名, 男女, 時間, 深夜時刻, 住所, 事由. Includes a header for '緊急ノ必要ニ因リ臨時就業員'.

緊急ノ必要ニ因リ臨時就業員

昭和 年 月 分

備考 一 本屆出ハ其ノ寫ヲ作成シ届出後三年間ノ鑛業事務所ニ保存スベシ...

(様式第五號)

Table with columns: 月日, 種類, 場所, 姓名, 男女, 時刻, 時間, 深夜時刻, 事由. Includes a header for '坑内鐵夫ノ所定時間外ノ出入坑ニ關スル記録'.

坑内鐵夫ノ所定時間外ノ出入坑ニ關スル記録

備考

- 一 本記録ハ各坑口別ニ之ヲ作成スベシ
二 就業場所ニハ本人ノ就業場所ヲ詳記スベシ...

鑛業警察規則

大正五年八月三日 農商部令第二十二號

- 鑛業警察規則左ノ通改正ス
第一條 探掘權者ヲ技術管理者ヲ選任シタルト...

備考

- 第五條 探掘權者二人以上ノ技術管理者ヲ選任シタルトキハ其ノ權限ヲ區別シ之ヲ職務署長ニ届出ツヘシ...

鑛業警察規則

大正五年八月三日 農商部令第二十二號

- 一 帝國大學ニ於テ鑛業ノ技術ニ關スル學科ヲ修メ之ヲ卒業シタル者
二 實業專門學校ニ於テ鑛業ノ技術ニ關スル學科ヲ修メ之ヲ卒業シ一箇年以上其ノ實務ニ從事シタル者...

